

食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会
第12回牛豚等疾病小委員会

議事次第

日時：平成22年5月6日（木） 11：00～

場所：農林水産省 第2特別会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）宮崎県における口蹄疫の現状及び防疫対応について

（2）今後の対応について

（3）その他

4 閉 会

食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会
牛豚等疾病小委員会委員

【臨時委員】

岡部	信彦	国立感染症研究所感染症情報センター長
○ 田原	健	(社) 鹿児島県家畜畜産物衛生指導協会専務理事
寺門	誠致	共立製薬(株)取締役先端技術開発センター長

【専門委員】

明石	博臣	(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
今田	由美子	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所 動物疾病対策センター長
佐藤	英明	(国) 東北大学大学院農学研究科応用生命科学専攻教授
清水	実嗣	(株) 微生物化学研究所研究開発部長
津田	知幸	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所企画管理部長

(五十音順、敬称略、○：委員長)

食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会

第12回牛豚等疾病小委員会資料一覧

資料1 国内における口蹄疫の発生状況

資料1-1 発生農場の概要

資料1-2 発生農場の位置関係

資料2 発生農場における疫学情報について

資料2-1 疫学調査チーム現地調査状況

資料3 国内発生ウイルス株の分析結果

資料3-1 口蹄疫ウイルス日本分離株の性状等について

資料4 今後の防疫対応

参考資料

参考1 発生農場における疫学関連データ

参考2 周辺諸国における口蹄疫の発生状況

参考3 全国聞き取り調査結果

参考4 移動制限措置の例外について

参考5 血清疫学調査等について

宮崎県における口蹄疫の発生事例の防疫措置の状況

1. 各農場の概要

	所在地	飼養形態	PCR結果 (判明日時)	防疫状況等
1例目	児湯郡都農町 (こゆぐんつのちょう)	繁殖牛 (16頭)	陽性(3/3) (20日(火))	・殺処分等の防疫措置完了(4/21) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
2例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	酪農・肉用牛複合 (68頭)	陽性(6/6) (21日(水))	・殺処分等の防疫措置完了(4/24) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
3例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛肥育 (118頭)	陽性(3/3) (21日(水))	・殺処分等の防疫措置完了(4/25) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
4例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛繁殖 (64頭)	陽性(2/3) (22日(木))	・殺処分等の防疫措置完了(4/27) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
5例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛一貫 (75頭)	陽性(1/3) (23日(金))	・殺処分等の防疫措置完了(4/29) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
6例目	児湯郡都農町 (こゆぐんつのちょう)	水牛42頭、 豚2頭	陽性(1/3) (23日(金)) ※3月31日に採材した採材	・殺処分等の防疫措置完了(4/26)
7例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛肥育 (725頭)	陽性(4/5) (25日(日))	・殺処分等の防疫措置完了(5/1) ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
8例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛肥育 (1,019頭)	陽性(5/5) (28日(水))	・殺処分が終了し、埋却中 ・確定診断の結果、口蹄疫の患者(O型)と確定
9例目	えびの市	肉用牛肥育 (275頭)	陽性(4/5) (28日(水)) ※9頭分を5検体にプール	・殺処分等の防疫措置完了(5/1)
10例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(486頭) ※県畜産試験場	陽性(5/5) (28日(水))	・殺処分等の防疫措置完了(4/29)
11例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	酪農(50頭)	陽性(2/4) (29日(木))	・殺処分等の防疫措置完了(5/1)
12例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(1,429頭)	陽性(4/4) (30日(金))	・埋却が終了し、整地作業及び消毒を実施
13例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(3,882頭)	陽性(1/2) (5月1日(土))	・殺処分等の防疫措置完了(5/5)
14例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(299頭)	陽性(1/1) (5月2日(日))	・殺処分が終了し、埋却中
15例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛肥育 (424頭)	陽性(3/4) (5月2日(日))	・埋却が終了し、整地作業及び消毒を実施
16例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛繁殖 (4頭)	陽性(2/2) (5月3日(月))	・殺処分等の防疫措置完了(5/4)
17例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	肉用牛繁殖 (37頭)	陽性(2/5) (5月3日(月))	・埋却が終了し、整地作業及び消毒を実施

	所在地	飼養形態	PCR結果 (判明日時)	防疫状況等
18例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(15,747頭)	陽性(3/3) (5月4日(火))	・殺処分実施中。
19例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(3,010頭)	陽性(3/3) (5月4日(火))	・今後、埋却場所を確保し、殺処分を実施。
20例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(780頭)	陽性(5/5) (5月5日(水))	・今後、埋却場所を確保し、殺処分を実施。
21例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(679頭)	陽性(2/3) (5月5日(水))	・今後、埋却場所を確保し、殺処分を実施。
22例目	えびの市	豚(320頭)	陽性(3/3) (5月5日(水))	・殺処分等の防疫措置完了(5/5)
23例目	児湯郡川南町 (こゆぐんかわみなみちょう)	豚(4,434頭)	陽性(3/3) (5月5日(水))	・今後、埋却場所を確保し、殺処分を実施。
合計:		33,985頭(牛:2,917頭、豚:31,068頭)		

2. 防疫対応の進捗状況

対応状況	農場(頭数)
防疫措置(殺処分・埋却・消毒等)が終了	1～7、9～11、13、16、22例目 (計6,127頭)
殺処分が終了	8、12、14、15、17例目 (計3,208頭)
殺処分中又は殺処分予定	18～21、23例目 (計24,650頭)

臨床所見、PCR、抗体検査によるウイルス侵入時期の推定

(平成22年5月5日更新)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	都農町	川南町	川南町	川南町	川南町	都農町	川南町	川南町	えびの市	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	川南町	えびの市	川南町
	肉牛	乳肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	水牛	肉牛	肉牛	肉牛	豚	乳牛	豚	豚	豚	肉牛	肉牛	肉牛	豚	豚	豚	豚	豚	豚
										試験場													

宮崎県における口蹄疫疑似患畜に対する経緯等（1例目）について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡都農町

飼養状況：肉用繁殖 繁殖母牛9頭、育成3頭、仔牛4頭（計16頭）

2 経緯

4月 9日 飼養牛の1頭（①）の口腔内にびらんを確認し家畜保健衛生所（以下「家保」）へ通報。家保による立入検査。同居牛に異常がないため経過を観察。

16日 同居牛の1頭（②）に発熱、食欲なし、口腔内にびらんを確認。別の1頭（③）に流涎を確認（発熱なし）。

17日昼 家保による立入検査。上記のほか、③の舌にびらんを確認。

19日午前 家保において、ブルータング、牛パラインフルエンザ、牛ウイルス性下痢、牛伝染性鼻気管炎、イバラキ病のPCRを実施し、いずれも陰性。

動物衛生課に連絡。

19日午後 家保が当該農場に立入り検査。新たに同居牛1頭（④）で臨床症状を確認。口蹄疫の病性鑑定のため、検体を採取。

病変部（びらん部）ぬぐい液	3検体（臨床症状牛②～④）
病変部（痂皮）	1検体（臨床症状牛③）
血液採取	16検体（全頭）

3 検査の状況

（1）臨床検査

初発牛①：9日から発熱、食欲なし、流涎。口腔内にびらん確認。水疱なし。
17日には治癒。

同居牛②：16日に発熱、食欲低下。口腔内にびらん確認。水疱なし。

同居牛③：16日に流涎、17日に発熱、食欲なし。口腔内にびらん確認

（2）病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

19日24:00：動物衛生研究所に検体到着。

PCR（実施予定：4～5時間）
抗体ELISA（実施予定：48時間）
ウイルス分離（実施予定：7日間）

20日 PCRの結果判明。3検体（②～④）中全検体で陽性を確認。

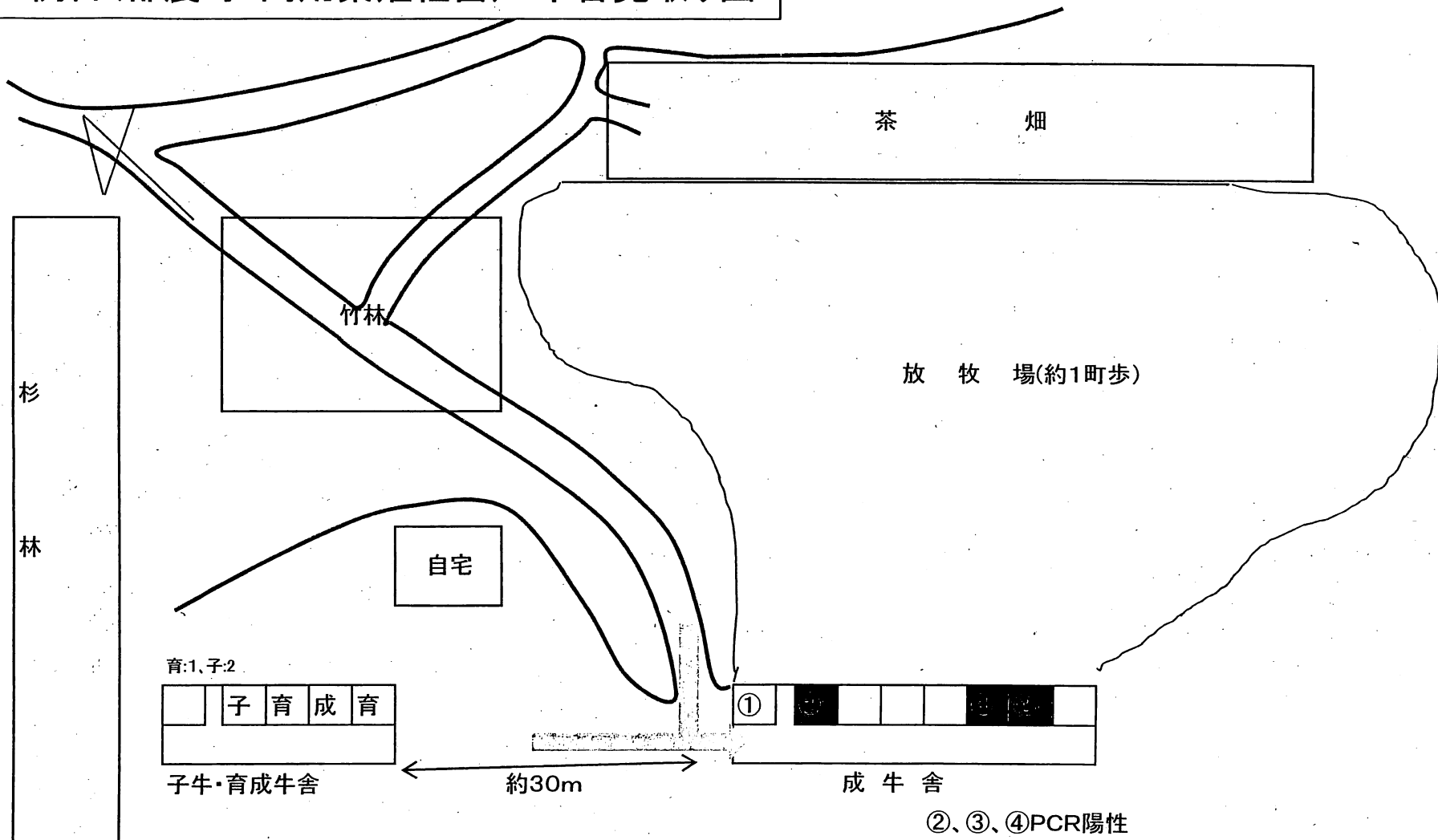
23日 ウイルス分離の結果判明。1検体中1検体でO型と確認。

4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

- (1) 中国産稻わらを使用（輸入業者は3例目と同一の[REDACTED]）
- (2) 6例目と同一の豪産オーツヘイを使用
- (3) 糞尿は自家農場内でたい肥化

1例目(都農町:肉用繁殖経営) 牛舎見取り図

9



宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第2例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町

飼養状況：ホルスタイン種搾乳牛：26頭、乳牛育成牛：7頭、乳牛子牛：4頭、

和牛繁殖：3頭、和牛育成：5頭、和牛子牛：4頭、和牛肥育2頭、

F1肥育：14頭

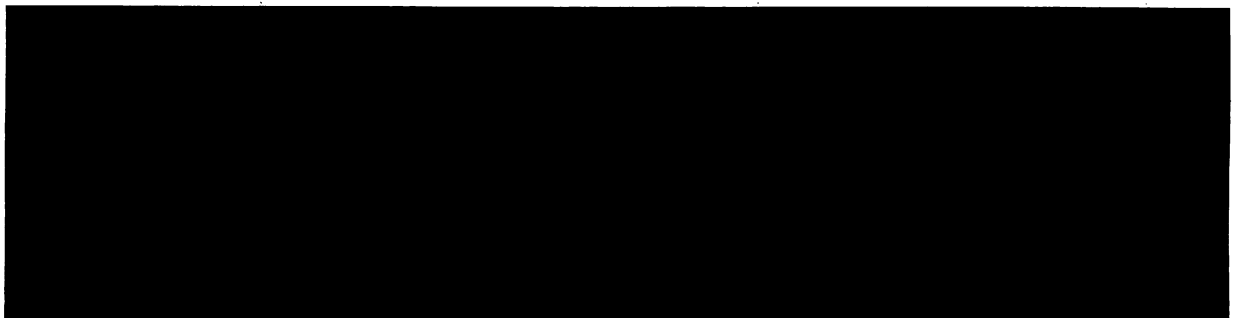
（計65頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



(2) 病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

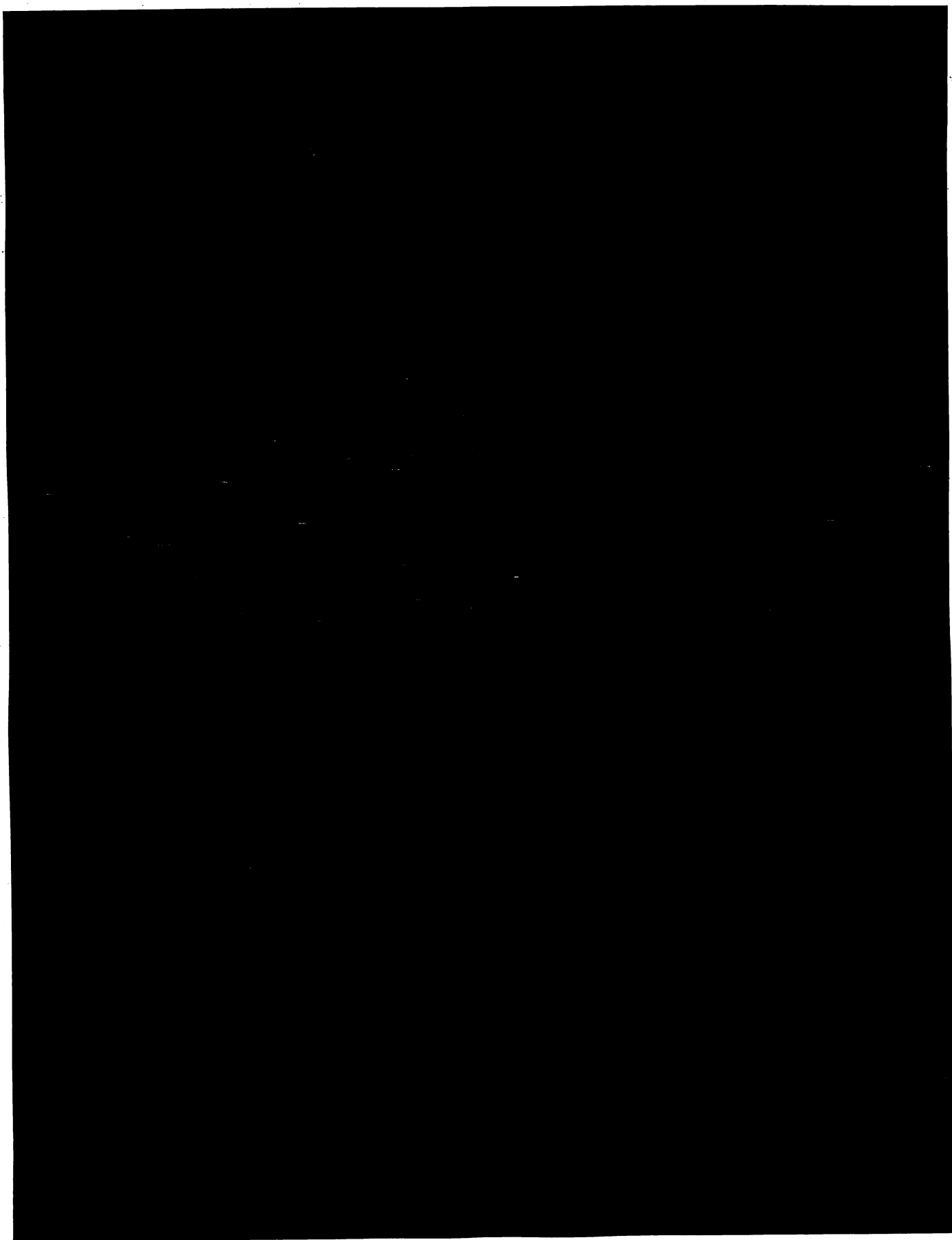
20日23:00 動物衛生研究所に検体到着。

21日早朝 PCRの結果判明。6検体（①～⑥）中全検体で陽性を確認。

23日 ウイルス分離の結果判明。1検体中1検体でO型を確認。

4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

(3) 飼料輸送車両が7例目と同一（ ）



宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第3例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町

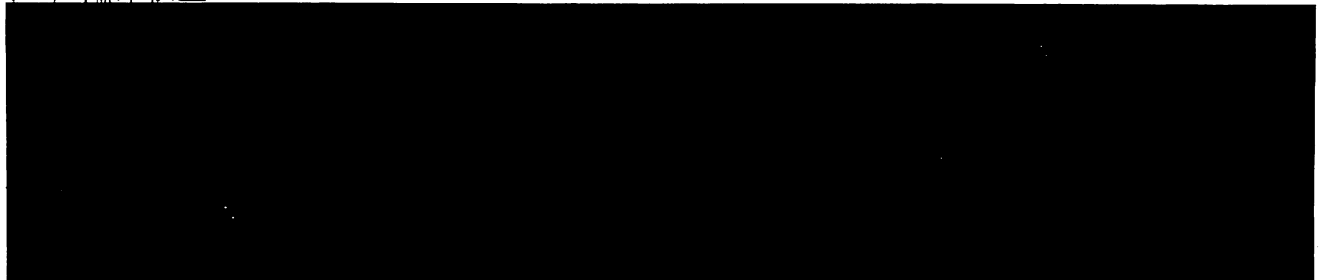
飼養状況：肥育和牛：83頭（うち預託牛21頭）、F1肥育牛：35頭
（計118頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



（2）病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

21日14：45 動物衛生研究所に検体到着。

21日 PCRの結果判明。3頭中すべてで陽性を確認。

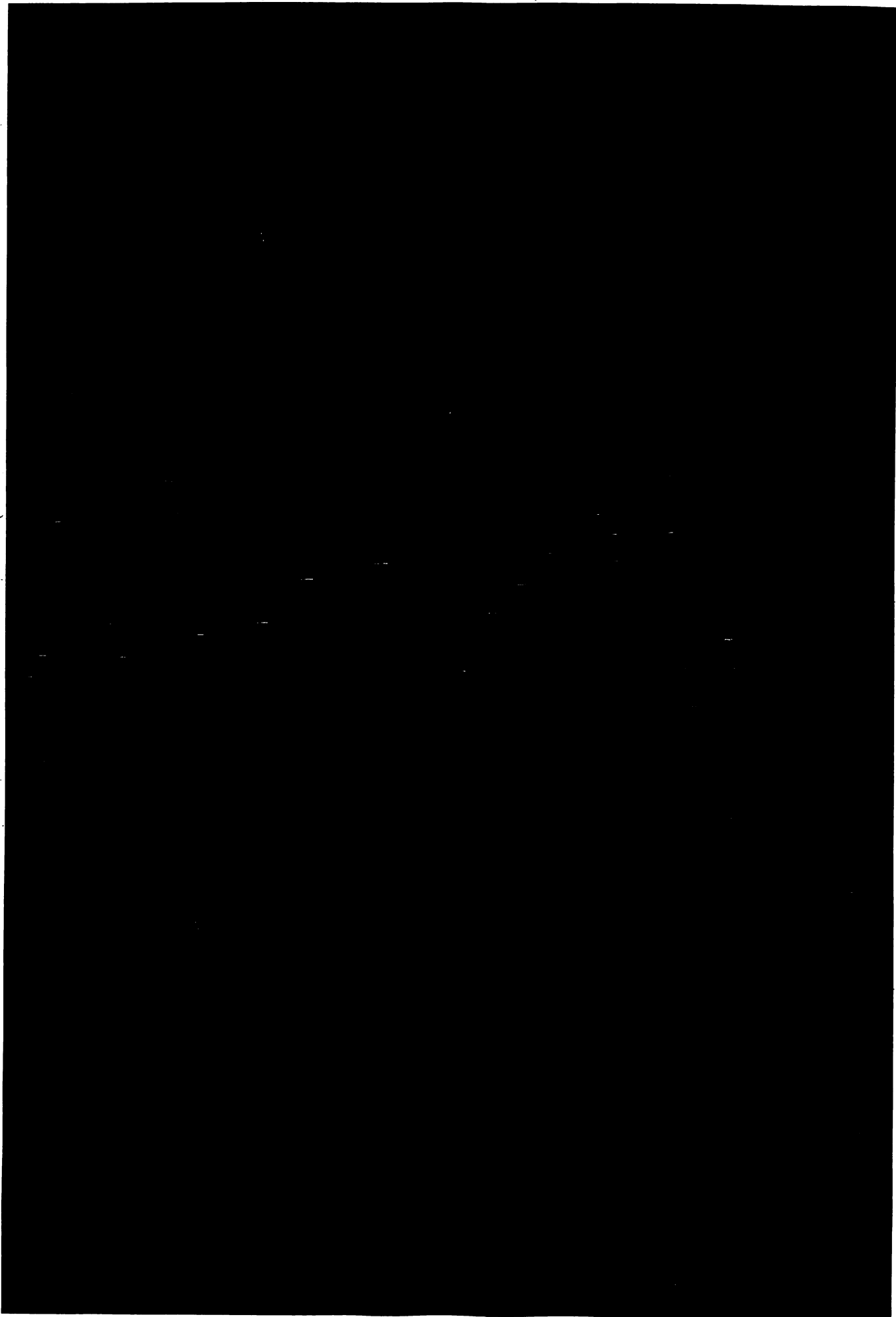
26日 ウイルス分離の結果判明。1検体中1検体でO型を確認。

4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）



（2）中国産稲わらを使用（





宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第4例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町

飼養状況：和牛繁殖：35頭、和牛育成：6、和牛子牛：24（計65頭）

2 経緯

3 検査の状況

（1）臨床検査

（2）病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

4月21日 22:30 動衛研搬入

4月22日 17:30 PCRの結果判明。3頭中2頭（⑦及び⑧）で陽性を確認。

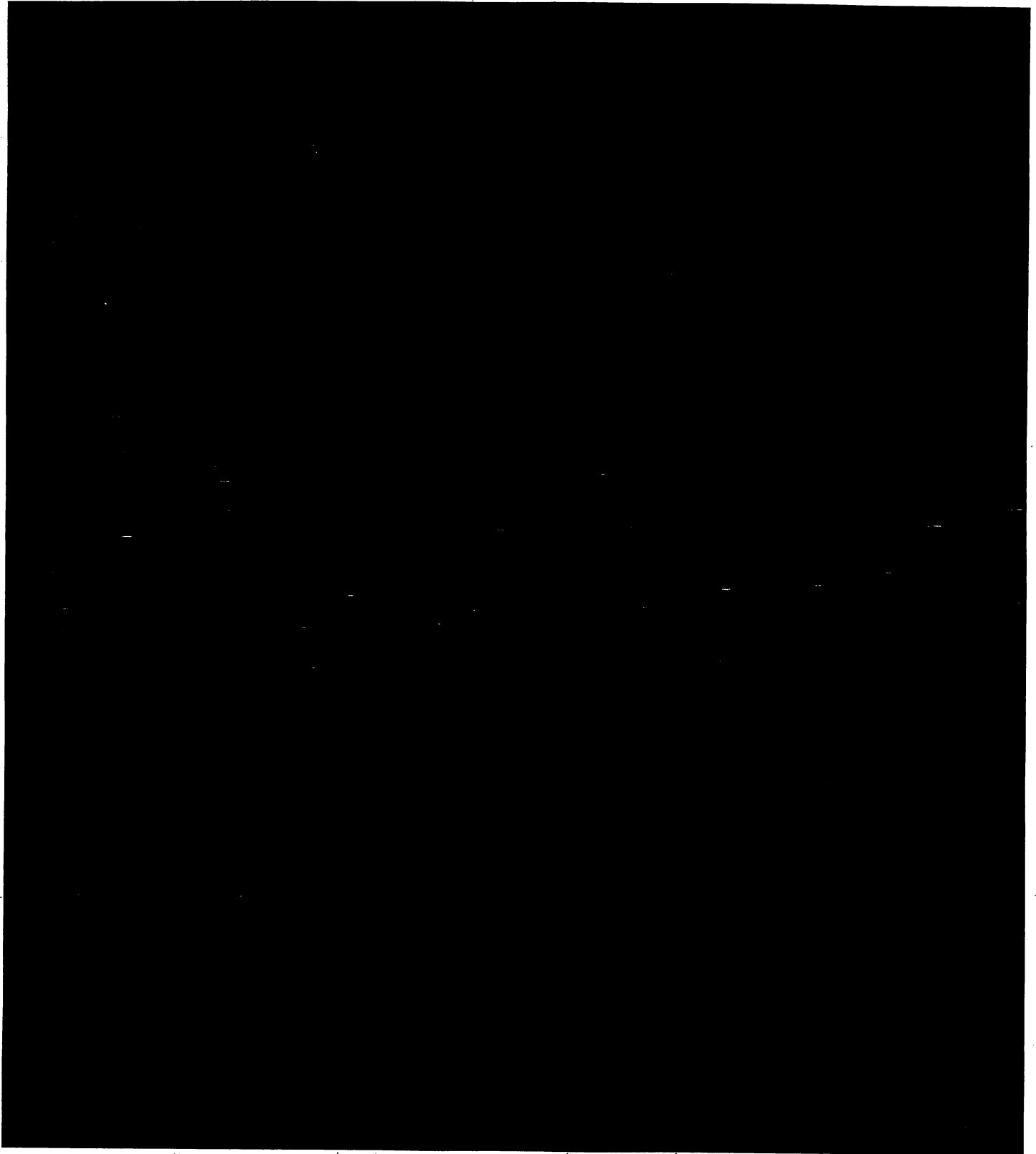
4月23日

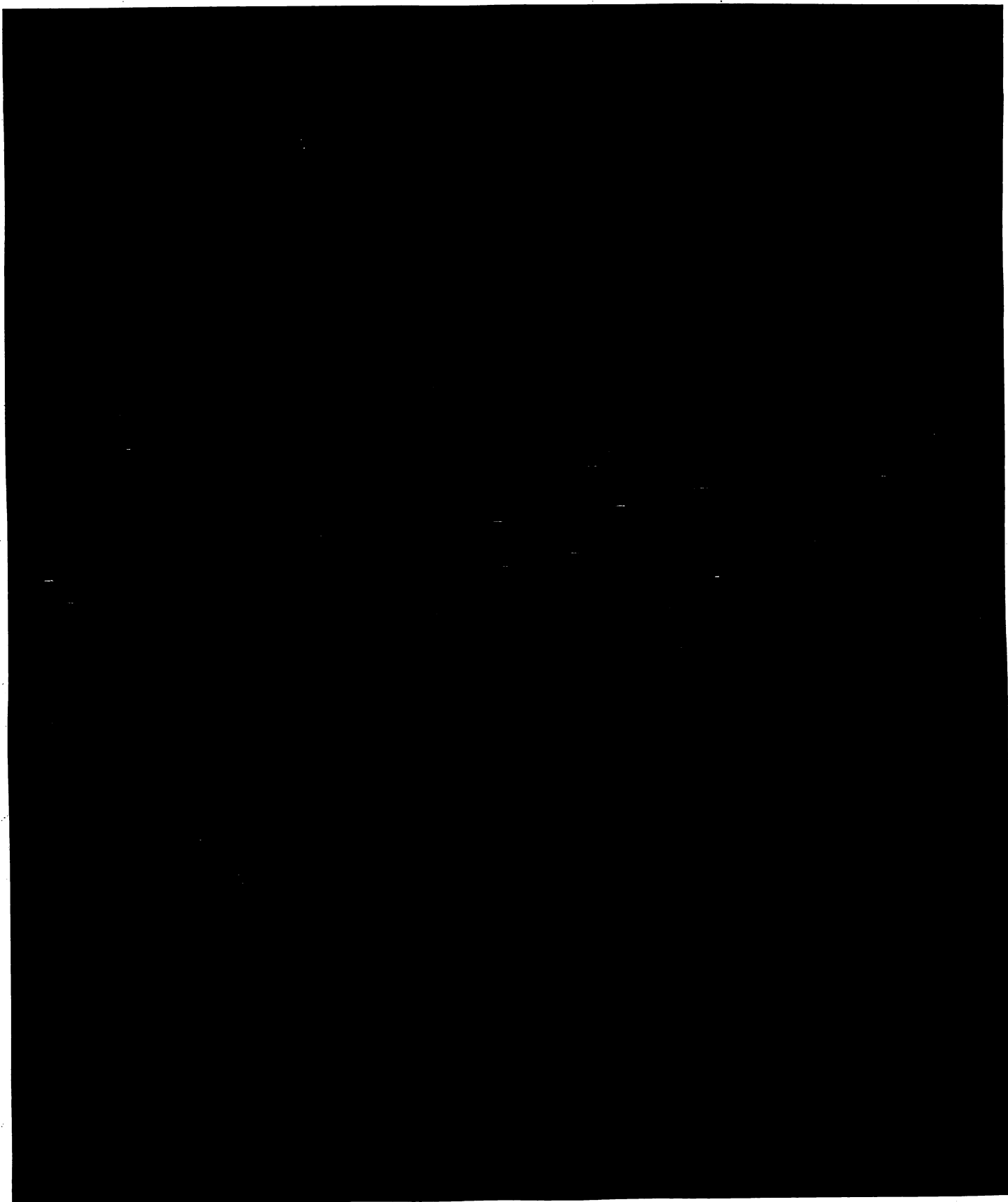
4月26日

ウイルス分離の結果判明。1検体中1検体で陽性。

4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

（1）畜主の妻が6例目農場で勤務





宮崎県における口蹄疫疑い事例(5例目)に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：繁・肥育（和牛親44、和牛育成1、和牛子24、肥育6）
（計75頭）

2 経緯



3 対応状況

（1）農場の検査



（2）病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

4月22日 動物衛生研究所に検体到着

4月23日 PCRの結果判明。3検体中1検体（①）で陽性を確認。

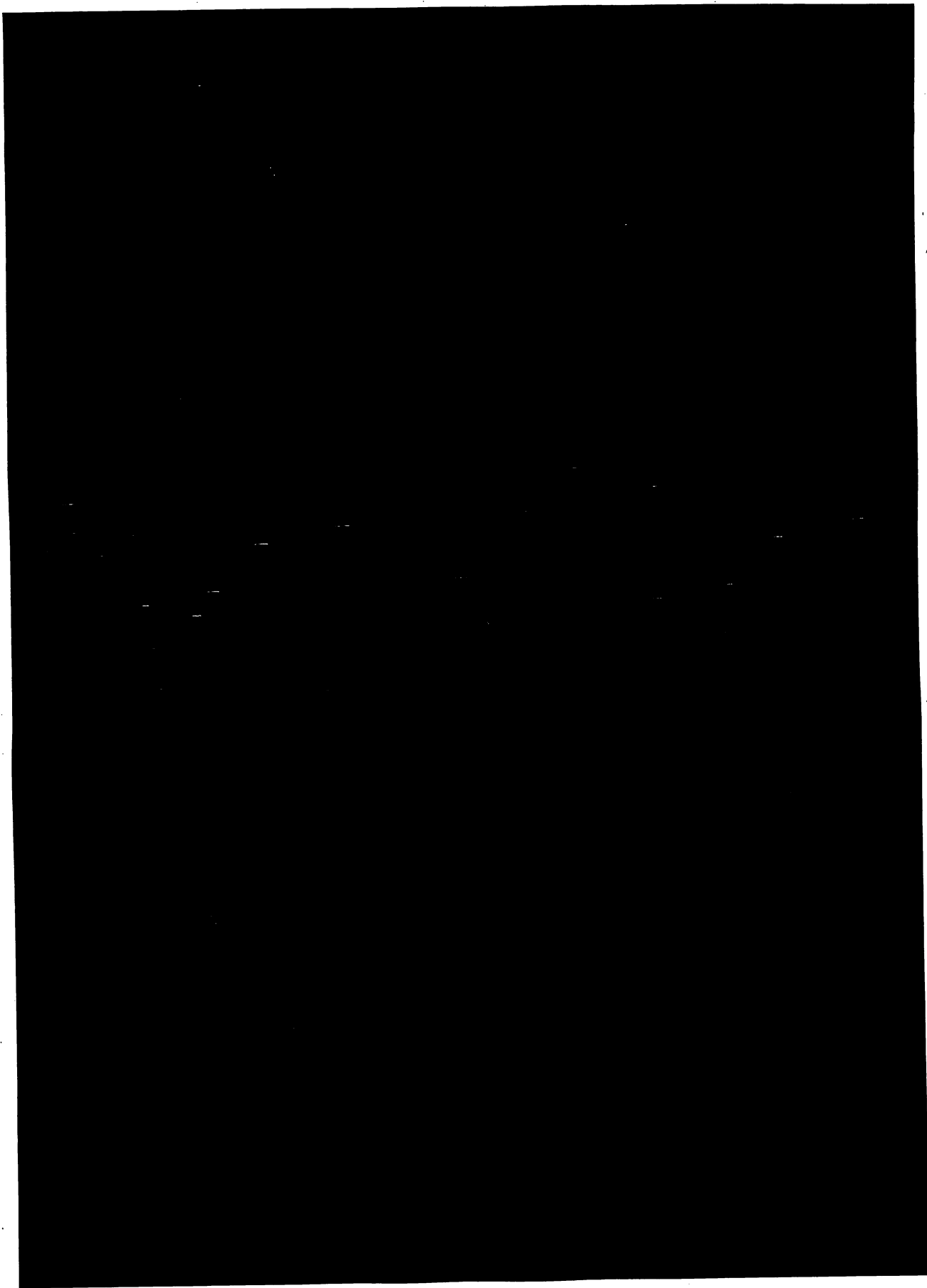


4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

（1）畜主の家族が6例目農場で勤務



（3）4例目の畜主が3月27日に立入



宮崎県における口蹄疫疑い事例(6例目)に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県宮崎県児湯郡都農町[REDACTED]
飼養状況：水牛42頭([REDACTED])、豚2頭

2 経緯

- 3月26日 搾乳牛2頭に、発熱、乳量低下が見られたので獣医師が診療。数日間に、同一の症状を呈す牛が増加。流涎、口内炎、乳房皮膚の剥離が見られる牛もいた。
- 3月31日 獣医師からの届出で家保が立入調査。搾乳牛、雄牛に症状が拡大。一部食欲廃絶、泌乳停止。一部に下痢。この際、口蹄疫を疑う症状は認めず、畜主、獣医師からの報告もなかったため、3頭の血液、鼻腔スワブ、糞便を採取し、ウイルス・細菌・寄生虫検査を実施。
- 4月 5日 獣医師から聴取り「ほとんどの牛が解熱したが一部の牛の乳房に痂皮。アレルギーを疑っている」
- 4月14日 家保立入。子牛にも流涎、発熱。回復した成牛もいるが、乳質低下(脂肪分現象)、被毛粗剛も見られる。
- 4月21日 1例目農場3.5km圏内であることから、家保が立入調査。全頭回復し、症状が見られないが、3月31日の聴取り内容と一部異なる内容があり、口蹄疫を疑う症状があった可能性が認められた。
- 4月22日 家保が立入調査。臨床的に異常なし。検体を採取。
 { 鼻腔スワブ 3検体(臨床症状牛(3月31日採取))
 血液採取 5検体

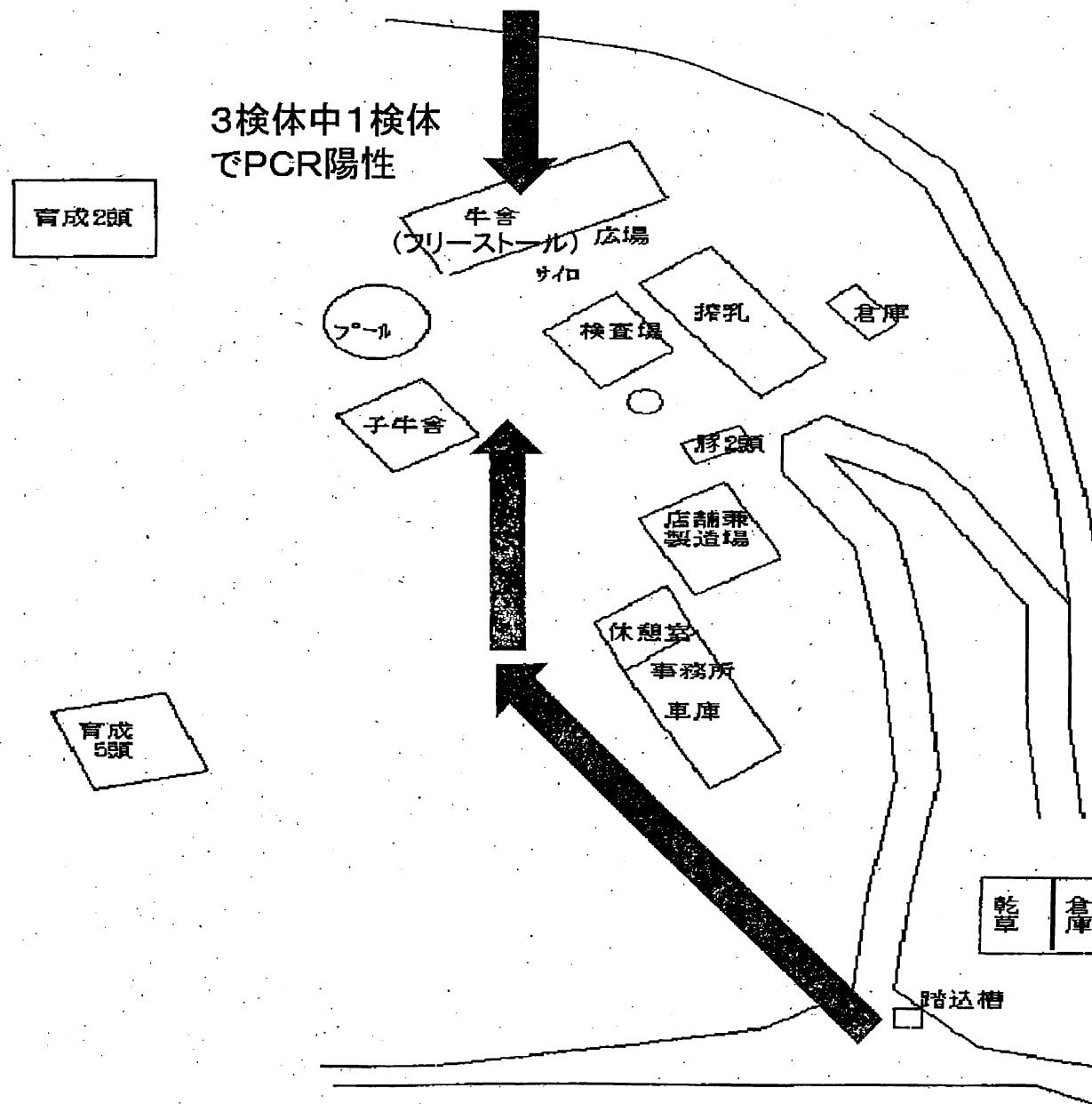
3 対応状況(病性鑑定)

- 4月22日 夜 動物衛生研究所に検体到着
- 4月23日 15:30 PCRの結果判明。3頭中1頭で陽性を確認。
- 4月24日 抗体検査の結果判明。5検体中全検体で陽性を確認。

4 農場の概要(飼養背景・疫学的情報)

- (1) 4例目、5例目農場の家族が当該農場で勤務
- [REDACTED]

6例目(都農町:酪農経営) 水牛舎見取り図



宮崎県における口蹄疫疑い事例(7例目)に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県宮崎県児湯郡川南町 [redacted]

飼養状況：肉用肥育（肥育584、子牛141）

（計725頭）

2 経緯

4月8日頃 道路側牛舎(3棟中)に食欲不振

4月23日 夕 流涎、口腔内潰瘍・びらんが4～5頭

4月24日 朝 家保から農場に立入り検査事前連絡

（2例目と飼料運搬車を介した疫学関連農場だったため）

担当獣医師が電話をかわり、異常牛の通報

11:00 立入り調査。3棟とも流涎散見。鼻腔・鼻鏡の潰瘍・びらんが4～5頭。蹄に異常なし。5頭について血清を採材。

口腔・鼻腔スワブ 5検体（臨床症状牛）

血液採取 5検体（臨床症状牛）

3 対応状況（病性鑑定）

4月24日 夜 動物衛生研究所に検体到着

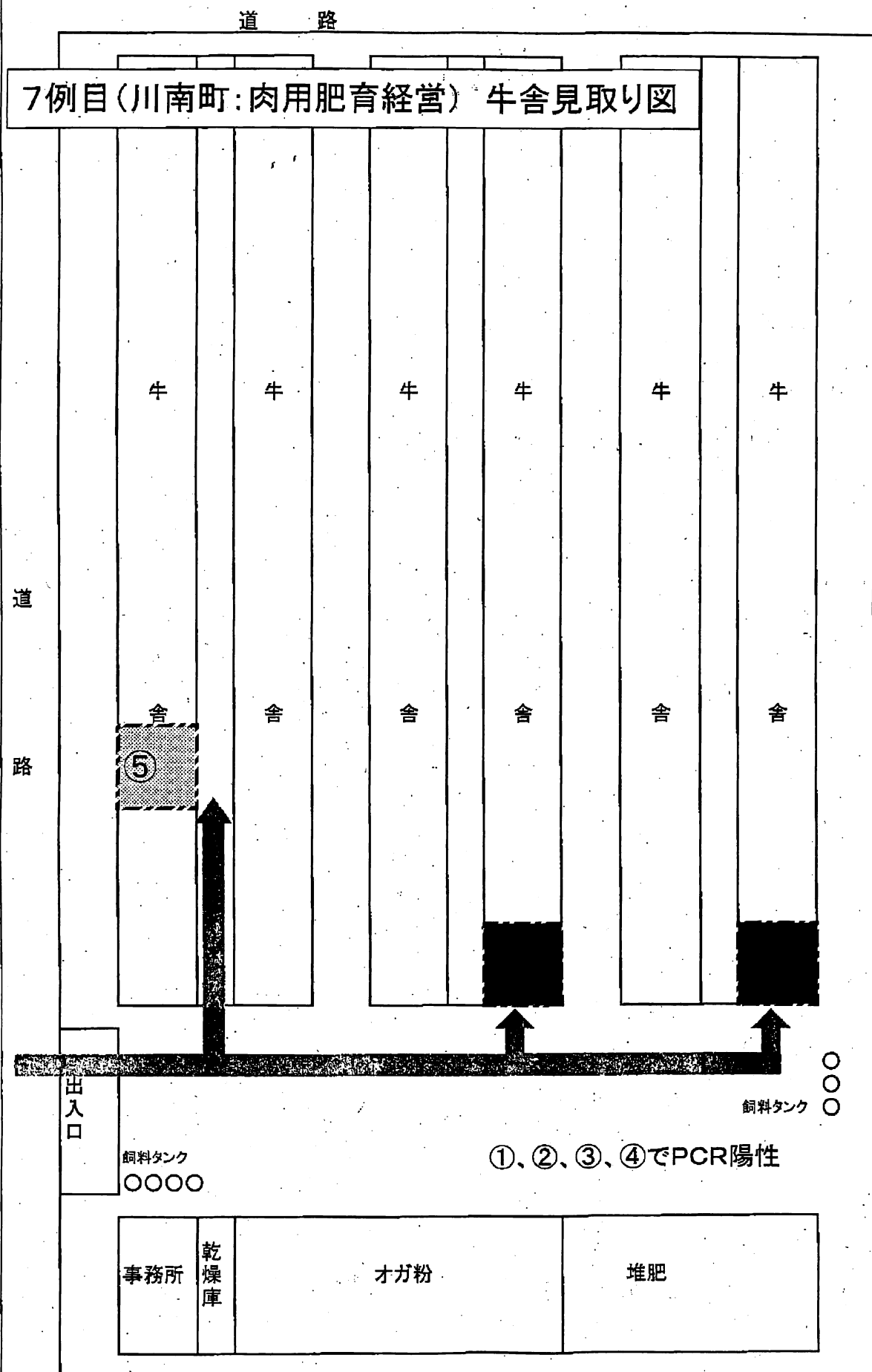
4月25日 15:30 PCRの結果判明。5頭中4頭で陽性を確認。

4月26日 抗体検査の結果判明。5検体中全検体で陽性を確認。

4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

（1）8例目と同一系列の農場

（2）飼料の運送車両が2例目と同一（[redacted]）



宮崎県における口蹄疫疑い事例(8例目)の経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：肉用肥育（肥育867頭、子牛152頭）
（計1,019頭）

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



(2) 病性鑑定（動物衛生研究所で実施）

4月27日 動物衛生研究所に検体が到着

PCRの結果判明。5検体中全検体で陽性を確認。

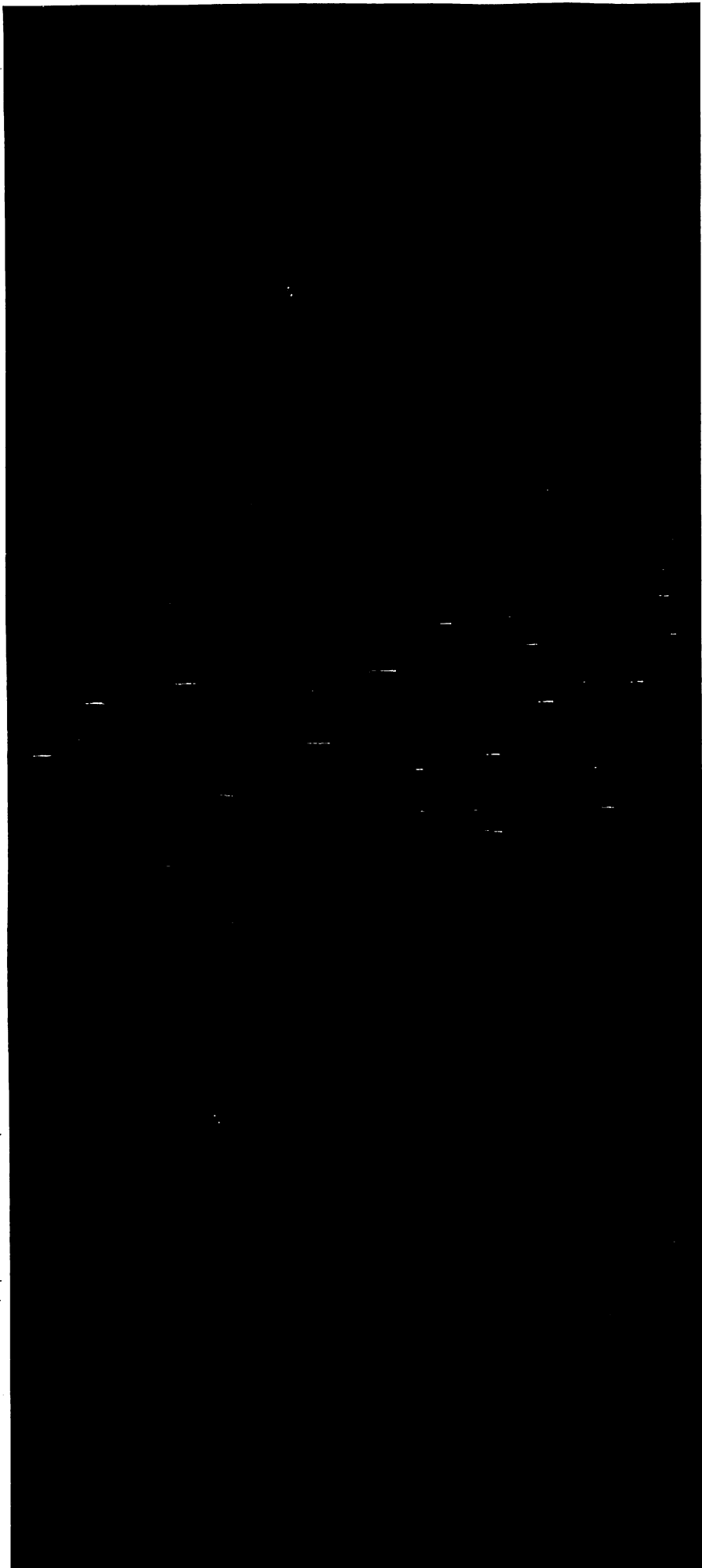


4 農場の概要（飼養背景・疫学的情報）

(1) 7例目と同一系列の農場



(4) あぐら農場第7農場と同じ飼料を給与



宮崎県における口蹄疫疑い事例(9例目)に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県えびの市

飼養状況：第1農場 肥育244頭 (発生農場)

第2農場 肥育 33頭 (約50m西側)

2 経 緯

3 対応状況(病性鑑定)

4月27日 動物衛生研究所に検体到着。

4月28日 6:00 PCRの結果判明。5検体中4検体で陽性を確認(9頭中、
2頭プール4検体陽性、1頭1検体陰性)。

4 関連情報・調査事項

(3) 野生生物

・アナグマ、ネズミ、カラス、ハト。

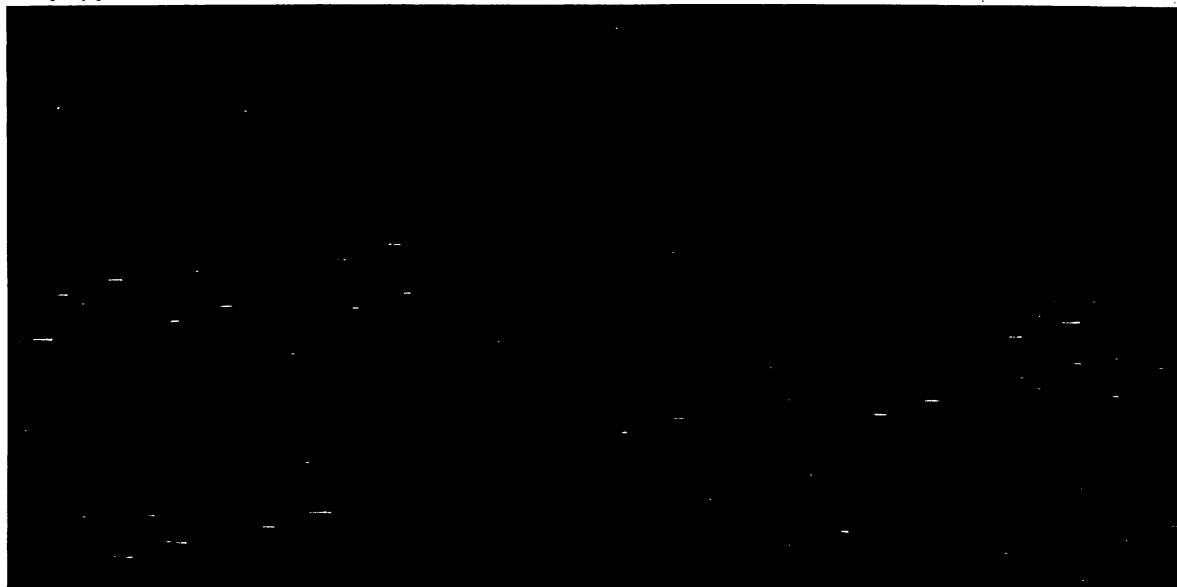
宮崎県における口蹄疫疑い事例(10例目)の経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町大字川南21986

飼養状況：豚 486頭（ほか、鶏）

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査

別紙のとおり

(2) 病性鑑定（動物衛生研究所で実施）

4月27日 動物衛生研究所に検体が到着。

4月28日 06:00 PCRの結果判明。5検体中全検体で陽性を確認、



4 農場の概況（飼養背景・疫学的情報、試験場獣医師より聞取り）

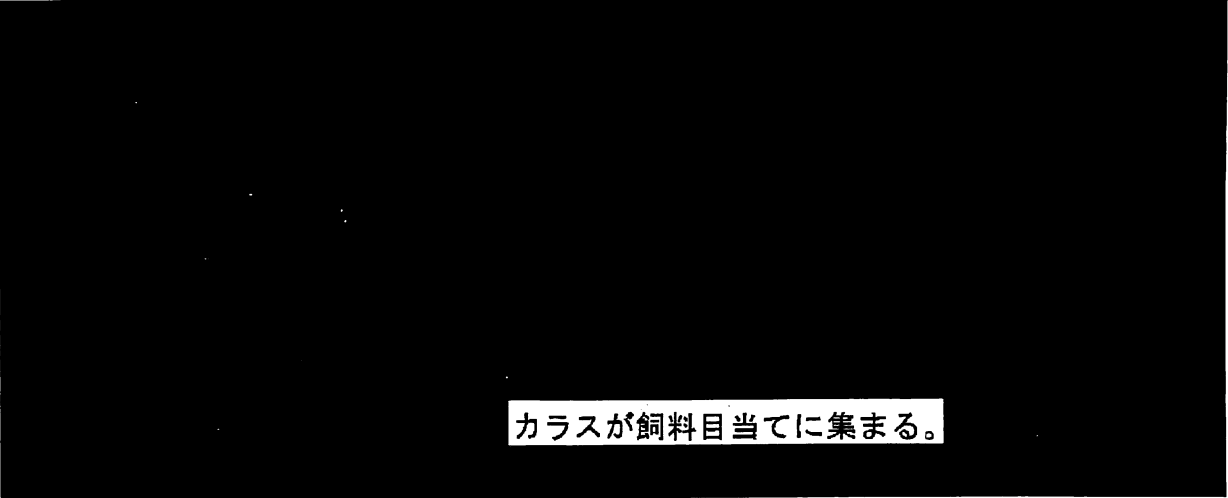


- ・4月22日、開放畜舎から育成豚(繁殖候補)を現在の畜舎へ移動。



- ・4月の出荷状況（9回、廃用58頭。直近は4月16日に1頭。



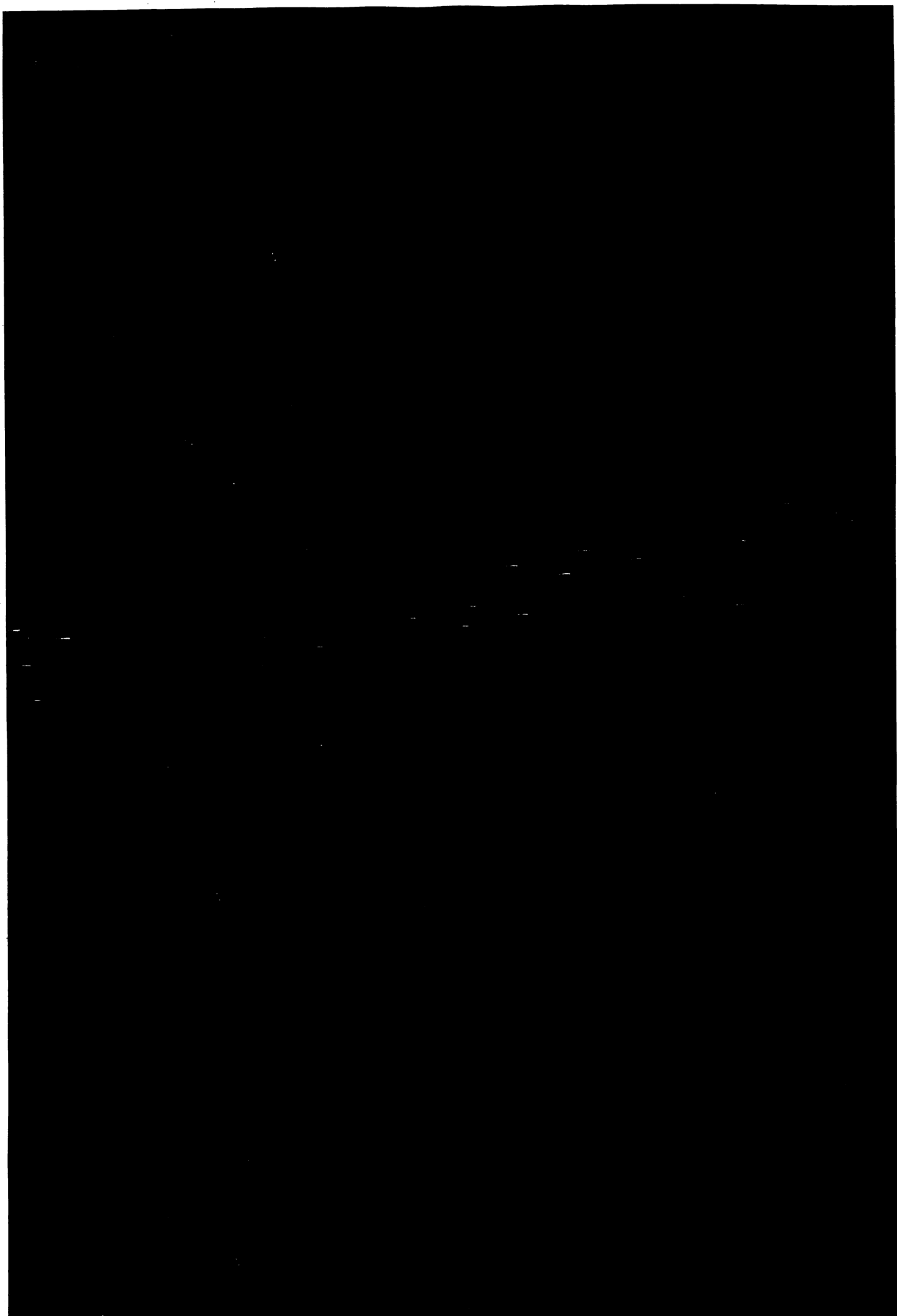


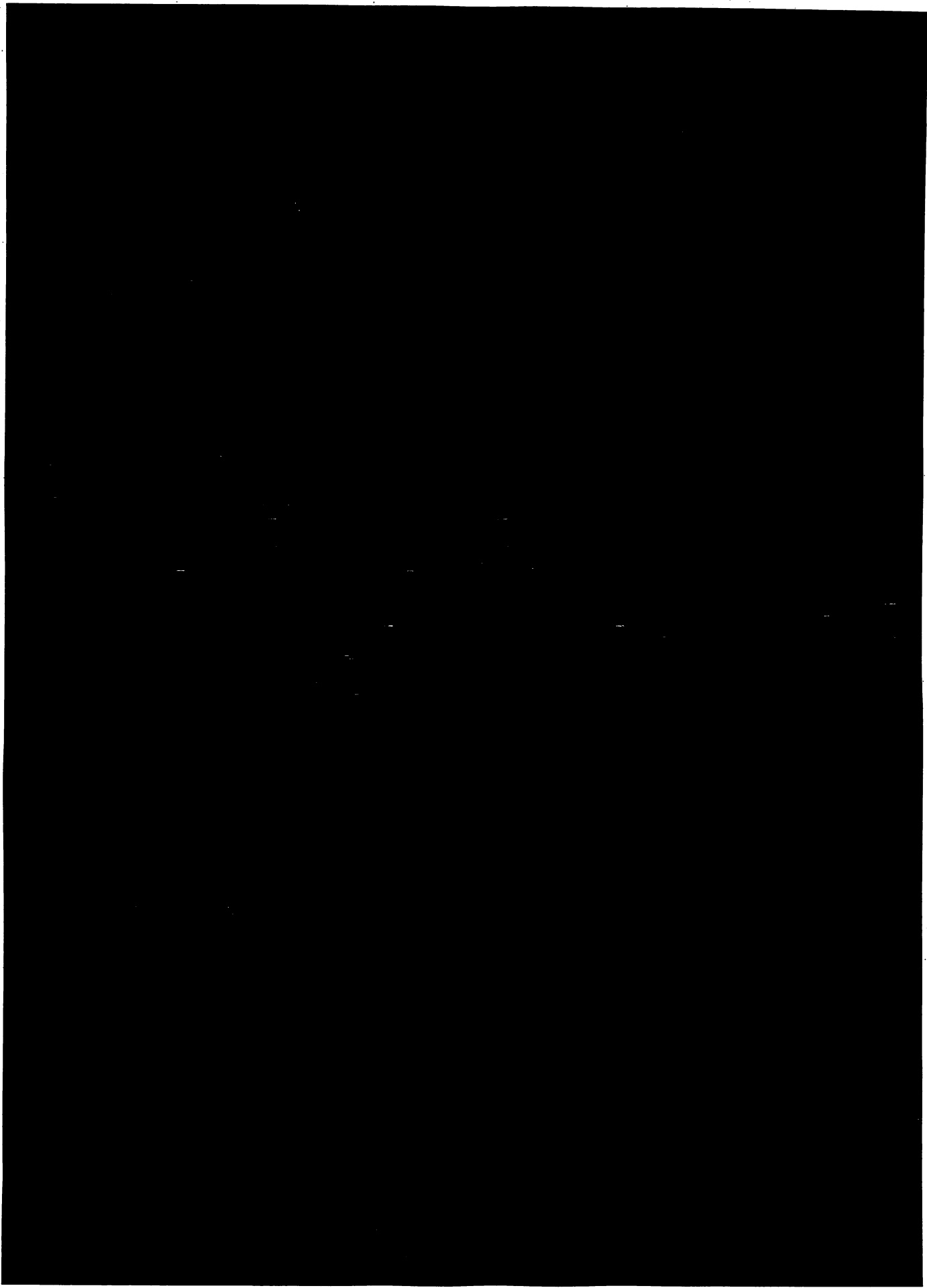
カラスが飼料目当てに集まる。



・農場周囲にトビ、カラスが多い。







検体リスト

畜産試験場川南支場

検体No.	畜種	耳刻No.	豚房	用途	性別	鼻腔スワブ	組織等	血液	症状
1	豚	10	2	繁殖	♀	○	舌のびらん		舌・下唇内側のびらん、両前肢の破裂水疱、右後肢蹄底部・左蹄底部脱落
2	豚	15	2	繁殖	♀	○	蹄部水疱		左後肢蹄底部脱落 右後肢水疱
3	豚	418	2	繁殖	♀	○	鼻鏡水疱		四肢蹄部脱落 鼻鏡上部水疱3ヶ所
4	豚	419	2	繁殖	♀	○	舌のびらん		鼻鏡に破裂水疱、左前肢甲びらん、四肢爪脱落、舌・下顎の歯肉にびらん
5	豚	396	2	繁殖	♀	○	鼻鏡水疱		四肢蹄部脱落、鼻鏡に水疱1ヶ所 左右前肢のびらん
6	豚	6	3	繁殖	♀			○	
7	豚	42	1	繁殖	♀			○	四肢に水疱
8	豚	120	3	繁殖	♀			○	蹄底脱落、歩行可能
9	豚	153	4	繁殖	♀			○	起立可能
10	豚	184	1	繁殖	♀			○	四肢に水疱、起立不能
11	豚	214	4	繁殖	♀			○	起立可能
12	豚	241	2	繁殖	♀			○	起立可能
13	豚	475	4	繁殖	♀			○	
14	豚	355	2	繁殖	♀			○	起立可能
15	豚	551	1	繁殖	♀			○	左前肢びらん、起立可能

宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第11例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：ホルスタイン種成牛：35頭、育成及び子牛：15頭（計50頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



（2）病性鑑定

4月28日 動物衛生研究所に検体が到着。

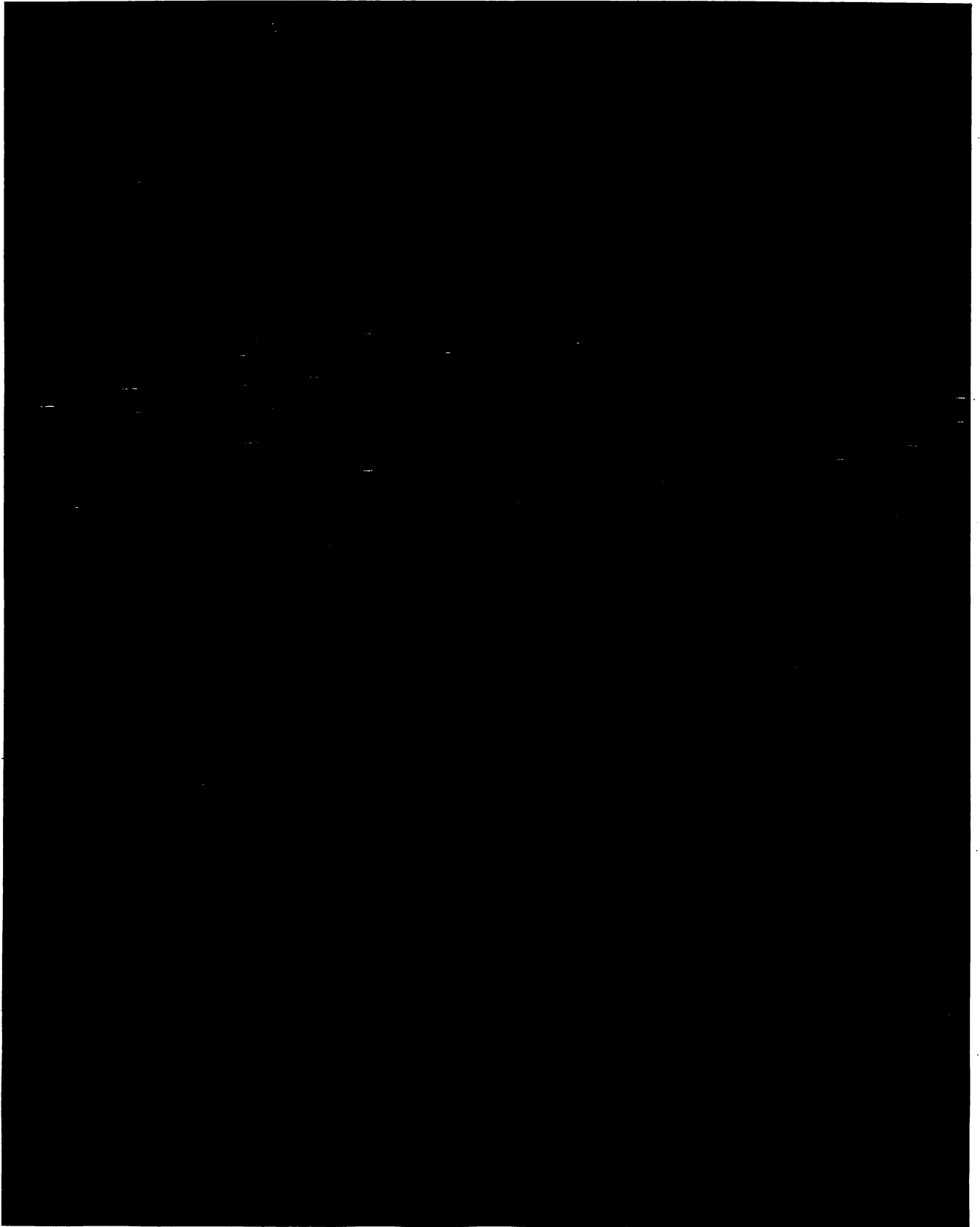
4月29日 PCRの結果判明。スワブ4検体中2検体（①、②）で陽性を確認。



4 疫学情報等



（2）4月16日に乳用肥育牛セリに3頭出荷



宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第12例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町

飼養状況：繁殖母豚493頭、種豚14頭、育成豚82頭、子豚840頭
（計1,429頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



（2）病性鑑定（動物衛生研究所で実施）

4月29日 動物衛生研究所に検体が到着。

4月29日 PCRの結果判明。4検体中全検体で陽性を確認。



4 疫学情報等





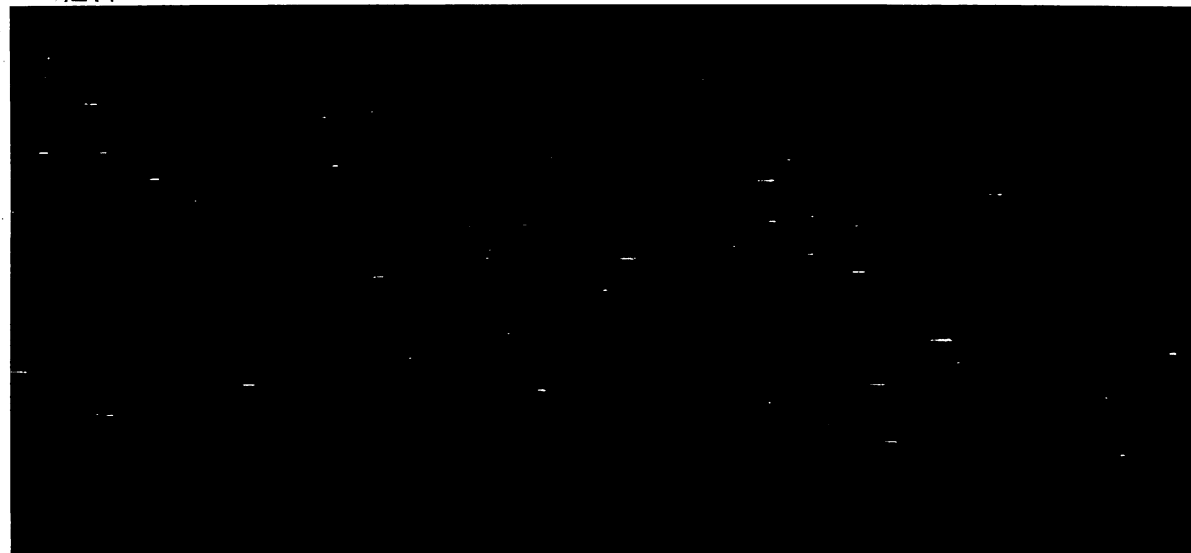
宮崎県における口蹄疫疑似患畜に対する経緯等（13例目）について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町

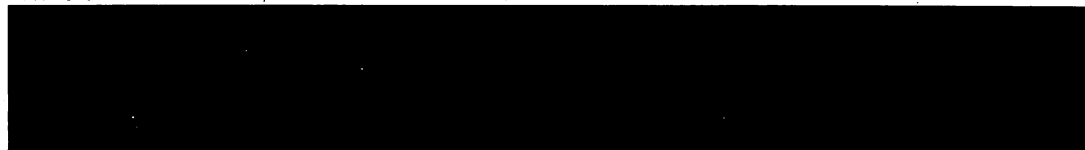
飼養状況：繁殖母豚371頭、育成41頭、仔豚897頭、種豚28頭、
F1候補豚1063頭、肥育豚1482頭
(計3882頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



(2) 病性鑑定（動物衛生研究所で実施）。

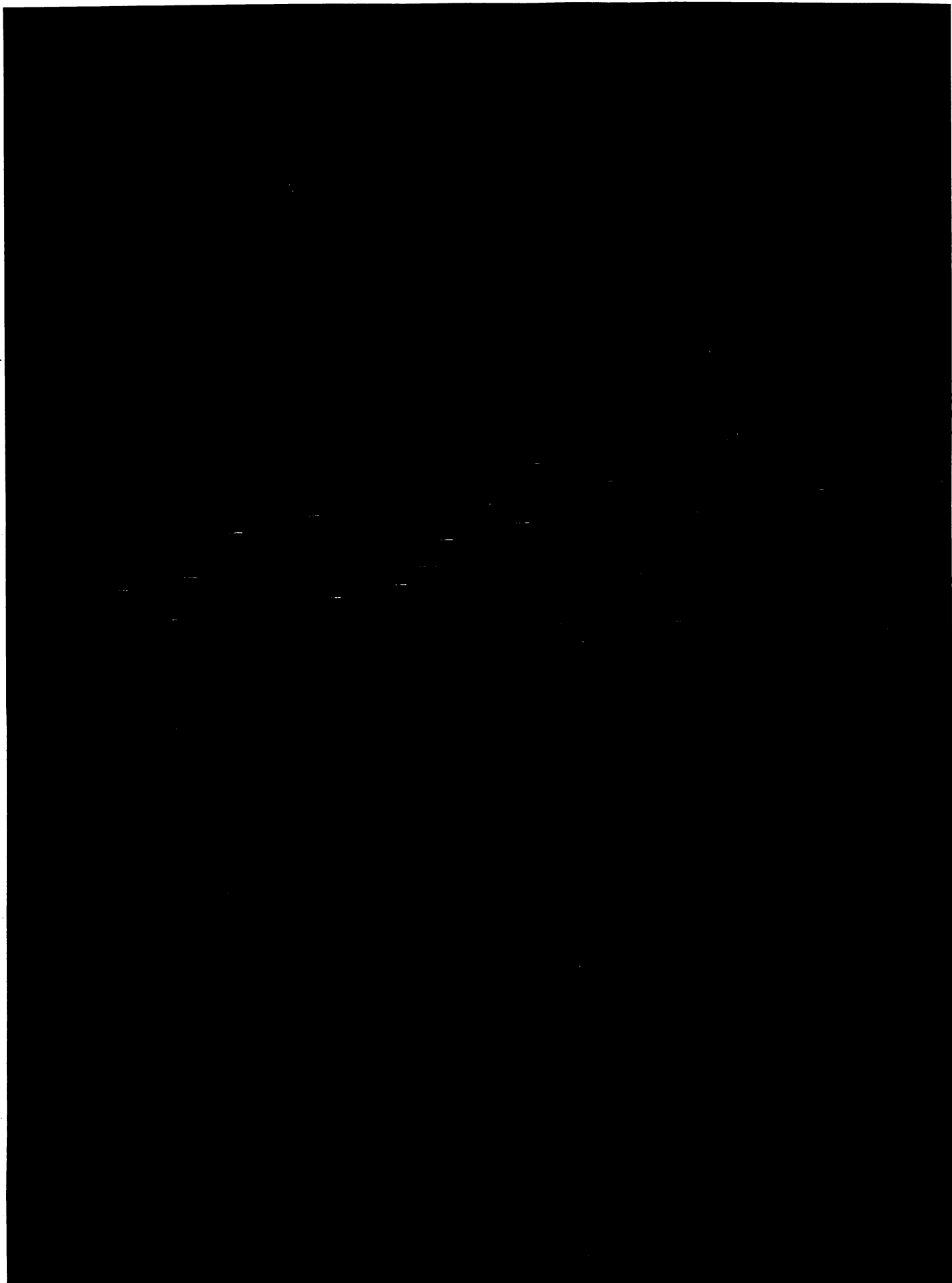
4月30日 動物衛生研究所に検体到着。

5月 1日 14:50 PCRの結果判明。2検体中1検体（②）で陽性を確認。

4 疫学情報等



(2) 10例目農場と近隣。



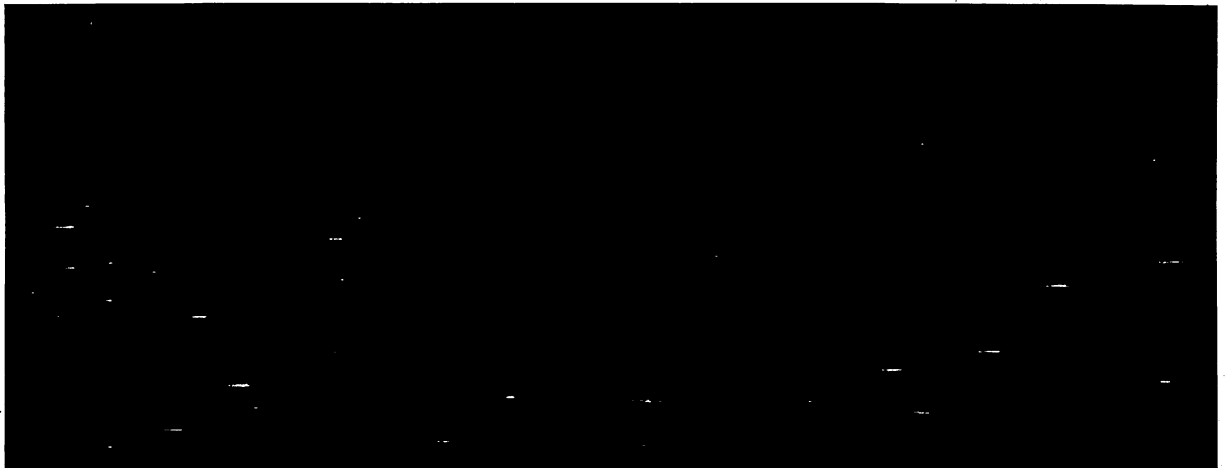
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第14例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：養豚農家（繁殖母豚50頭、育成0頭、子豚180頭、哺乳66頭、種雄3頭）
（計299頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



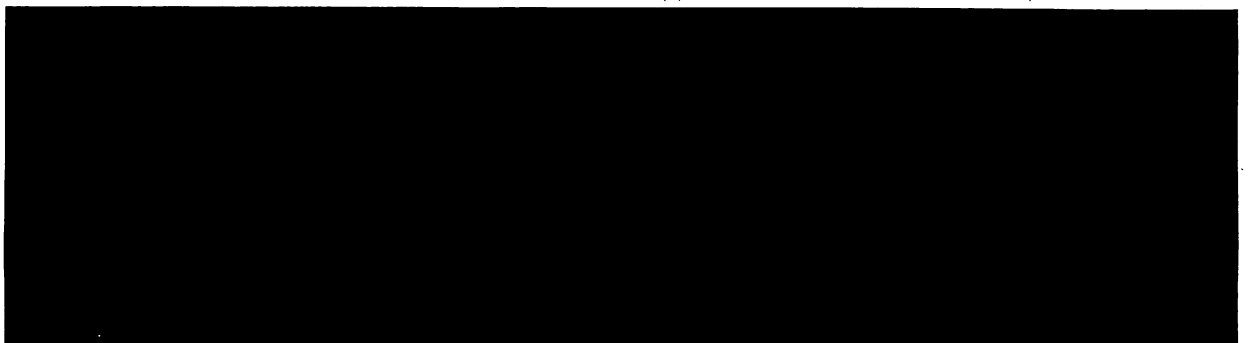
（2）病性鑑定（動物衛生研究所において実施）

5月1日 動物衛生研究所に検体を搬入。

5月1日 PCRの結果判明。3検体中1検体（①）で陽性を確認。



4 疫学情報等



宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第15例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：和牛肥育農家（肥育422頭、繁殖2頭）
（計424頭）

2 経緯



3 病性鑑定（動物衛生研究所で実施）

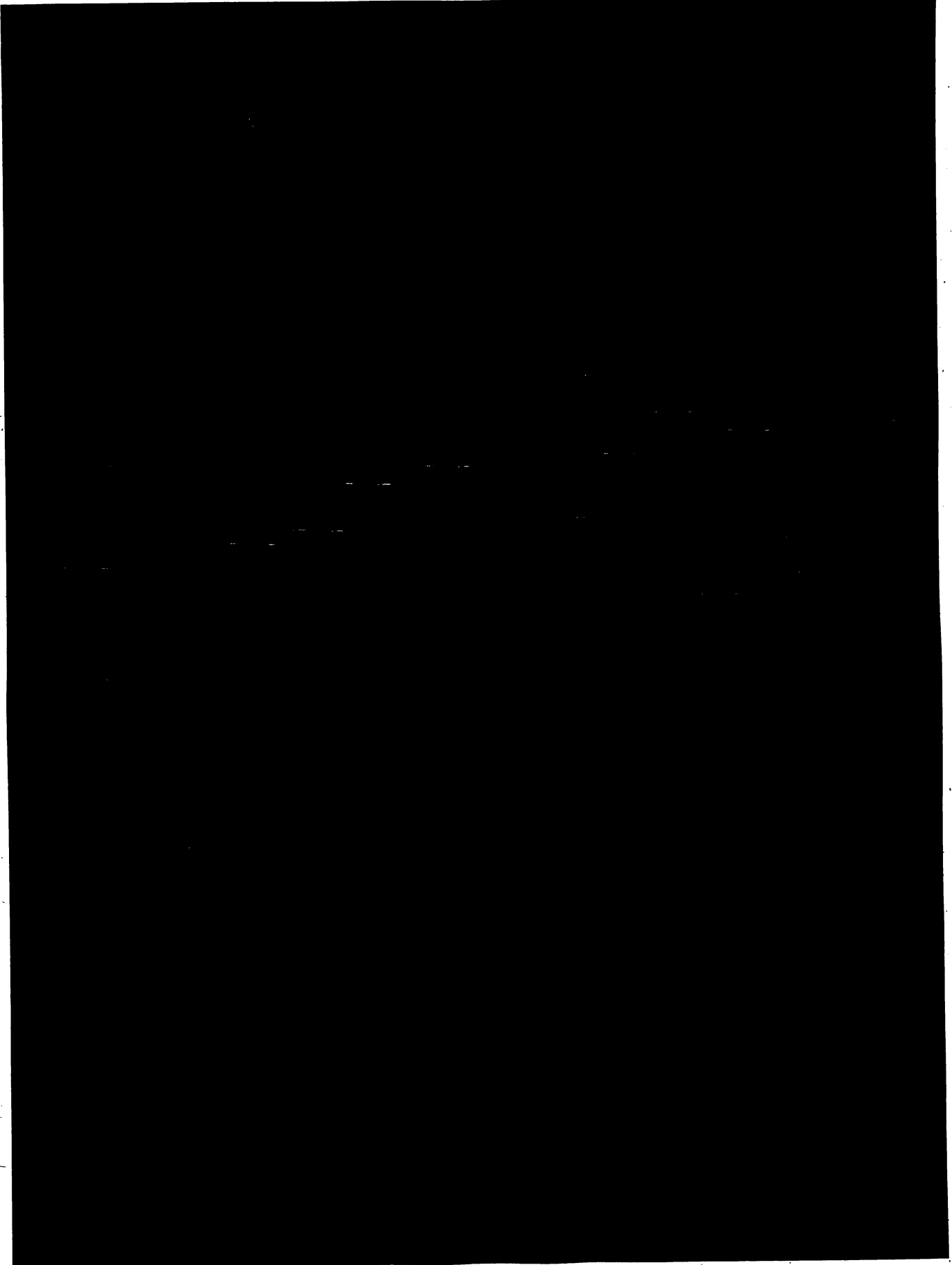
5月1日、動物衛生研究所に検体到着

5月2日 PCRの結果判明。4検体中3検体で陽性を確認。



4 疫学情報等





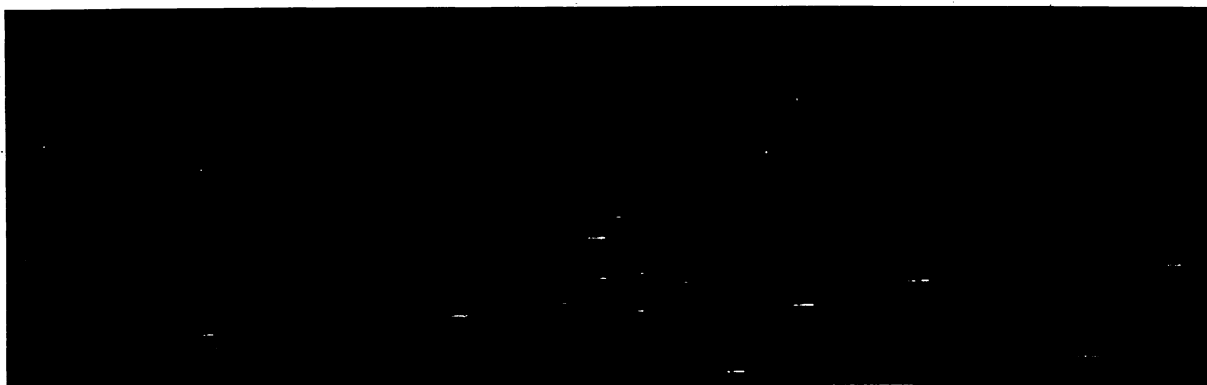
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第16例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町 

飼養状況：黒毛和種繁殖雌牛：2頭、子牛：2頭
(計4頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



(2) 病性鑑定

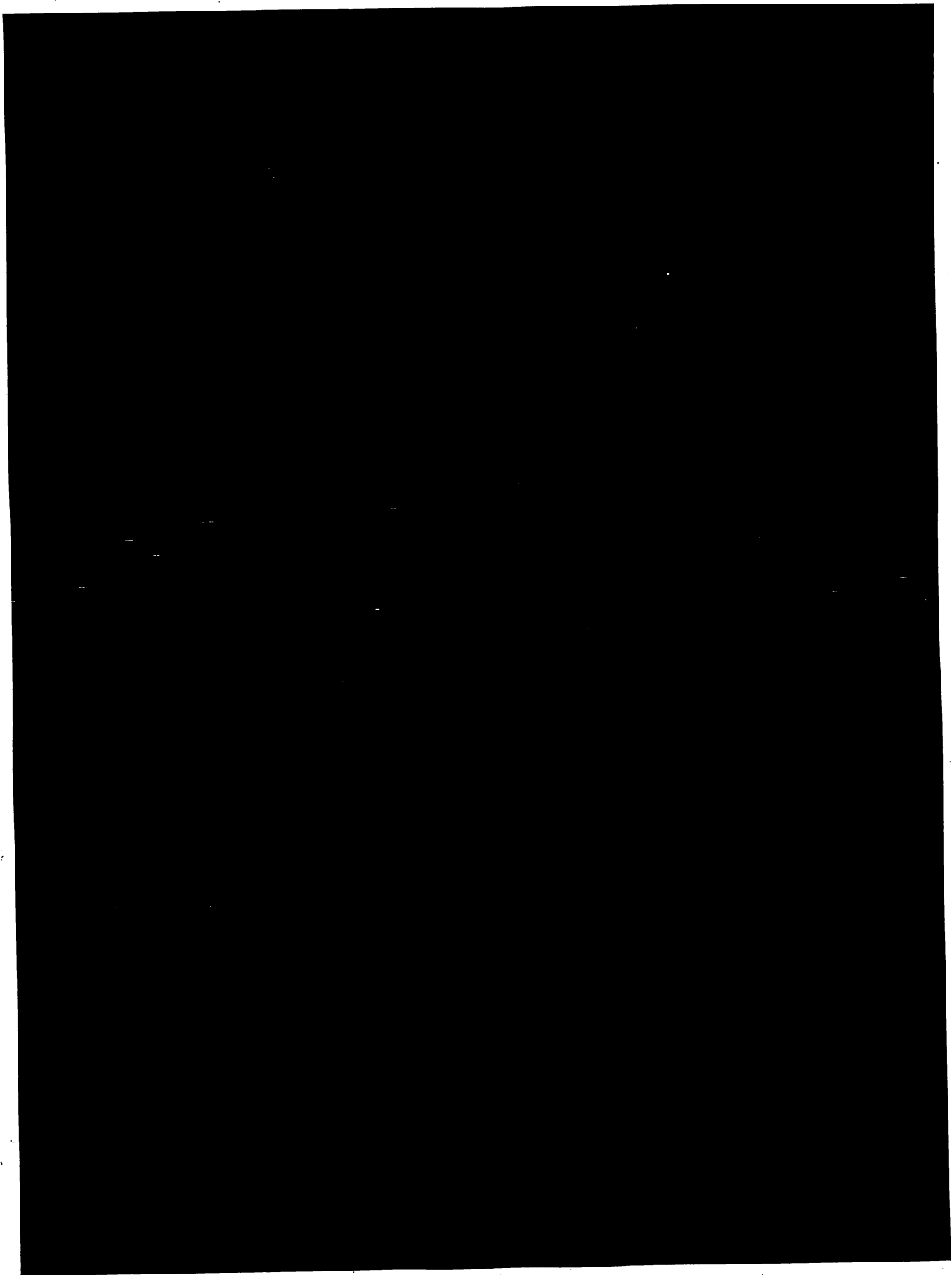
5月3日 動物衛生研究所に検体が到着

5月3日 PCRの結果判明。2検体中全検体で陽性を確認。



4 疫学情報等





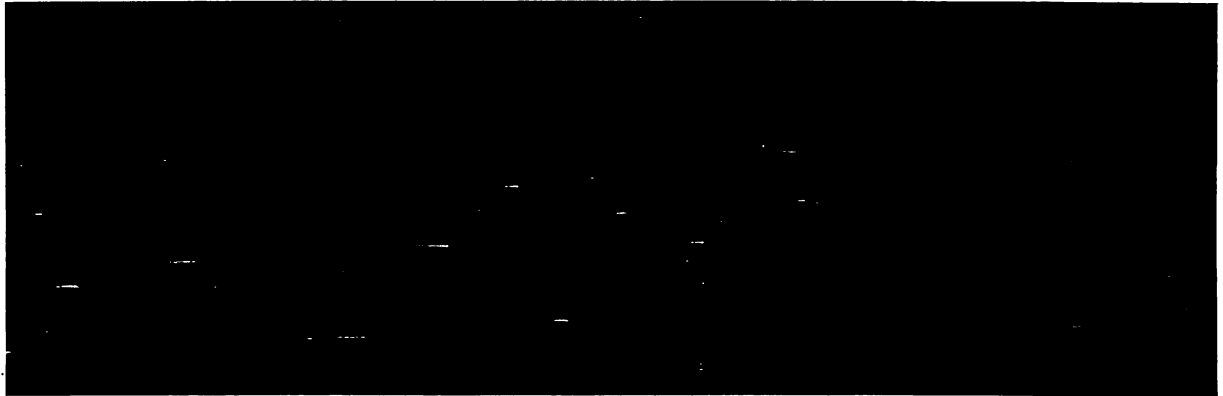
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第17例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県児湯郡川南町 

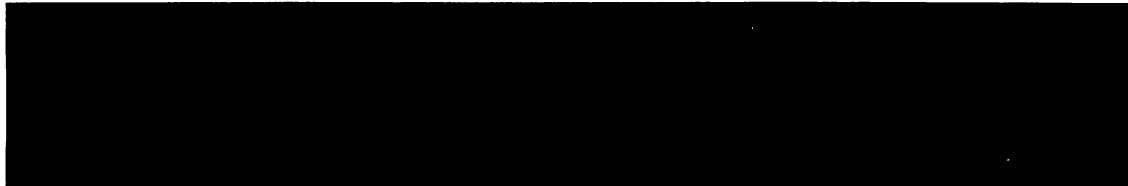
飼養状況：黒毛和種繁殖雌牛：17頭、育成牛：3頭、子牛：17頭
（計37頭）

2 経緯



3 検査の状況

（1）臨床検査



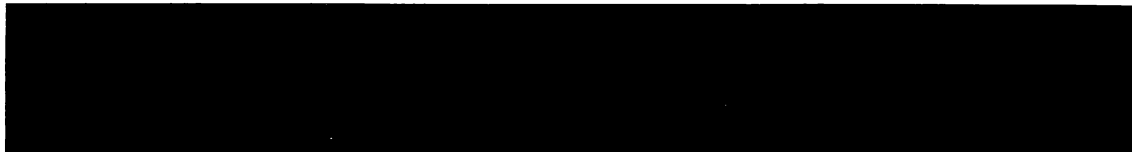
（2）病性鑑定

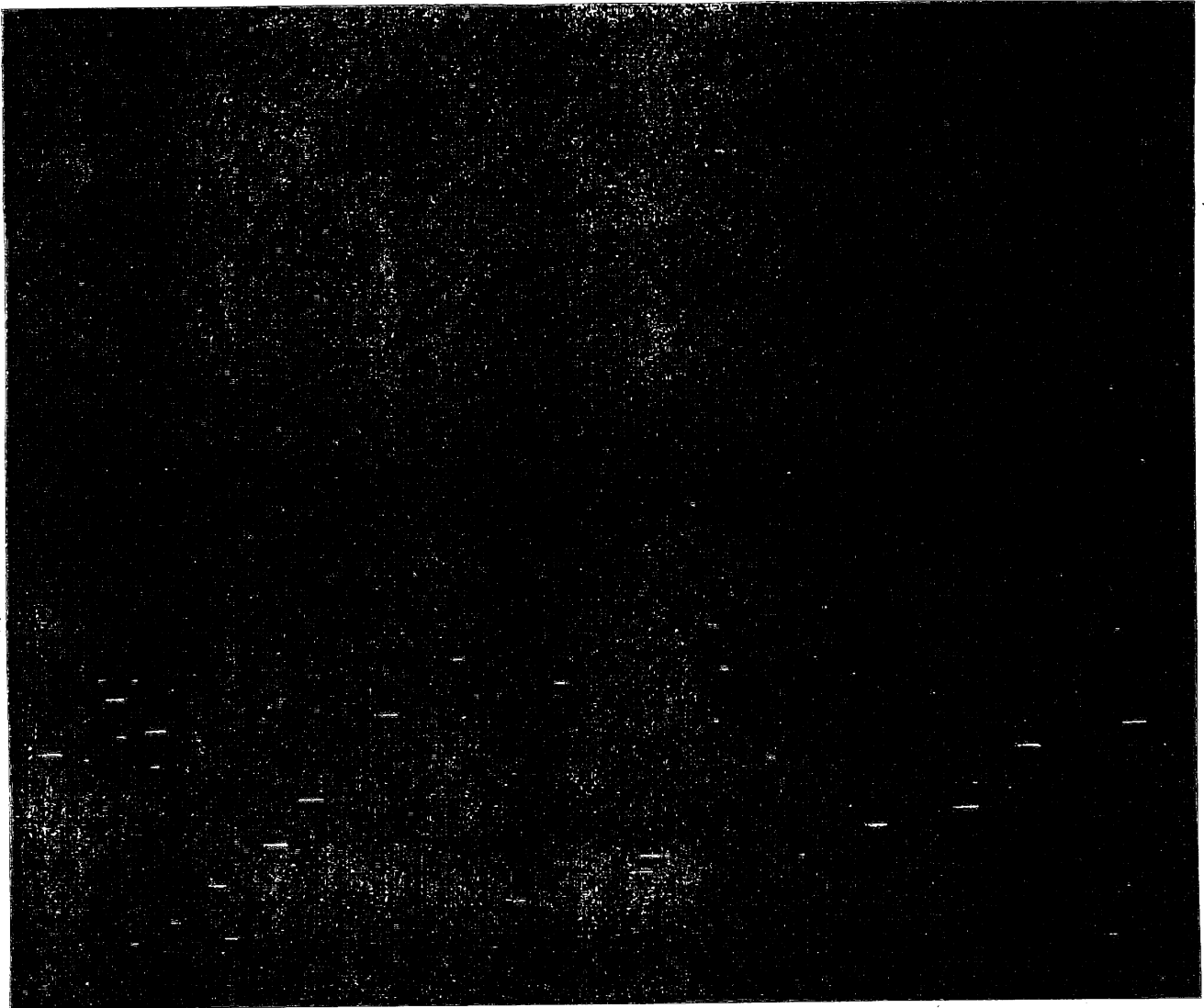
5月3日 動物衛生研究所に検体が到着

5月3日 PCRの結果判明。5検体中2検体（①、①の右隣）で陽性を確認。



4 疫学情報等





宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第18例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県川南町

飼養状況：繁殖母豚 1,308頭、哺乳豚 2,098頭、肥育豚8,073頭、
子豚 4,248頭、種豚 20頭
(15,747頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査

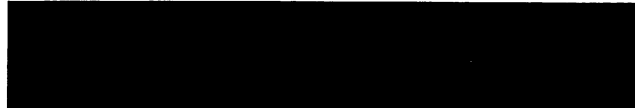


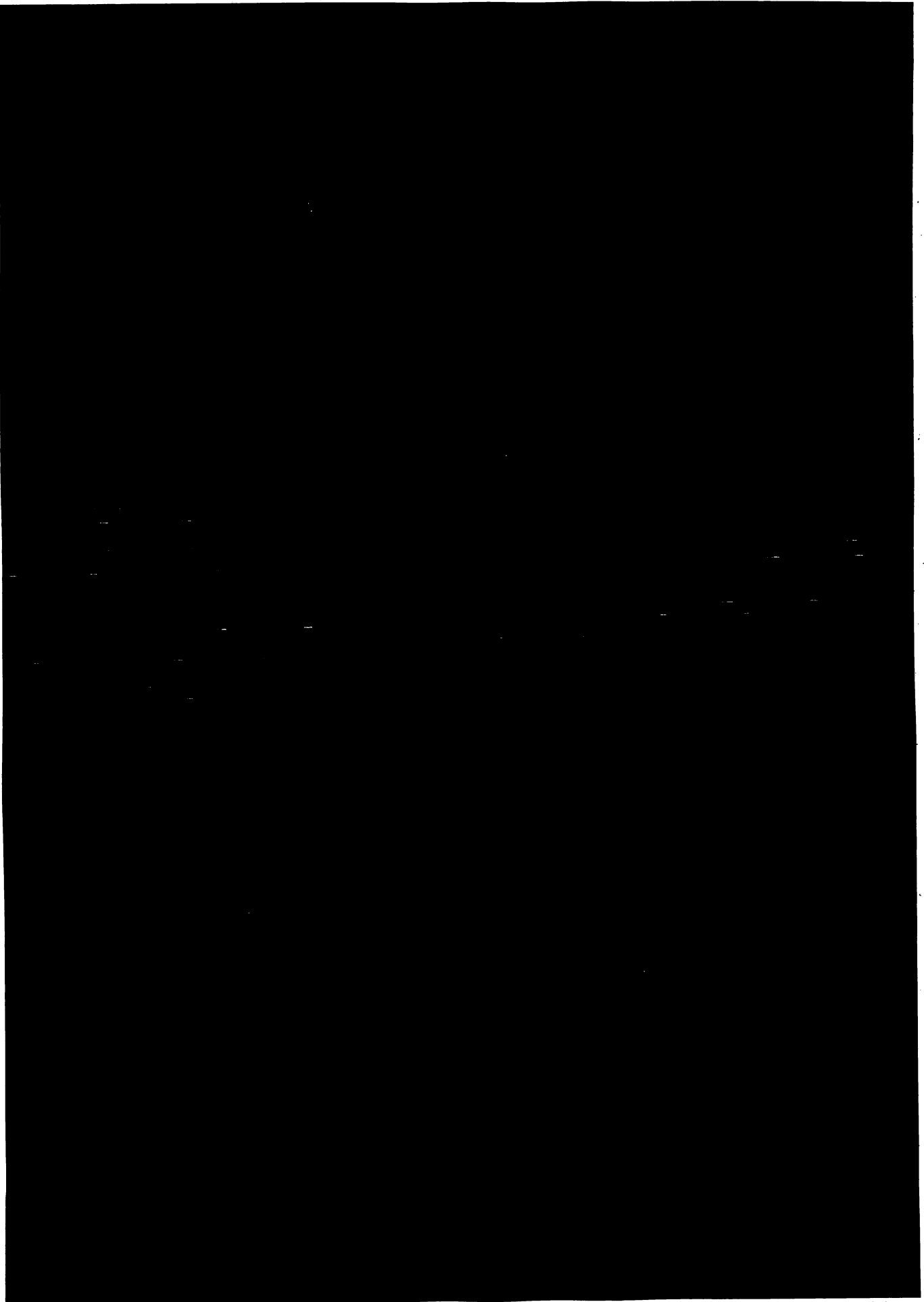
(2) 病性鑑定

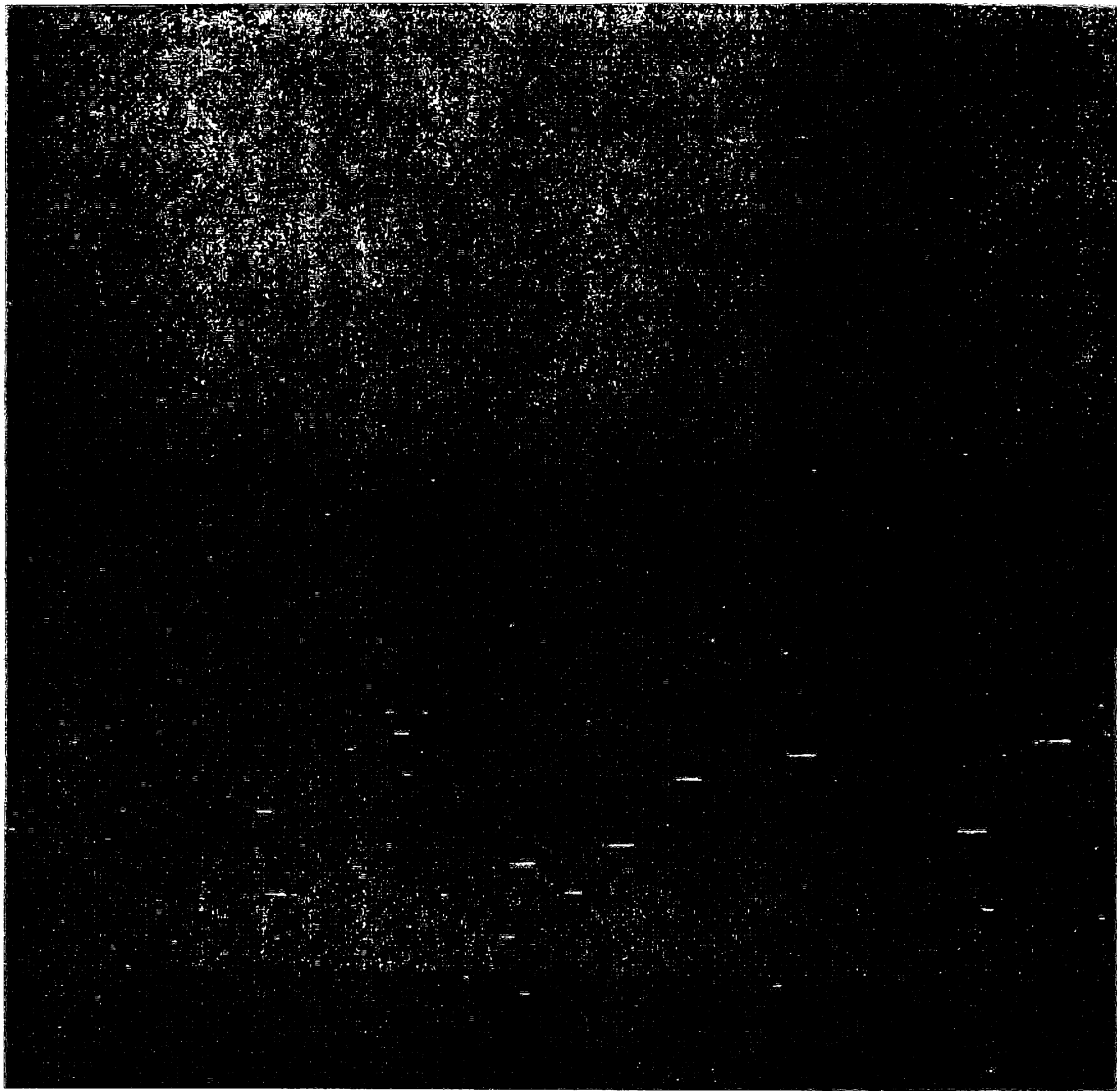
5月3日 動物衛生研究所に検体が到着

5月4日 PCRの結果判明。3検体中全検体で陽性を確認。

4 疫学情報等







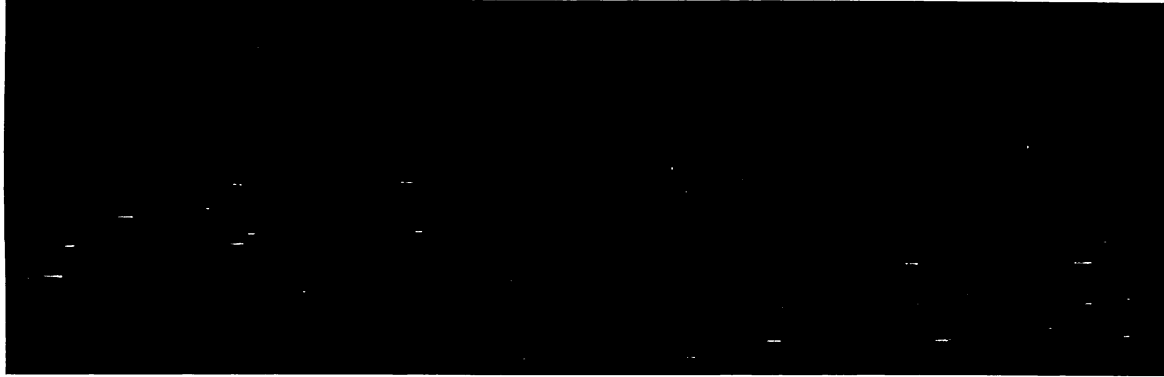
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第19例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県川南町

飼養状況：繁殖母豚 400頭、肥育豚2,000頭、子豚 500頭、種豚 50頭
(3,010頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



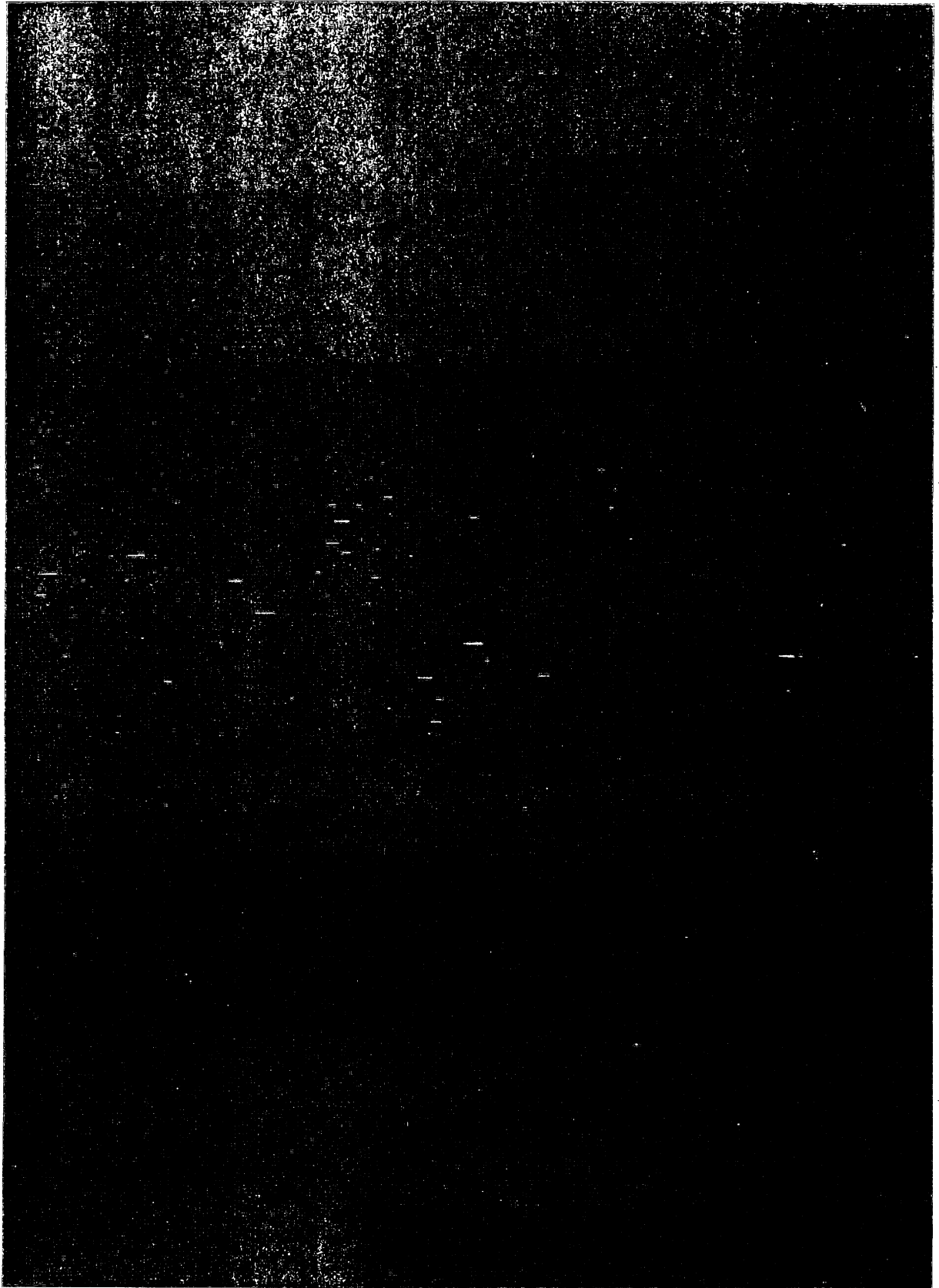
(2) 病性鑑定

5月4日 動物衛生研究所に検体が到着

5月4日 PCRの結果判明。3検体中全検体で陽性を確認。

4 疫学情報等





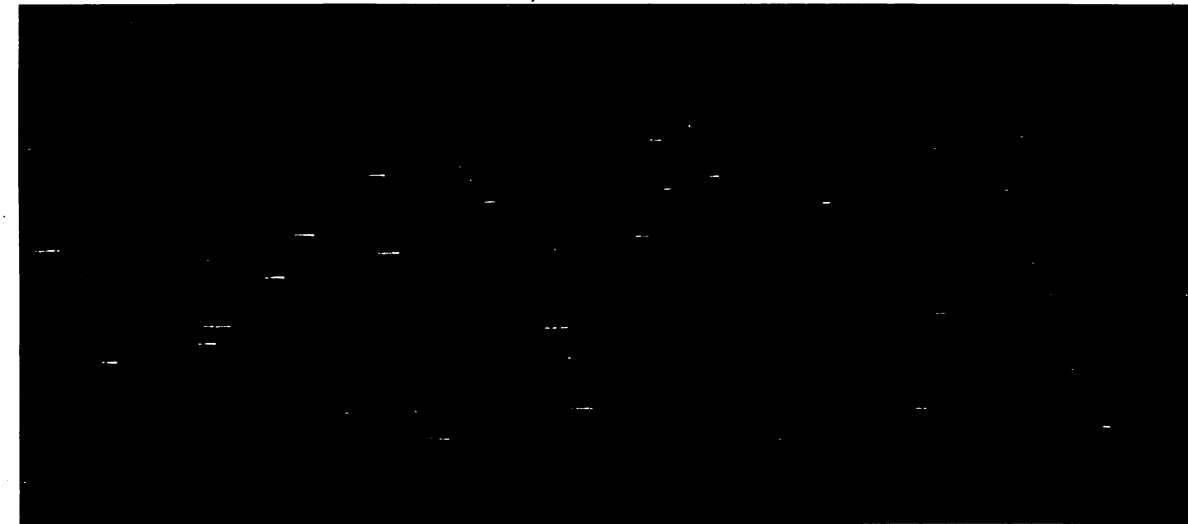
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第20例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県川南町

飼養状況：繁殖母豚 106頭、肥育豚8頭、子豚 576頭、育成豚 57頭、
種豚 33頭
(780頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



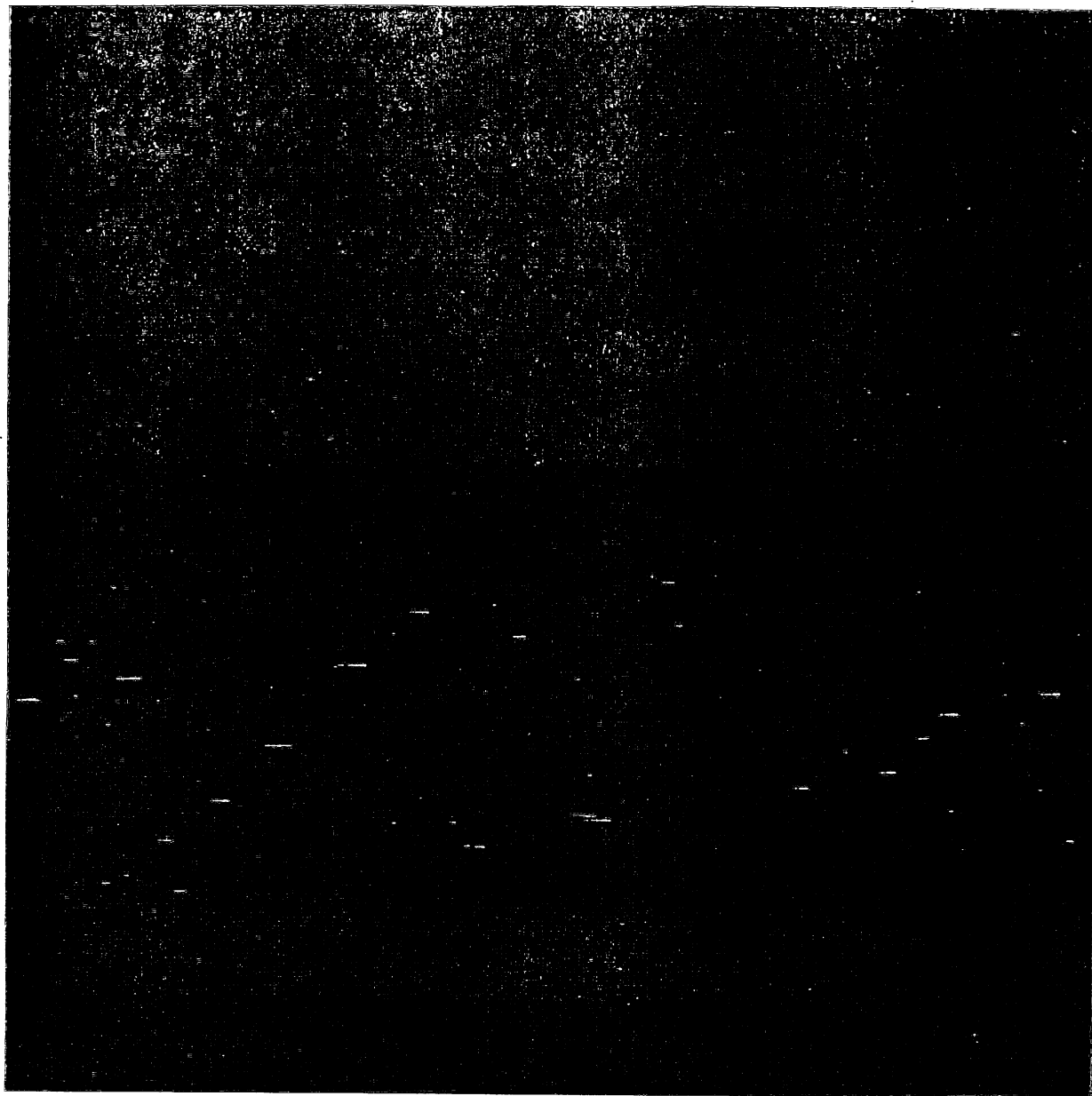
(2) 病性鑑定

5月4日 動物衛生研究所に検体が到着

5月5日 PCRの結果判明。5検体中全検体で陽性を確認。

4 疫学情報等





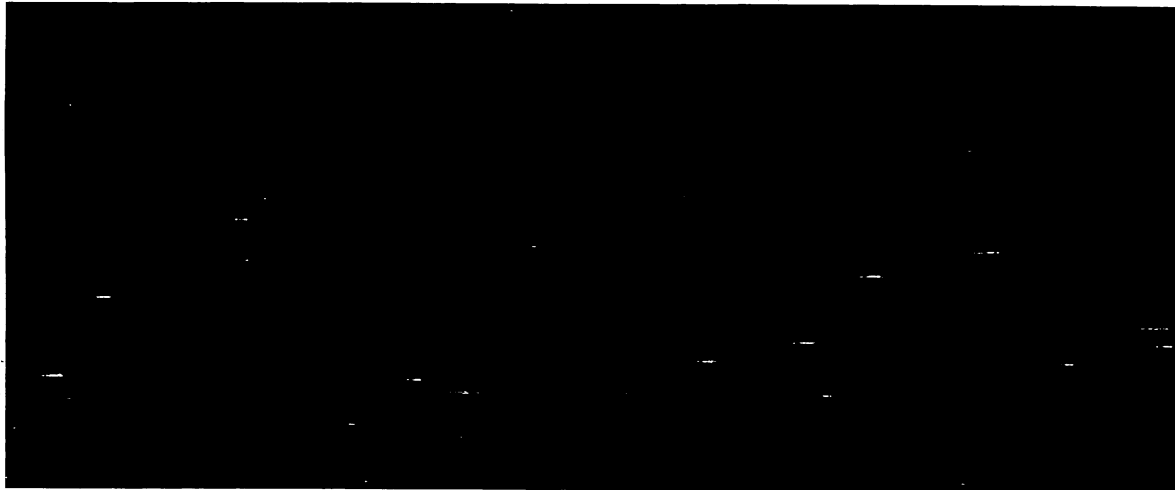
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第21例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県川南町

飼養状況：繁殖母豚 52頭、肥育豚 484頭、子豚 136頭、育成豚 4頭、
種豚 3頭
(679頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



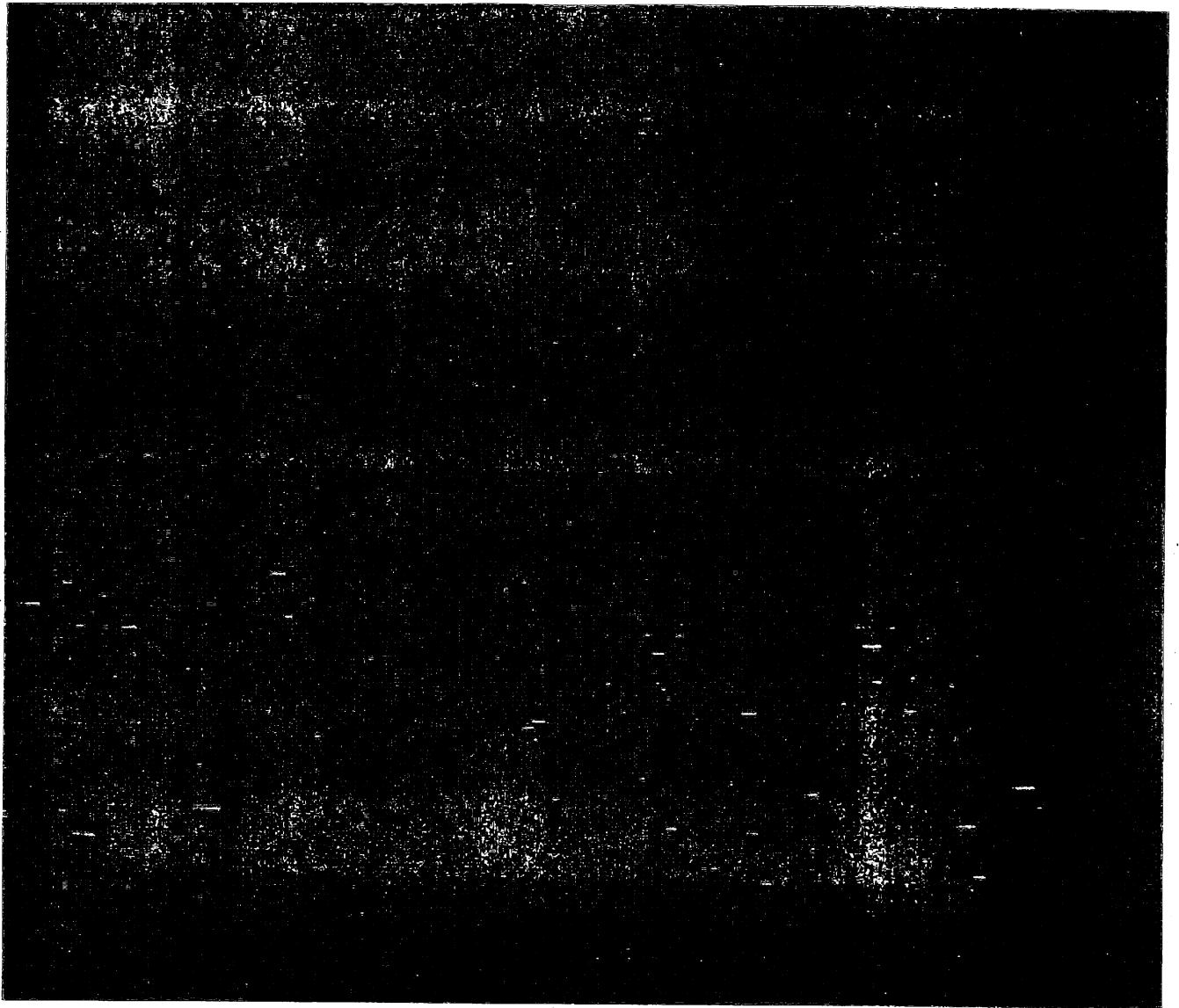
(2) 病性鑑定

5月4日 動物衛生研究所に検体が到着

5月5日 PCRの結果判明。3検体中2検体（①、②）で陽性を確認。

4 疫学情報等

確認中



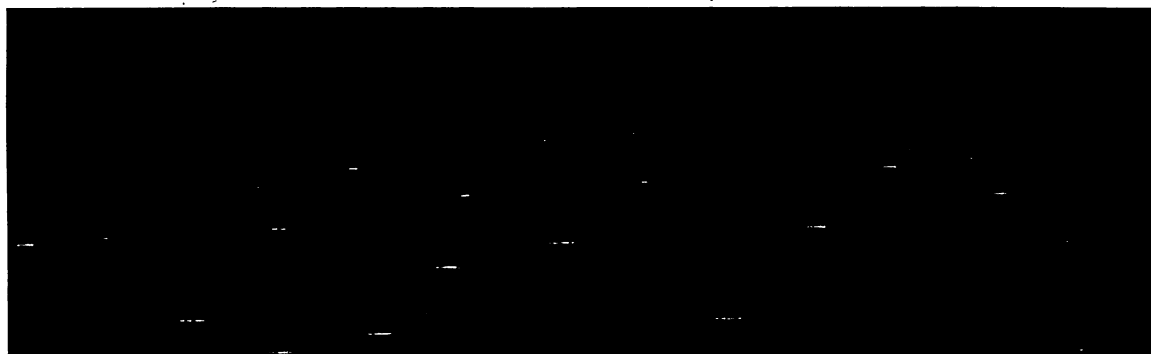
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第22例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県えびの市

飼養状況：繁殖母豚 45頭、肥育豚 2頭、子豚 266頭、育成豚 2頭、
種豚 5頭
(320頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



(2) 病性鑑定

5月4日 動物衛生研究所に検体が到着

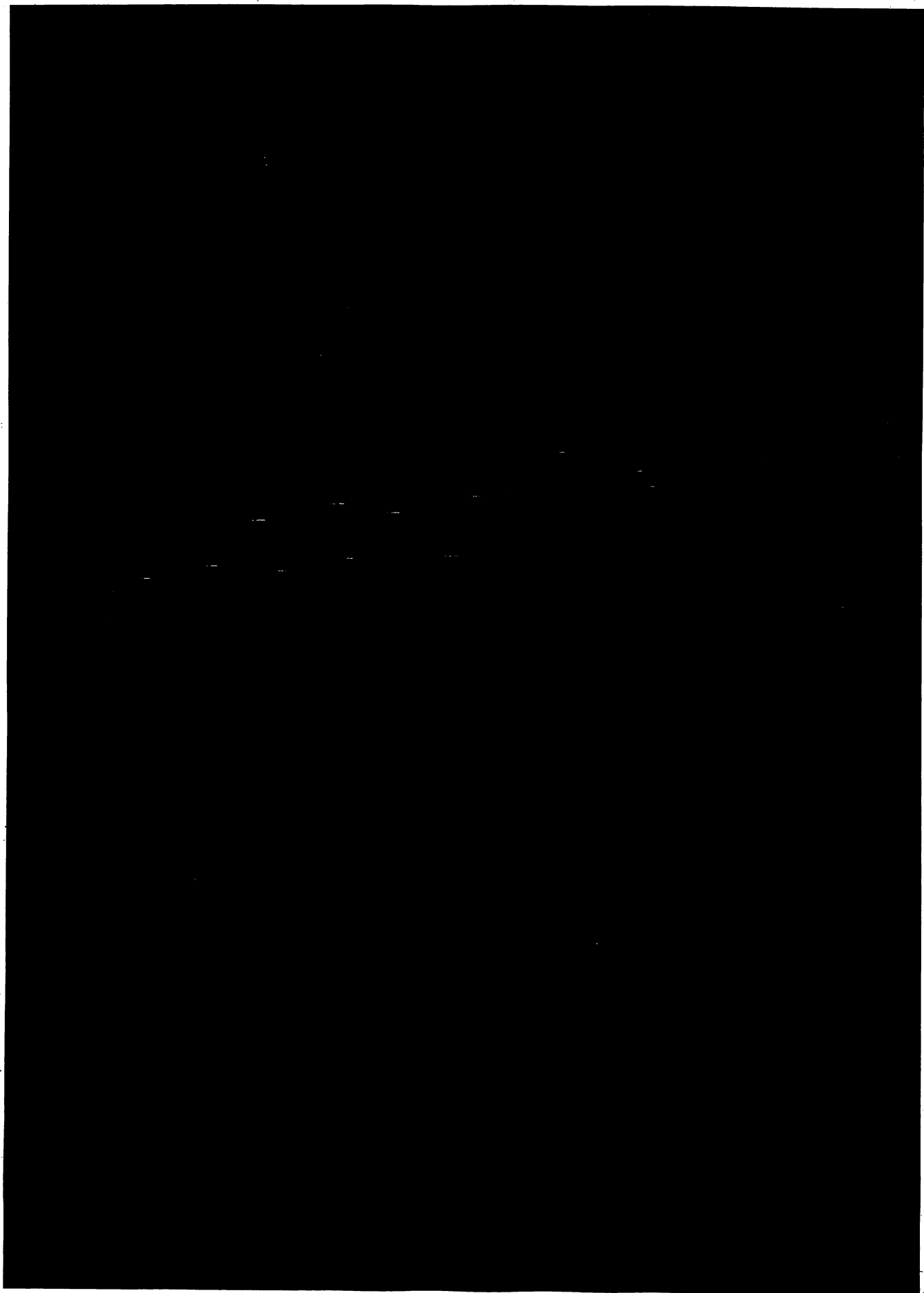
5月5日 PCRの結果判明。3検体中全検体で陽性を確認。

4 疫学情報等



(2) 5月1日により配合飼料入荷

(3) 周辺はカラスが多い



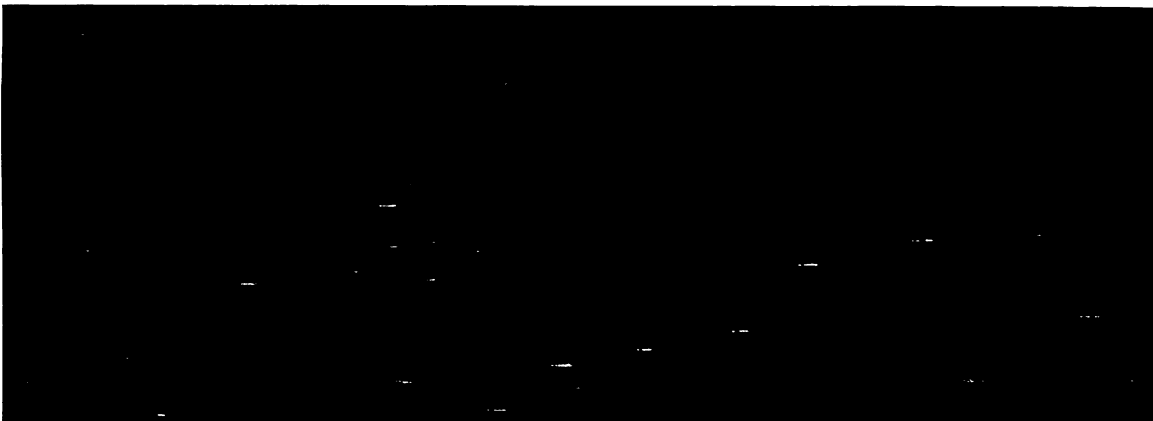
宮崎県における口蹄疫疑似患畜（第23例目）に対する経緯等について

1 農場の概要

場 所：宮崎県川南町

飼養状況：繁殖母豚 333頭、肥育豚 2,146頭、子豚 1,195頭、育成豚 2頭、
種豚 22頭
(4,434頭)

2 経緯



3 検査の状況

(1) 臨床検査



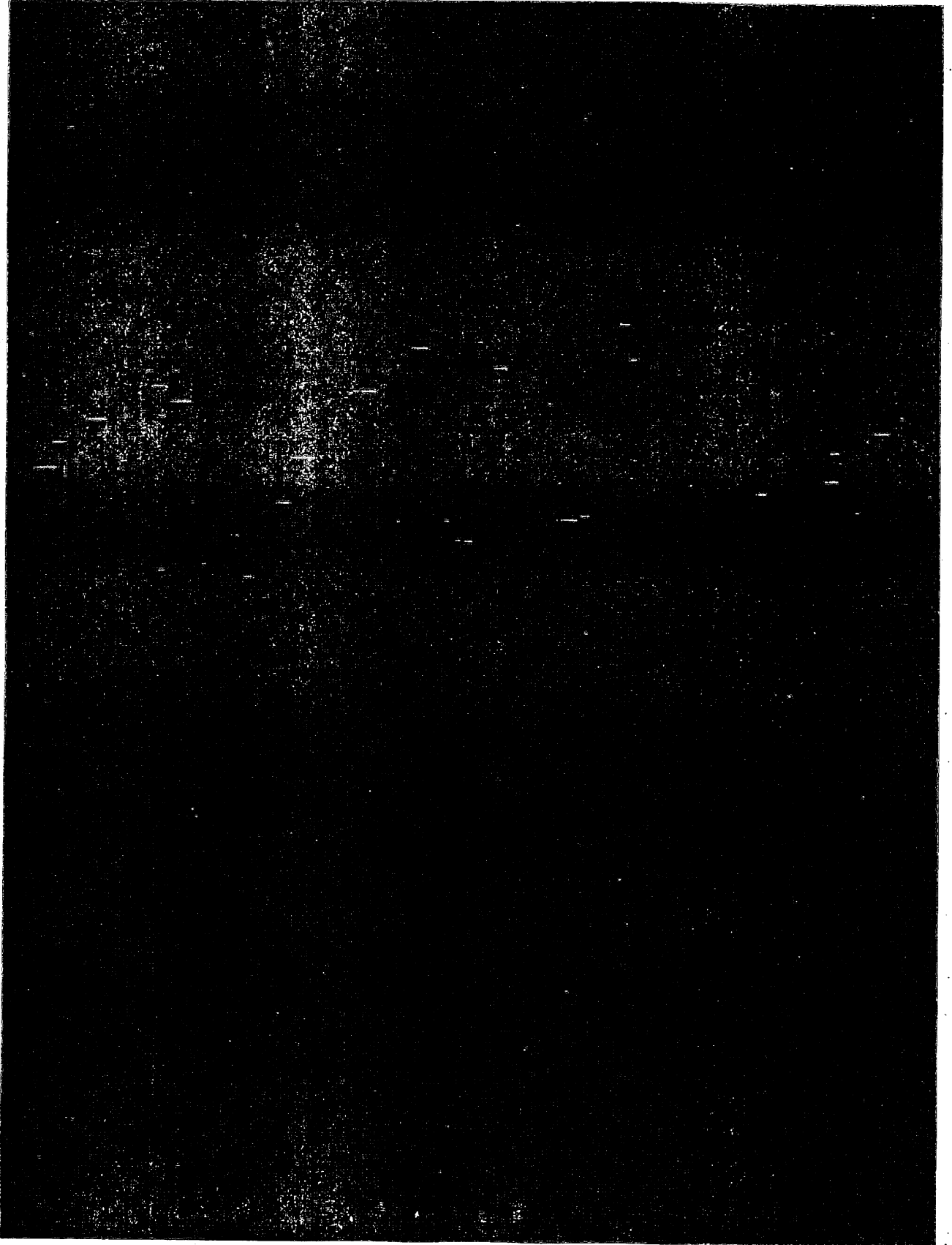
(2) 病性鑑定

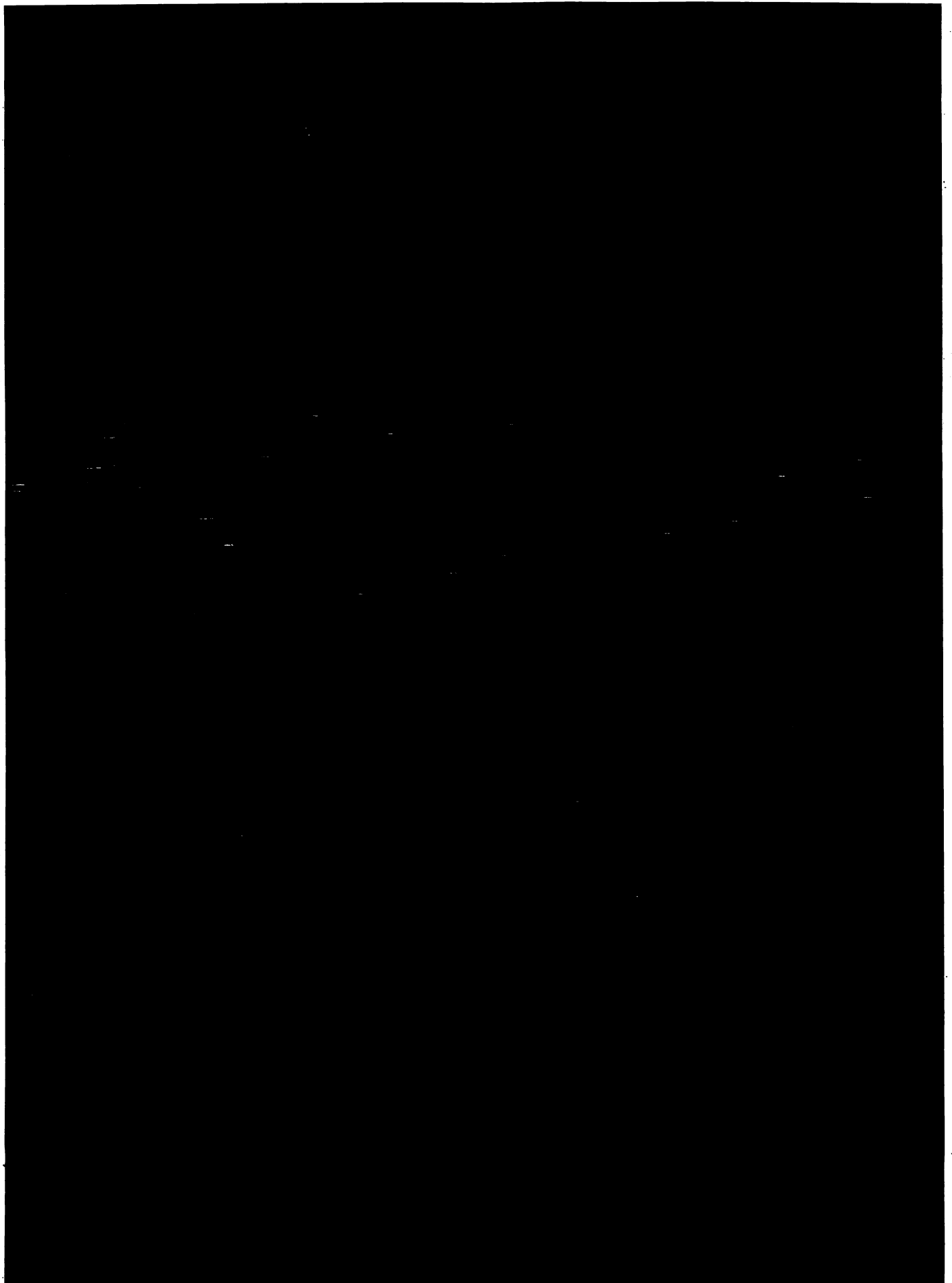
5月4日 動物衛生研究所に検体が到着

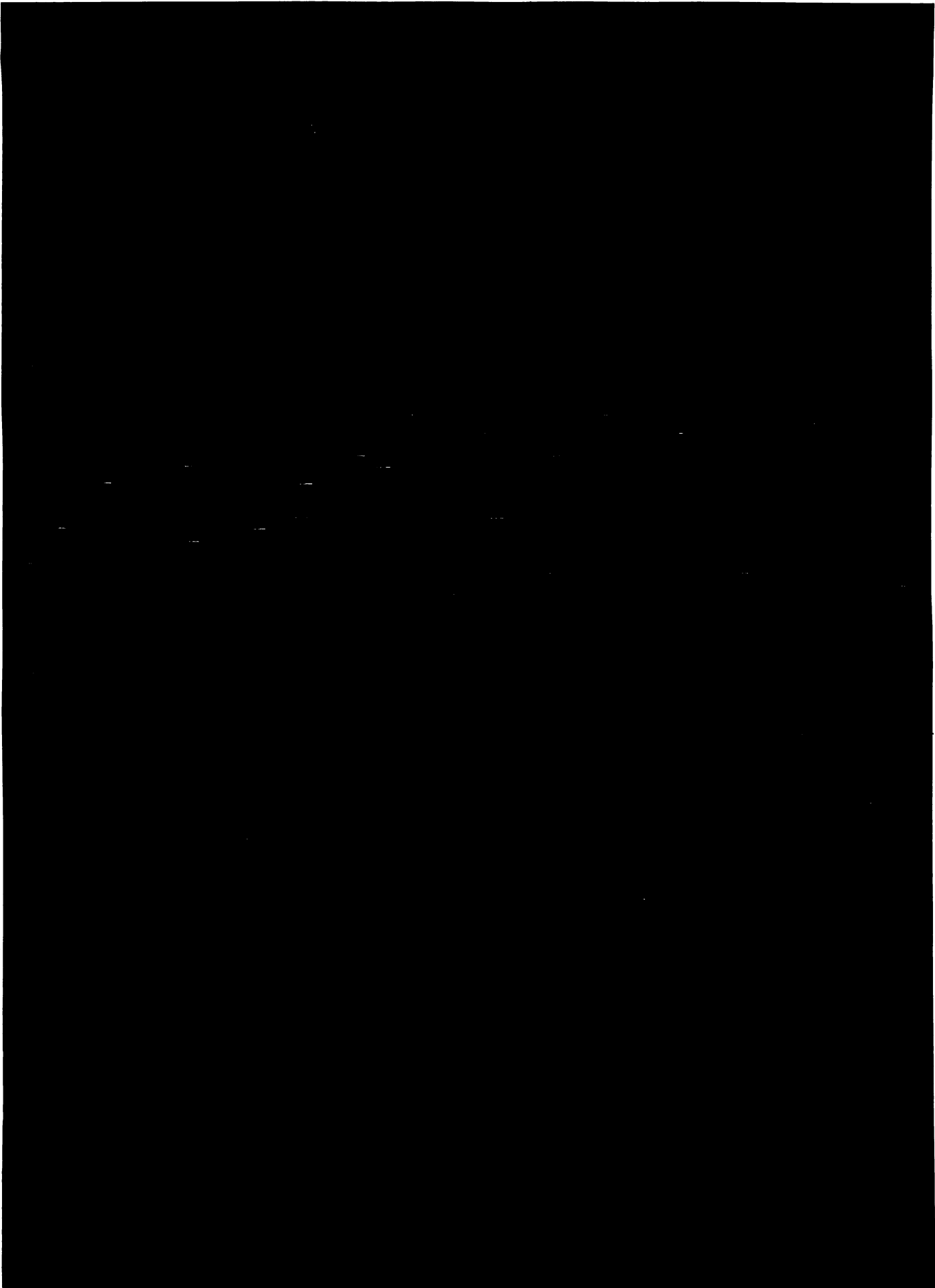
5月5日 PCRの結果判明。3検体中全検体で陽性を確認。

4 疫学情報等

確認中







畜産関係車両消毒ポイント一覧

(■:宮崎県設営ポイント △:県内自主消毒ポイント □:鹿児島県・熊本県ポイント)

H22.5.4現在

飼料車
専用消毒
ポイント

日南海岸国定公園



県内の畜産関係車両消毒ポイント一覧



平成22年5月5日 午後3時現在

	No.	略 称	沿 線	市町村名	所在地等	消毒時間	備 考
宮崎県	1	美々津	国道10号	日向市	日向市美々津町2265	24時間	
	2	持田	国道10号	高鍋町	高鍋町大字持田3419-9(旧東児湯消防署跡地)	24時間	消毒ポイントの変更 開始時間: 5/4 午後10時~
	3	財光寺	国道10号	日向市	日向市財光寺 サンドーム日向付近	24時間	
	4	久 峰	市道	宮崎市	宮崎市佐土原町下那珂伊茂井13686-8(久峰総合公園前)	24時間	消毒ポイントの変更 開始時間: 5/4 午後2時~
	5	大口川	県道312号	西都市	西都市大字右松3388-1	24時間	消毒ポイントの変更 開始時間: 5/4 午後10時~
	6	三 財	県道320号	西都市	西都市大字藤田323	24時間	
	7	田の原	尾鈴サロード	日向市	日向市大字山陰甲668	24時間	
	8	塩 見	尾鈴サロード	日向市	日向市大字塩見11508-1	24時間	
	9	高木①	国道10号	都城市	都城市高木町 (都城高速インター降り口と国道10号高城方面との合流地点)	24時間	
	10	高木②	国道10号	都城市	都城市高木町6333-1 フクスケ跡地 (高木原信号機から都城方面へ約300m先)	24時間	
	11	高 崎	国道221号	都城市	都城市高崎町前田 谷川市道分岐地点	24時間	
	12	原 田	県道53号	えびの市	えびの市大字原田1410 「仲五塚橋付近」	24時間	
	13	末 永	薩島北部広域農道	えびの市	えびの市大字末永1677	24時間	
	14	種子田	国道221号	小林市	小林市北西方種子田192番地6等 「種子田バス停付近」	24時間	
	15	運動公園	県道53号	小林市	小林市南西方横道2085番地 「小林市総合運動公園第1駐車場」	24時間	
	16	南西方	薩島北部広域農道	小林市	小林市南西方1112	24時間	
	17	東方野宮 えびの	三の宮農免 農道 国道268号	小林市	小林市東方野宮4938番地5 えびの市大字大明司1061-1 「JAえびの市畜産センター」	24時間	消毒ポイントの変更 開始時間: 5/4 午後5時~ 県指定として24時間運営
	18	野 尻	国道268号	小林市	小林市野尻町東麓5157-20	24時間	
	19	名 貴	国道10号	都農町	都農町大字川北1432-1「名貴飼料中継ポイント」	8~17	移動制限区域内における 飼料運搬車両専用消毒ポイント
熊本県	1	日之影	国道218号	日之影町	日之影町大字七折2511-1	5~17	自主消毒ポイント
	2	佐土原	国道219号	宮崎市	佐土原地域福祉センター	5~20	自主消毒ポイント
	3	国 富	県道24号	国富町	国富町一般廃棄物埋立処分場	8~17 6~17	自主消毒ポイント
	4	四家上り	国道10号	都城市	都城市高城町四家(上り線(都城→宮崎))	5~20	自主消毒ポイント
	5	えびの 東方野宮	国道268号 三の宮農免 農道	小林市	JAえびの市畜産センター 小林市東方野宮4938番地5	24時間	指定消毒ポイントから自主消毒 ポイントへ移行(5/4から移行)
	6	四家下り	国道10号	都城市	都城市高城町四家(下り線(宮崎→都城))	24時間	自主消毒ポイント
	7	山之口	国道269号	都城市	道の駅「山之口」付近	5~20	自主消毒ポイント
	8	田 野	県道28号	宮崎市	道の駅「田野」を過ぎた大戸野峠付近	24時間	自主消毒ポイント
	9	北 郷	県道33号	日南市	北郷町大字北河内三ヶ岩	24時間	自主消毒ポイント
	10	日 南	国道222号	日南市	日南市通谷甲4240-73	24時間	自主消毒ポイント
	11	串 間	国道220号	串間市	串間市高松高松隧道串間側	24時間	自主消毒ポイント
	12	熊 本	国道218号	山都町	熊本県上益城郡山都町長崎萩野172	5~17	自主消毒ポイント
	13	風 田	国道220号	日南市	日南市大字宮浦「小吹毛井第2パーキング」	24時間	自主消毒ポイント
	14	塩 水	国道269号	宮崎市	宮崎市田野町塩水	5~20	自主消毒ポイント
	15	土々呂	国道10号	延岡市	延岡市土々呂町5丁目1646-1 昭和西濃運輸(株)敷地跡	6~18	自主消毒ポイント
	16	高 原	国道223号	高原町	高原町後原(広域農道との合流地点)	5~20	自主消毒ポイント
	17	吉之元	国道223号	都城市	都城市吉之元町 (旧ケルネスグリーンヒル入り口より約400m都城側)	5~20	自主消毒ポイント
	18	高 森	国道325号	高森町	熊本県阿蘇郡高森町大字永野原1805番地	5~17	自主消毒ポイント
	19	木 城	尾鈴サロード	木城町	木城町大字高城2544-3	5~17	指定消毒ポイントから自主消毒 ポイントへ移行(5/5から移行)
	20	新 富	国道10号	新富町	新富町大字三納代1463-1	6~18	指定消毒ポイントから自主消毒 ポイントへ移行(5/4から移行)
	21	堤	国道221号	小林市	小林市大字堤柏木ノ上2000-1	6~20	自主消毒ポイント
	22	溝 津	県道405号	小林市	小林市大字細野4631	6~20	自主消毒ポイント
鹿児島県	1	県 境	国道268号	湧水町	湧水町鶴丸	24時間	
	2	舟渡橋	国道268号	湧水町	湧水町北方	24時間	
	3	荒平橋	国道268号	伊佐市	伊佐市大口山野	24時間	
	4	堆肥センター	国道447号	伊佐市	伊佐市大口白木	24時間	
	5	針持丸目	国道267号	伊佐市	伊佐市大口針持	24時間	
	6	二牟礼	県道55号	霧島市	霧島市横川町下ノ	24時間	
	7	霧島神宮	国道223号	霧島市	霧島市霧島田口	24時間	
熊本県	8	大畑町	国道221号	人吉市	人吉市大畑町	24時間	
	9	大野公民館	市道11号	人吉市	人吉市大畑麓町大野公民館前	7~19	
	10	球磨村	国道219号	人吉市	JAくま人吉支所球磨村店	7~19	
	11	鬼木町	球磨広域農道	人吉市	人吉市鬼木町 桐山工業団地	7~19	
	12	錦 町	国道219号	錦町	錦町一武 球磨畜産農協前	7~19	

可能な限り消毒時間内の通行をお願いします

疫学調査于一ム 現地調査風景



写真1 消毒ポイントにおける車両消毒風景



写真3 農場へ至る道路(狭隘なため、大型運搬車の出入りは困難)

車両消毒確認書

車両No	95-01	運転者	旅浪
場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6
時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11
確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般
場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6
時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11
確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般
場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6	場所: 1-2-3-4-5-6
時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11	時間: 11:11
確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般	確認: 例外: 一般

記入者: 旅浪

場所: 〇〇〇〇〇〇

時間: 〇〇:〇〇

確認: 〇〇〇〇〇〇

写真2 車両消毒確認書

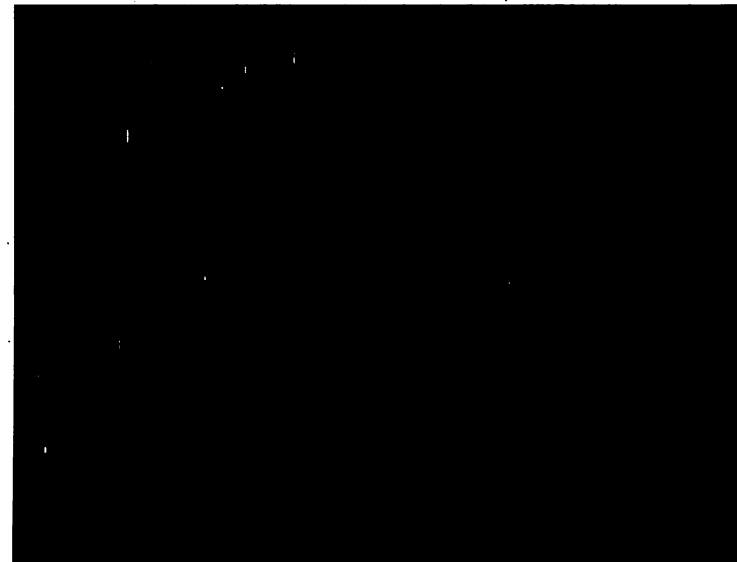


写真4 第1例目発生農場(山間部の頂上近くに位置)

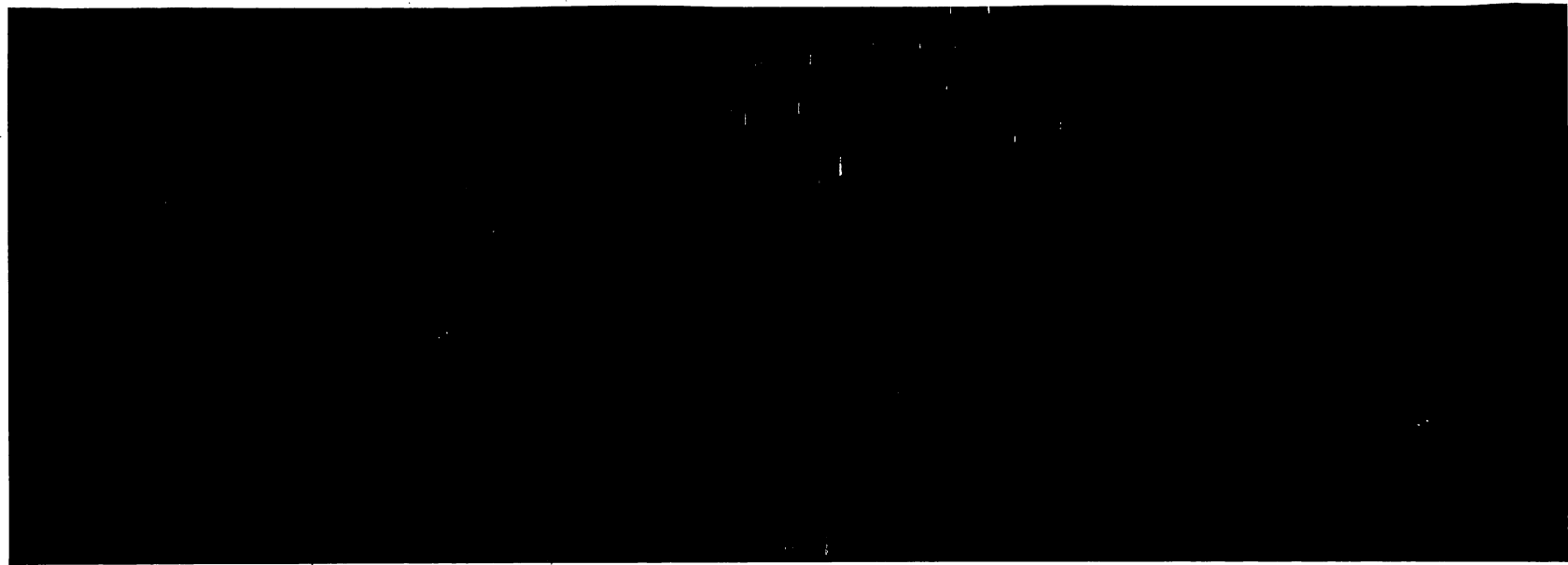


写真5 成牛舎①(患畜は成牛舎のみで発生)

写真6 成牛舎②

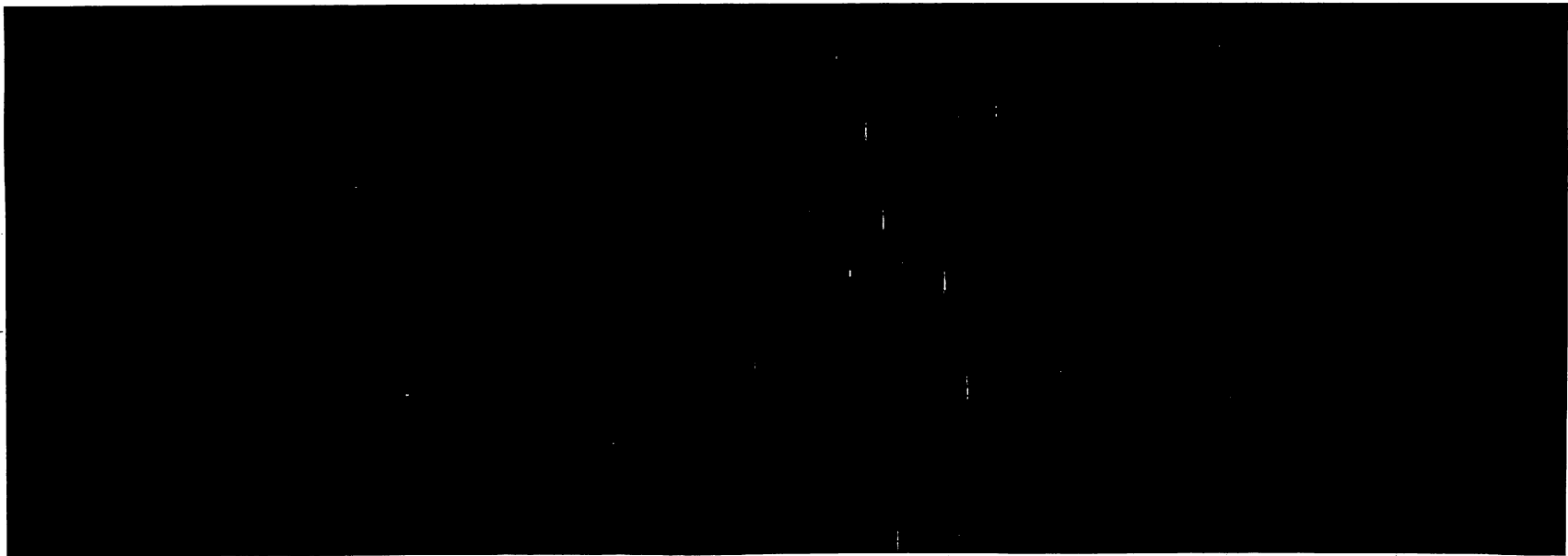


写真7 成牛舎③(患畜発生単房)

写真8 育成牛舎①

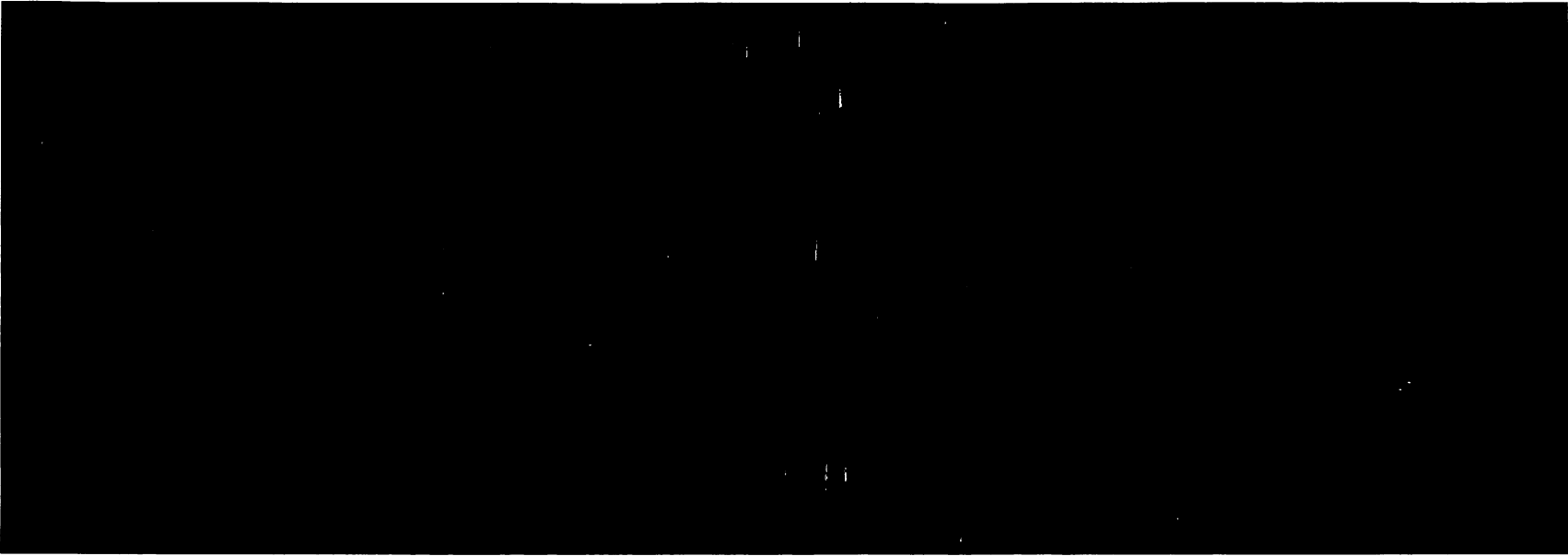


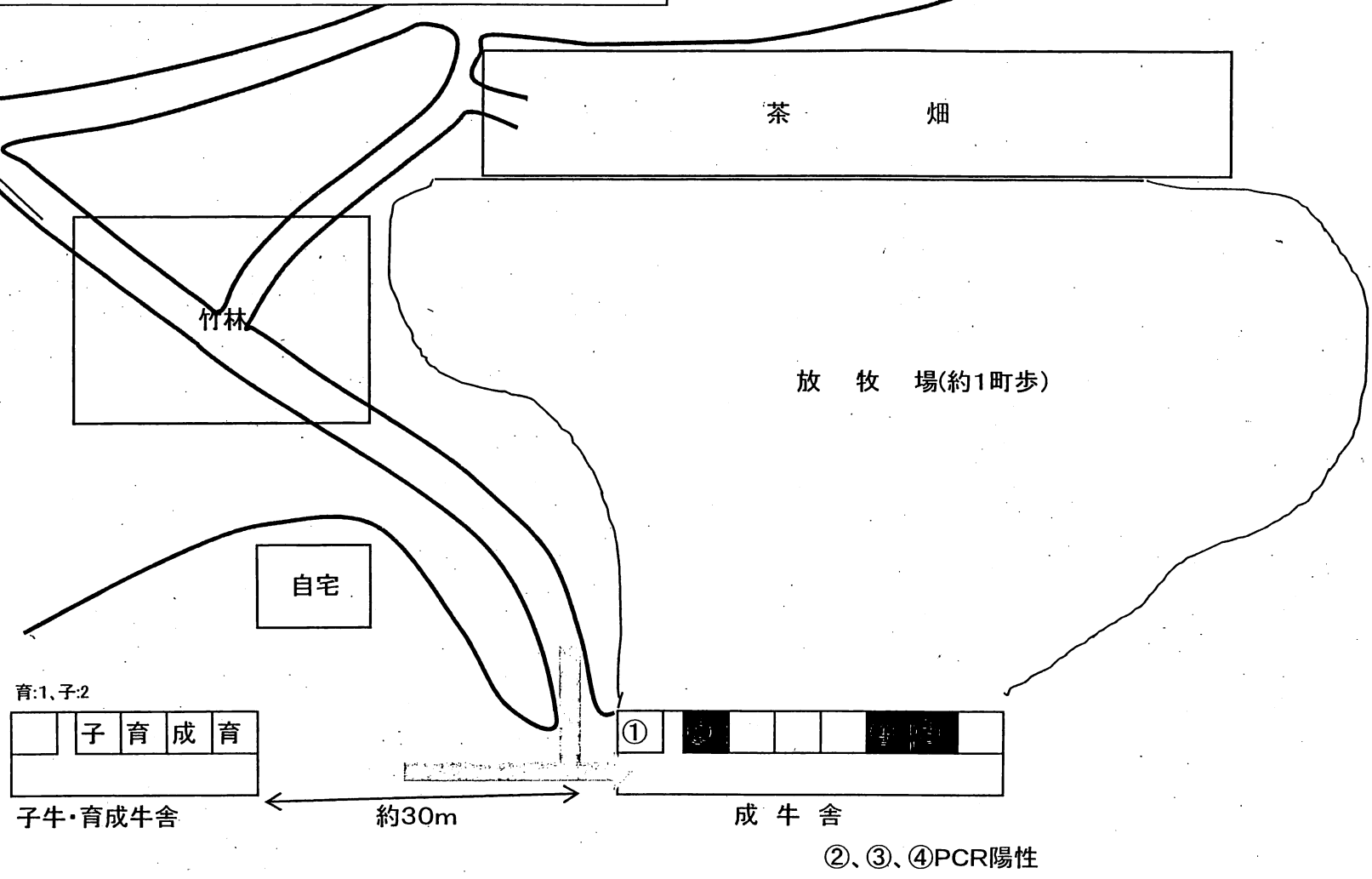
写真9 育成牛舎②

写真10 育成牛舎③

写真11 放牧場(成牛舎の裏手)

写真12 埋却地(自己所有地)

1例目(都農町:肉用繁殖経営) 牛舎見取り図



取扱い注意

2010.4.30

口蹄疫ウイルス日本分離株（2010）の性状等について

動物衛生研究所 海外病研究施設

動物衛生研究所で決定した VP1 遺伝子領域の塩基配列を国内で解析を進めるとともに、英国口蹄疫リファレンスラボラトリーに送り、その遺伝子を解析した。



2. 血清型 O タイプ

3. トポタイプ SEA トポタイプ（東南アジアトポタイプ）

4. 遺伝子型（Genotype/strain） Mya-98

（注）2000 年の国内での口蹄疫の発生において、分離された口蹄疫ウイルスの性状は、O タイプ、ME-SA トポタイプ、遺伝子型 PanAsia であった。

5. 近縁ウイルス

2010 年に香港で分離されている O タイプウイルスに近縁

この中に現在、中国、韓国で分離されたウイルスが含まれることが他の資料から推測されている。



FAO World Reference Laboratory for Foot-and-Mouth Disease (WRLFMD)

Genotyping Report

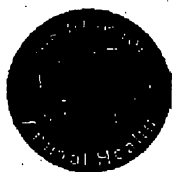
Date: 5 May 2010

FMDV type O

Country: Japan

Period: 2010

No. of isolates: 1



The contents of this report are copyright and should not be reproduced without permission

© Institute for Animal Health

FAO World Reference Laboratory for FMD Genotyping Report

IAH-P-EP-MEG-FOR-005-3

Page 1 of 1

Serotype: O	Report date: 05/05/2010
WRLFMD Ref No: JPN/2010	Reported by: N.J. Knowles
Batch No: n/a	Checked by: D.P. King
Sender Ref: O/JP/1/2010	
Location: not known, Japan	Topotype: SEA
Date collected: not known	Genotype/strain: Mya-98
Date received by WRLFMD: 27/04/2010	Sequence filename: JPN10-AA.SEQ
Date received for sequencing: n/a	Date sequence last updated: 28/04/2010
Species: not known	No. of Nt determined: 639
Material used: not known	No. of ambiguities: 0
Region sequenced: VP1	Gene length: 639
RT-PCR primers: not known	Total no. of comparisons: 2359
	Min. no. of nt for comparison: 300
	Total turn-around time: 8 days
	Sequencing time: n/a
Comments:	

Most Closely Related Viruses									
Pos.	Virus name	Filename	No. nt comp.	No. nt match.	No. of ambig.	% Id.	% Diff.	Topotype	Strain
1	O/HKN/13/2010	HKN10-13	639	634	0	99.22	0.78	SEA	Mya-98
2	O/HKN/14/2010	HKN10-14	639	634	0	99.22	0.78	SEA	Mya-98
3	O/HKN/15/2010	HKN10-15	639	634	0	99.22	0.78	SEA	Mya-98
4	O/HKN/7/2010	HKN10-07	639	634	0	99.22	0.78	SEA	Mya-98
5	O/HKN/8/2010	HKN10-08	639	634	0	99.22	0.78	SEA	Mya-98
6	O/HKN/10/2010	HKN10-10	639	633	0	99.06	0.94	SEA	Mya-98
7	O/HKN/11/2010	HKN10-11	639	633	0	99.06	0.94	SEA	Mya-98
8	O/HKN/12/2010	HKN10-12	639	633	0	99.06	0.94	SEA	Mya-98
9	O/HKN/9/2010	HKN10-09	639	633	0	99.06	0.94	SEA	Mya-98
10	O/Ganghwa/SKR/2010	SKR10-AB	639	630	0	98.59	1.41	SEA	Mya-98
Most Closely Related Reference Viruses									
(see http://www.wrlfmd.org/find_genotyping/prototypes.htm)									
Pos.	Virus name	Filename	No. nt comp.	No. nt match.	No. of ambig.	% Id.	% Diff.	Topotype	Strain
1	O/MYA/7/98 (DQ164925)	MYA98-07	639	594	0	92.96	7.04	SEA	Mya-98
2	O/TAI/189/87* (TRRL)	TAI87-AC	639	570	0	89.20	10.80	SEA	unnamed
3	O/CAM/3/98 (AJ294910)	CAM98-03	639	542	0	84.82	15.18	SEA	Cam-94
4	O/IND/R2/75* (AF204276)	IND75-A	639	542	0	84.82	15.18	ME-SA	unnamed
5	O/IRN/8/2005	IRN05-08	639	542	0	84.82	15.18	ME-SA	PanAsia-2
6	O/ETH/3/2004 (FJ798109)	ETH04-03	639	539	0	84.35	15.65	EA-3	unnamed
7	O/UKG/35/2001 (AJ539141)	UKG01-35	639	538	0	84.19	15.81	ME-SA	PanAsia
8	O/ETH/1/2007 (FJ798137)	ETH07-01	639	535	0	83.72	16.28	EA-3	unnamed
9	O/KUW/3/97 (DQ164904)	KUW97-03	639	533	0	83.41	16.59	ME-SA	Ind-2001a
10	O/IND/53/79 (AF292107)	IND79A53	639	532	0	83.28	16.74	ME-SA	unnamed

nt, nucleotides

*, not a WRLFMD reference number

Assembled with Report Generator v3.1

© Institute for Animal Health

VP1 sequence received from the National Institute for Animal Health, Tokyo, Japan, on 27/04/2010

* , not a WRLFMD Ref. No.

© Institute for Animal Health



平成22年5月6日

今後の防疫対応について（案）

- 1 4月29日以降、牛飼養農場4戸、豚飼養農場9農場の合計13農場で感染が確認された結果、殺処分の対象となる家畜の頭数は、牛約3千頭、豚約3万頭に上っている。
- 2 発生農場における防疫措置としては、各都道府県や自衛隊の協力を得ながら、感染動物の殺処分や死体等の埋却等を進めており、現在までに、1～17例目まで及び22例目の殺処分を完了している。
- 3 これまでのところ、発生農場は半径10kmの移動制限区域（2か所）の概ね3km以内に収まっており、空気伝播等による広範囲なウイルスの拡散は認められていないものの、潜伏期間や発症の経緯から、移動制限開始後に人や車両等を介して感染した農場があることも否定できない。
- 4 このため、感染地域内における衛生対策をさらに強化することとし、
 - ・ 移動制限区域内の農場に対し、農場の厳格な消毒の実施及び養豚管理獣医師により衛生対策指導、
 - ・ 消毒ポイントの増設や、車両による幹線道路の洗浄消毒を実施する。
- 5 このことにより感染拡大の防止を図りつつ、引き続き感染農場の早期発見、迅速な殺処分・埋却等による防疫措置を厳格に実施する。この際、現行の防疫措置をより効果的かつ効率的に実施するため、殺処分を行う技術を有した獣医師等を増員し現場に投入する必要がある。
- 6 ただし、疫学的関連が不明な遠隔地での続発等が認められた場合は、搬出制限地域の拡大（～50km）等の新たな防疫措置の適用を検討することとする。

嚴秘

1例目～12例目までの農場に関する疫学関連情報の比較

	子牛等の出荷	獣医師 人工受精師等	飼料・敷料 (運搬車両含む)	ふん尿の処理方法 (搬出の有無、搬出先等運搬車両含む)
1例目 (都農町■■■■) 繁殖経営				
2例目 (川南町■■■■) 乳肉複合経営			・飼料輸送車両(7例目と同一)	
3例目 (川南町■■■■) 肥育経営				
4例目 (川南町■■■■) 繁殖経営				

疫学関連農場調査票(取りまとめ版)

10/5/2 23時59分

1

参考1

厳秘

1例目～12例目までの農場に関する疫学関連情報の比較

	子牛等の出荷	獣医師 人工受精師等	飼料・敷料 (運搬車両含む)	ふん尿の処理方法 (搬出の有無、搬出先等運搬車両含む)
5例目 (川南町■■■■) 繁殖経営				
6例目 (都農町■■■■) 水牛・豚				
7例目 (川南町■■■■) 肥育経営				
8例目 (川南町■■■■) 肥育経営				
9例目 (えびの市■■■■) 肥育経営				
	・飼料の運送車両が2例目と同一 ・4月13日、9例目農場と同一の家畜運搬車で出荷			

厳秘

1例目～12例目までの農場に関する疫学関連情報の比較

	子牛等の出荷	獣医師 人工受精師等	飼料・敷料 (運搬車両含む)	ふん尿の処理方法 (搬出の有無、搬出先等運搬車両含む)
10例目 (川南町: 畜産試験場) 豚				
11例目 (川南町■■■■) 酪農経営				
12例目 (川南町■■■■) 養豚経営				

79

厳秘

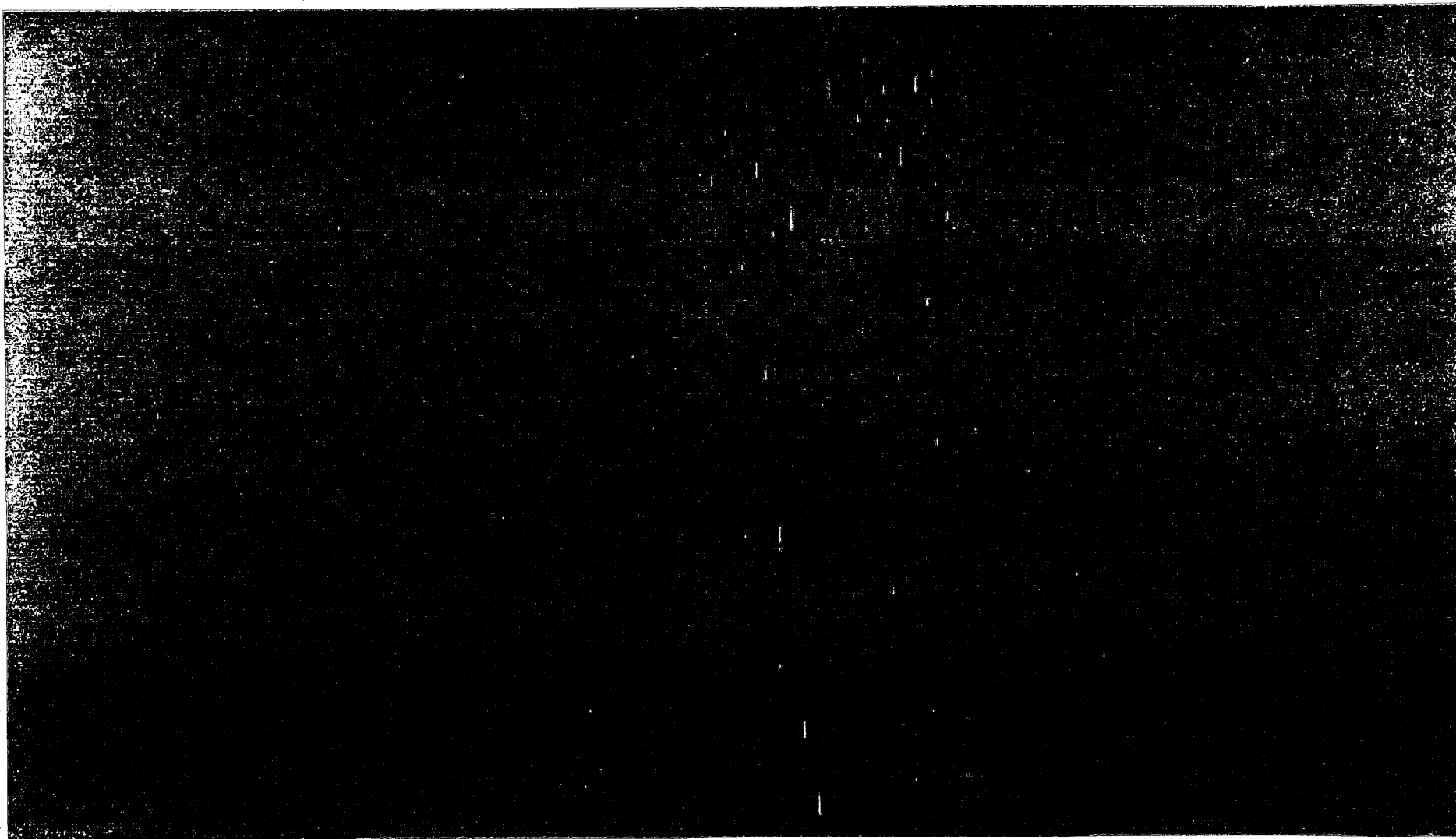
平成22年5月5日 時点

口蹄疫の疫学関連図

(宮崎県:1～21例目)

厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(1例目)
(都農町 [REDACTED] 牛繁殖経営)



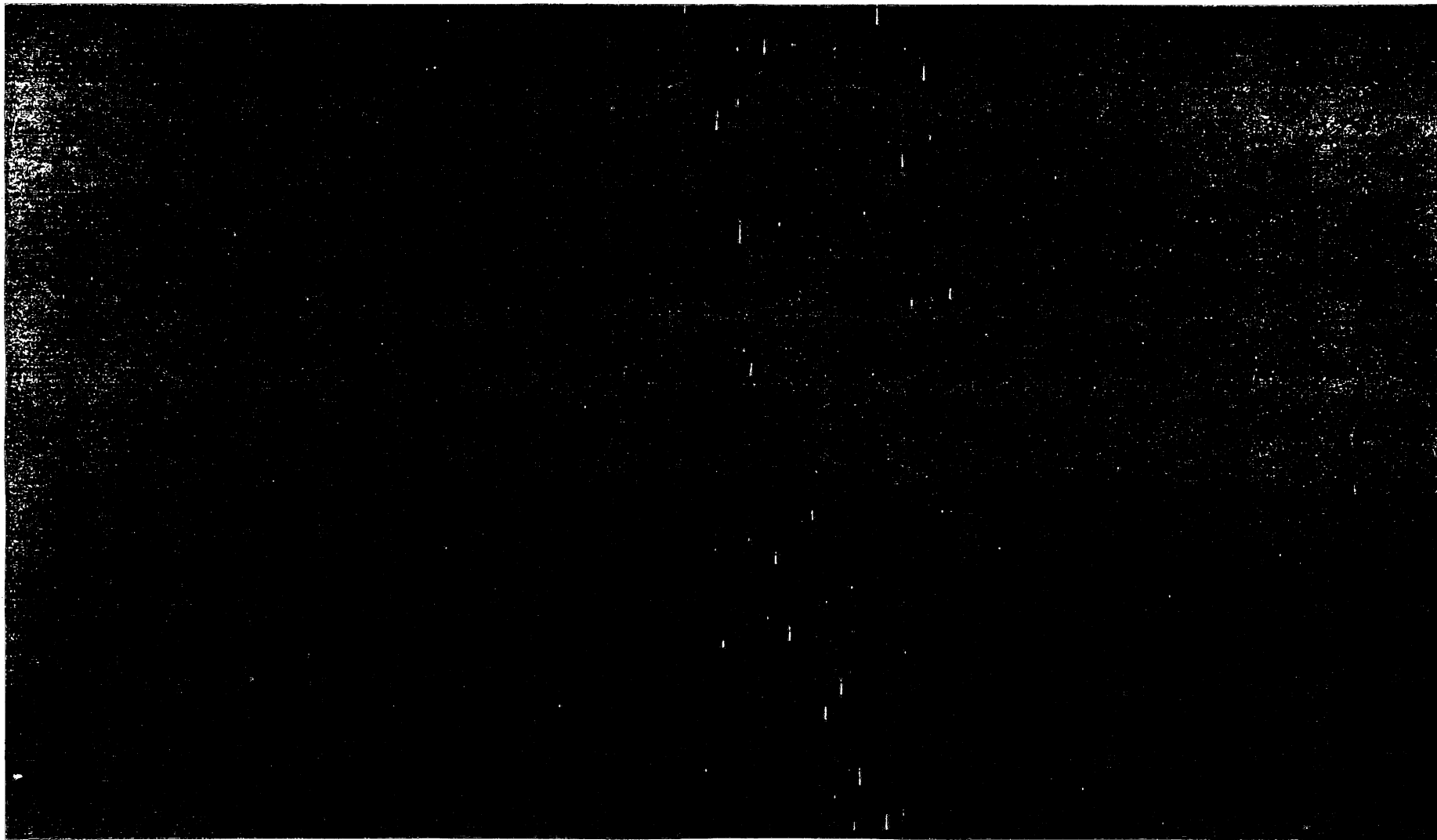
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(2例目)
(川南町 [REDACTED] 乳肉複合経営)



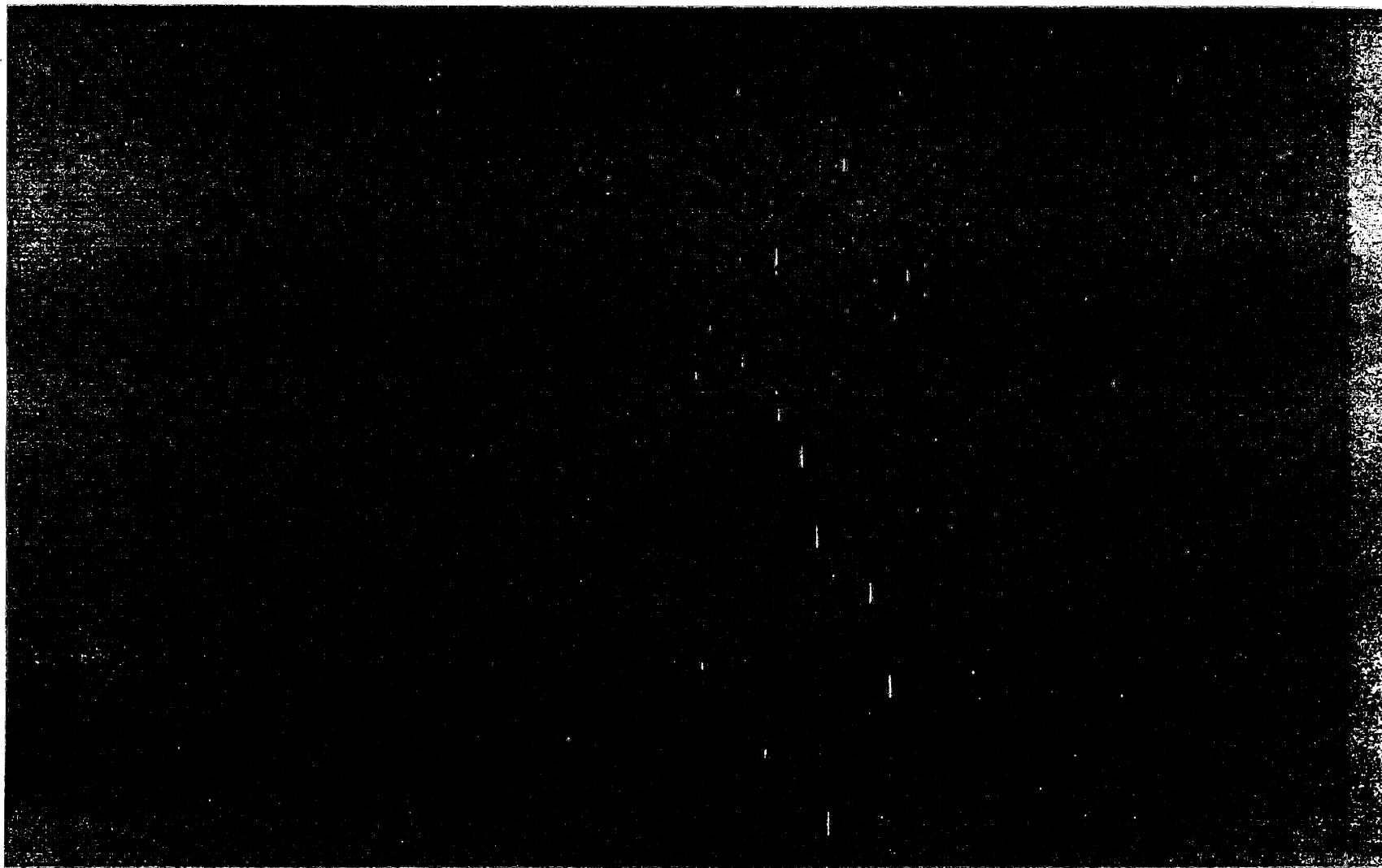
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(3例目)
(川南町 [REDACTED] 牛肥育経営)



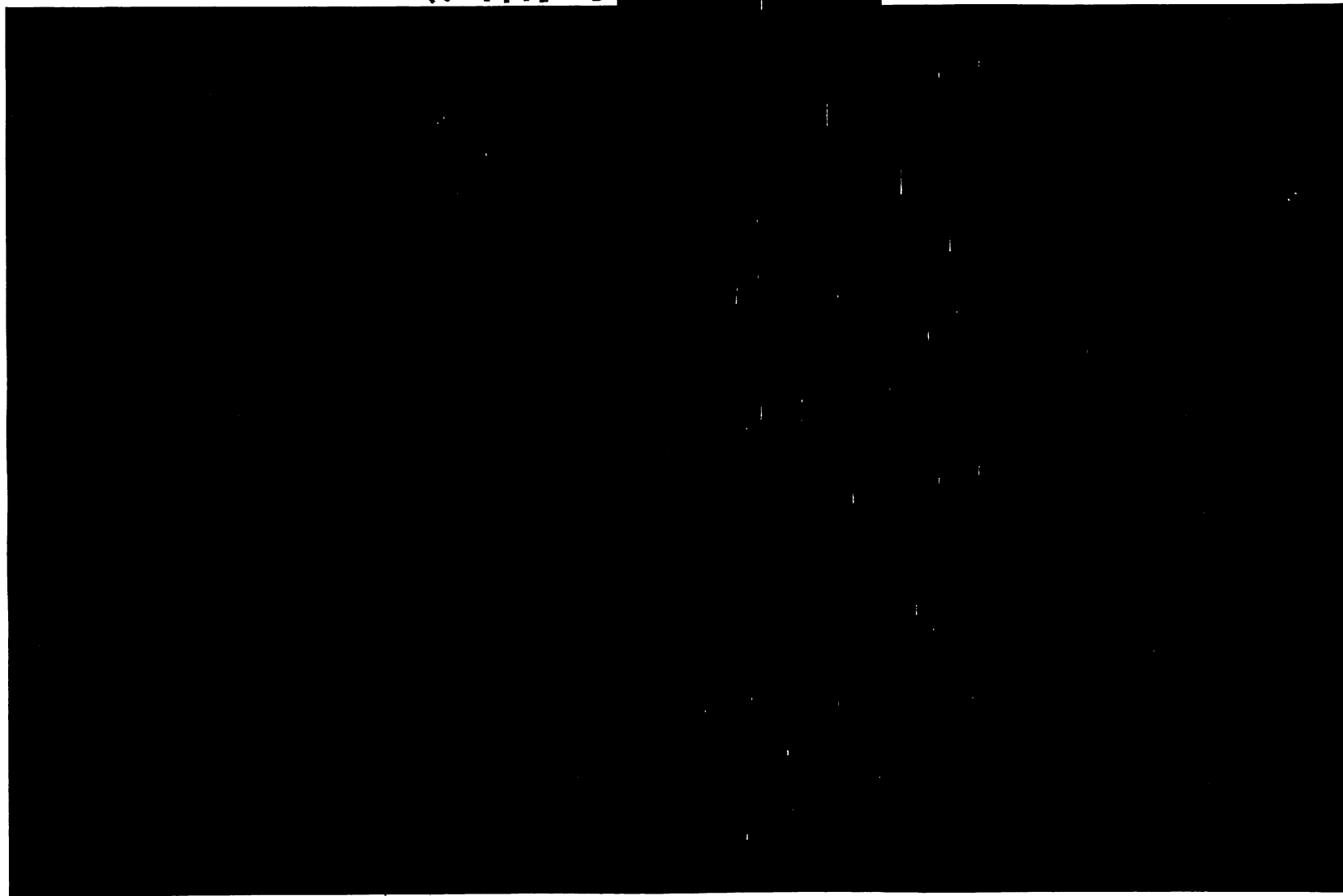
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(4例目) (川南町[REDACTED] 牛繁殖経営)



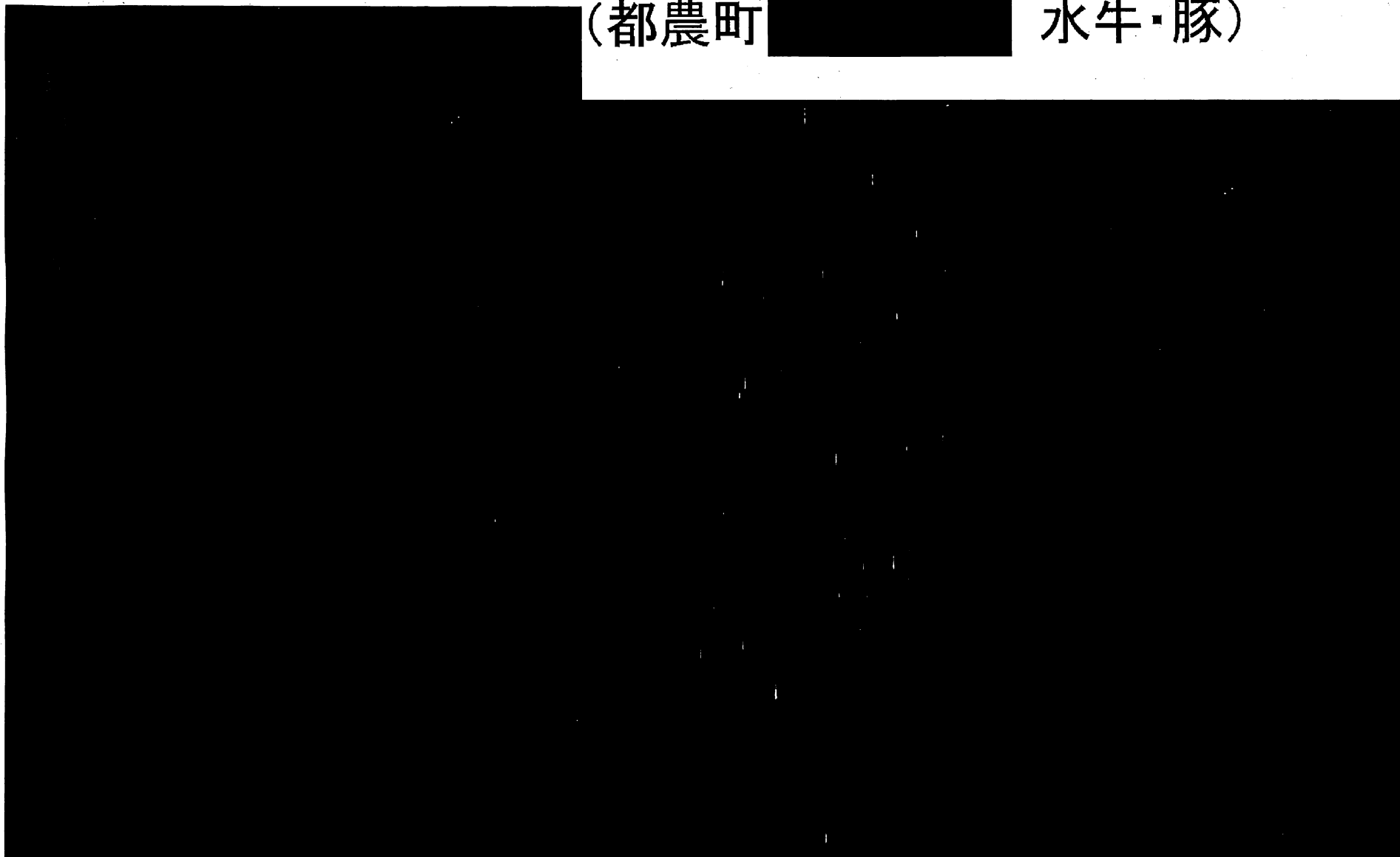
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(5例目)
(川南町 [REDACTED] 牛繁殖経営)



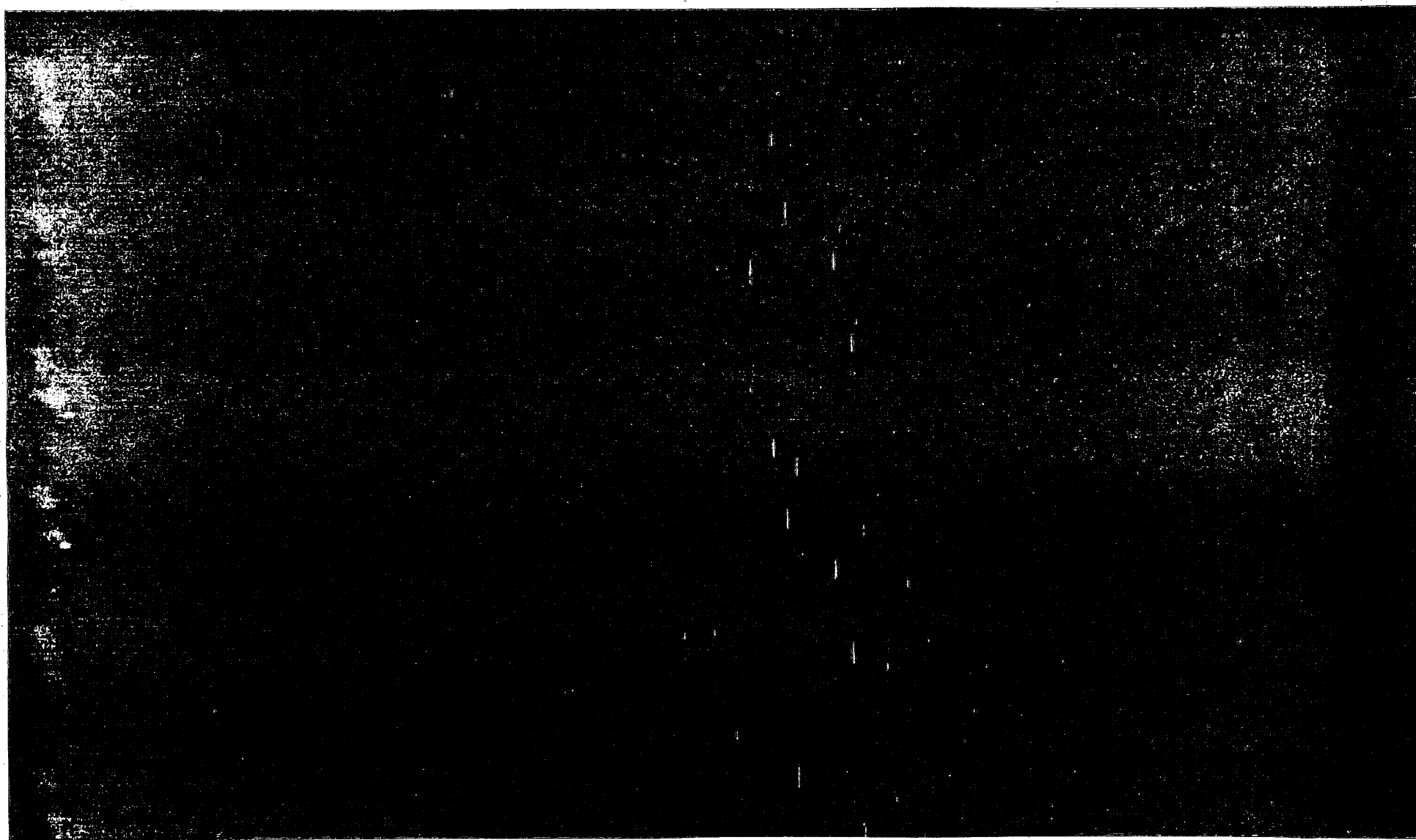
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(6例目)
(都農町 [REDACTED] 水牛・豚)



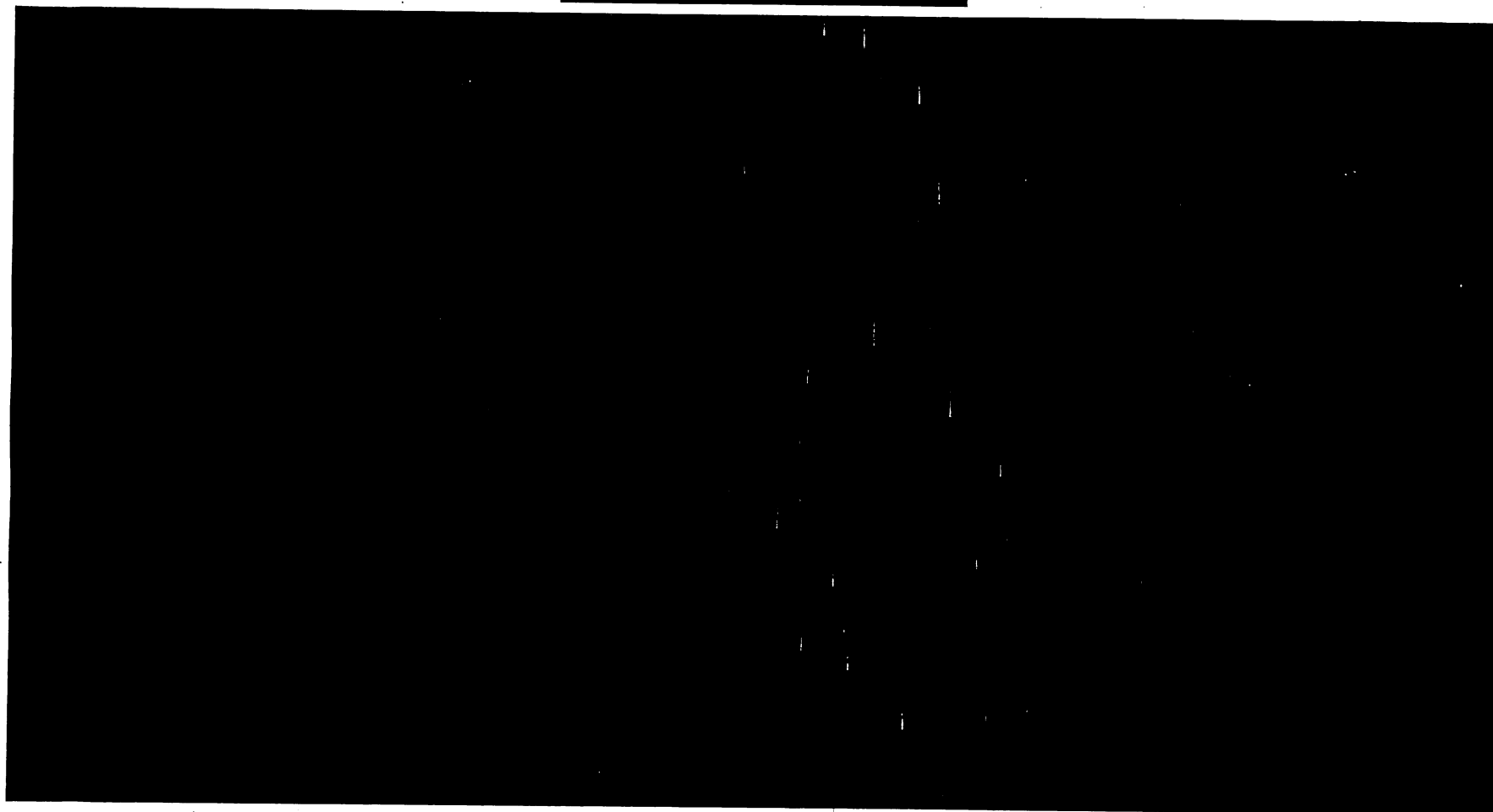
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(7例目)
(川南町 [REDACTED] 牛肥育経営)



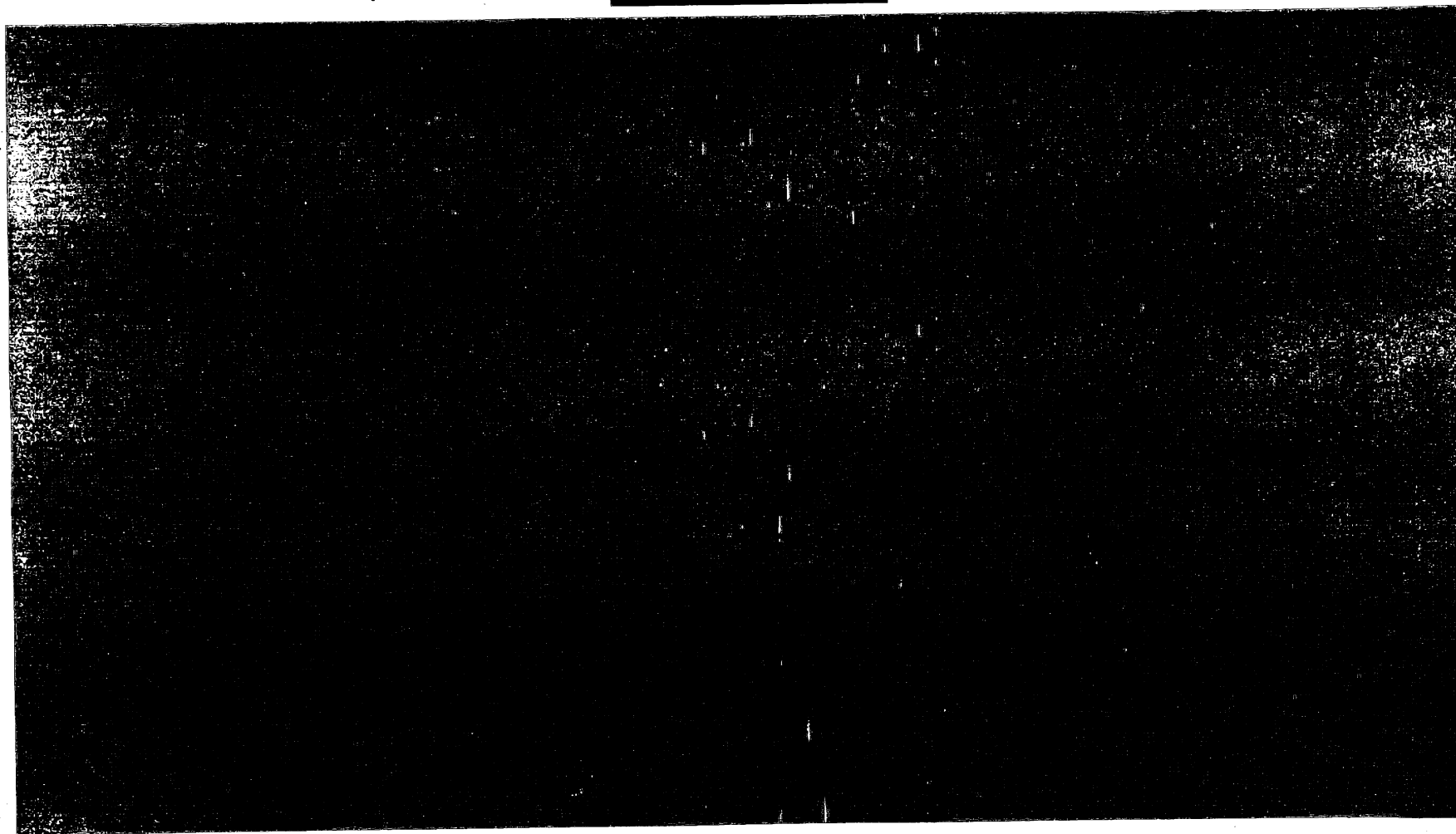
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(8例目)
(川南町 [REDACTED] 牛肥育経営)



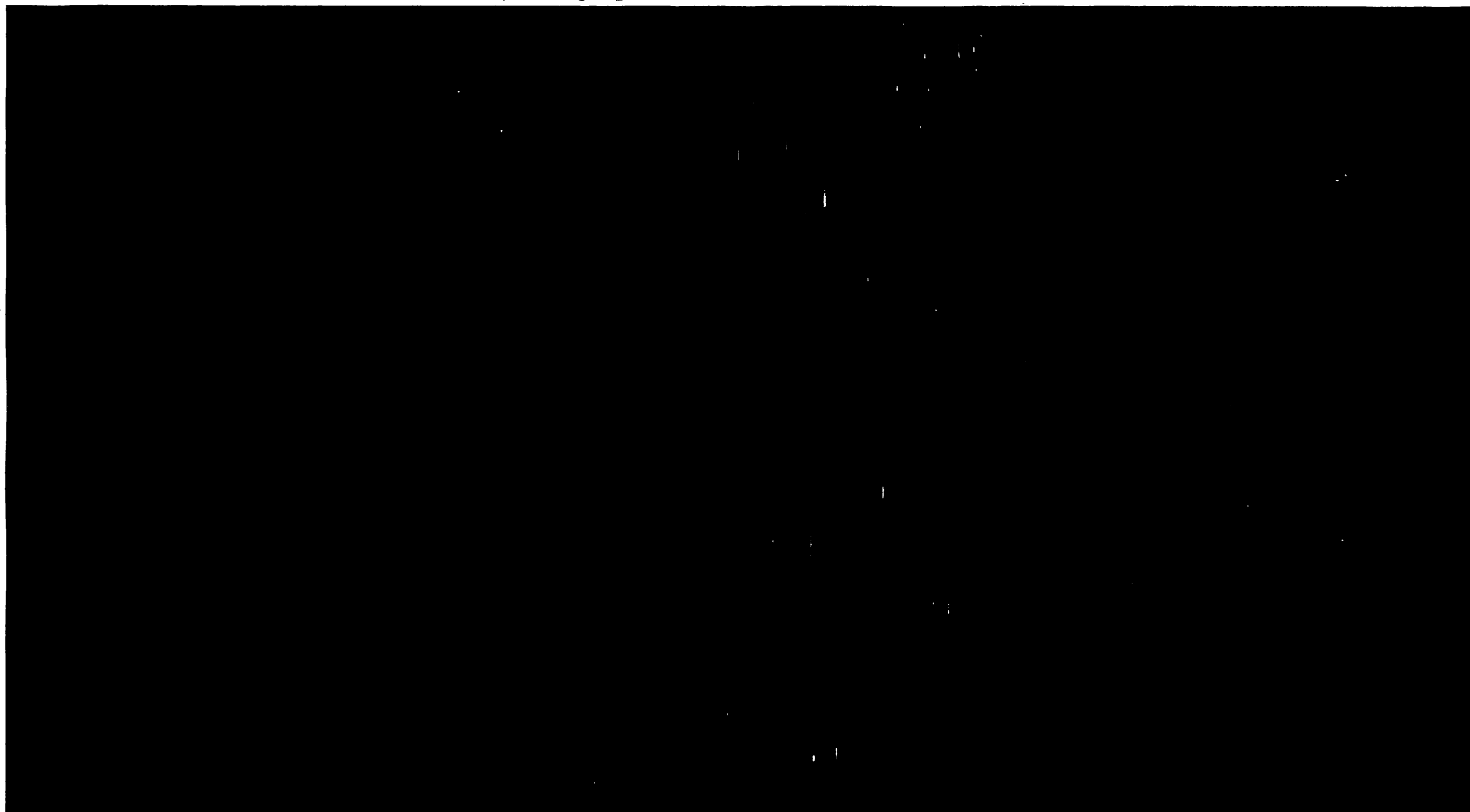
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(9例目)
(えびの市 [REDACTED] 牛肥育経営)



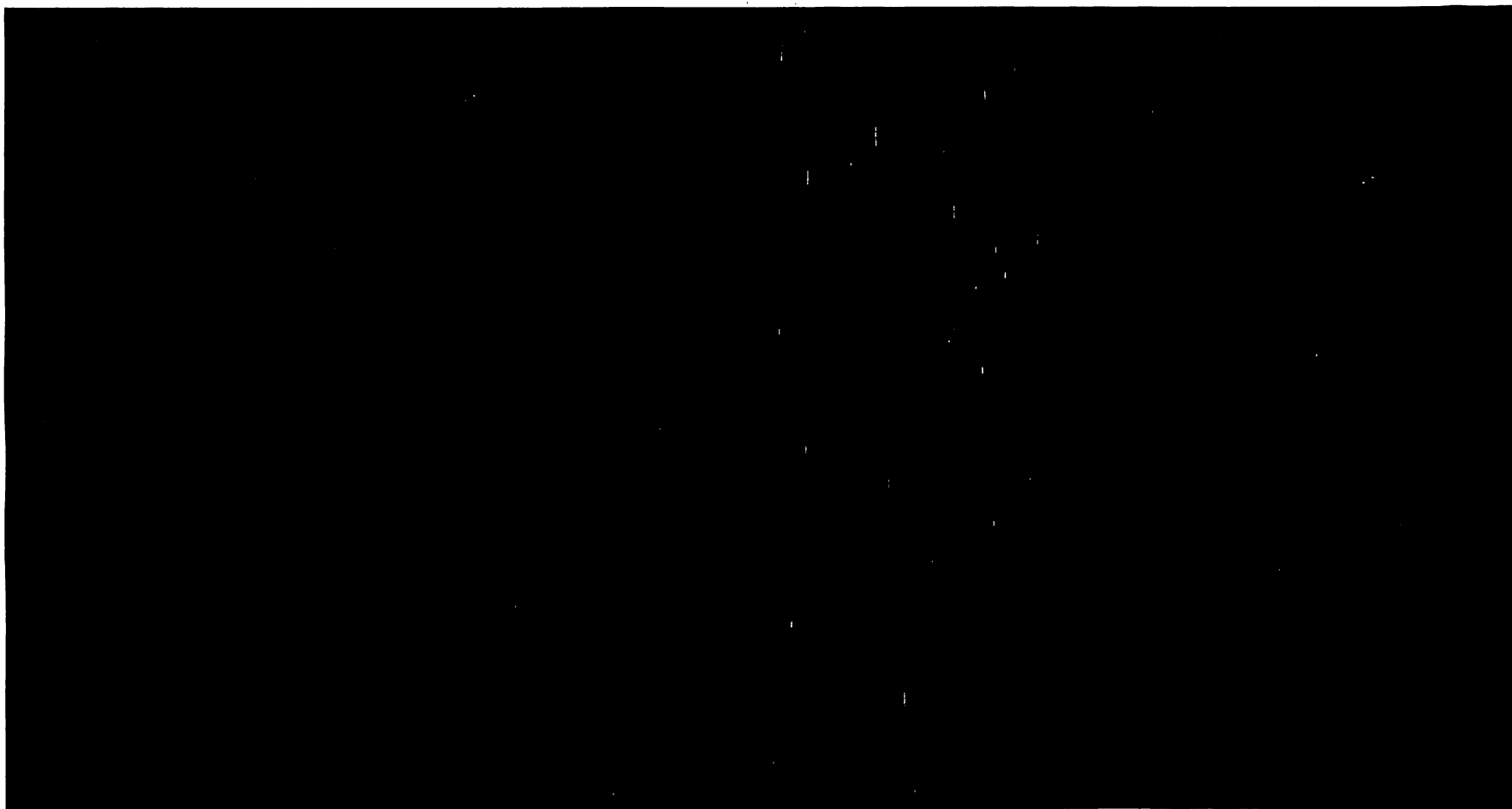
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(10例目) (川南町:畜産試験場 豚)



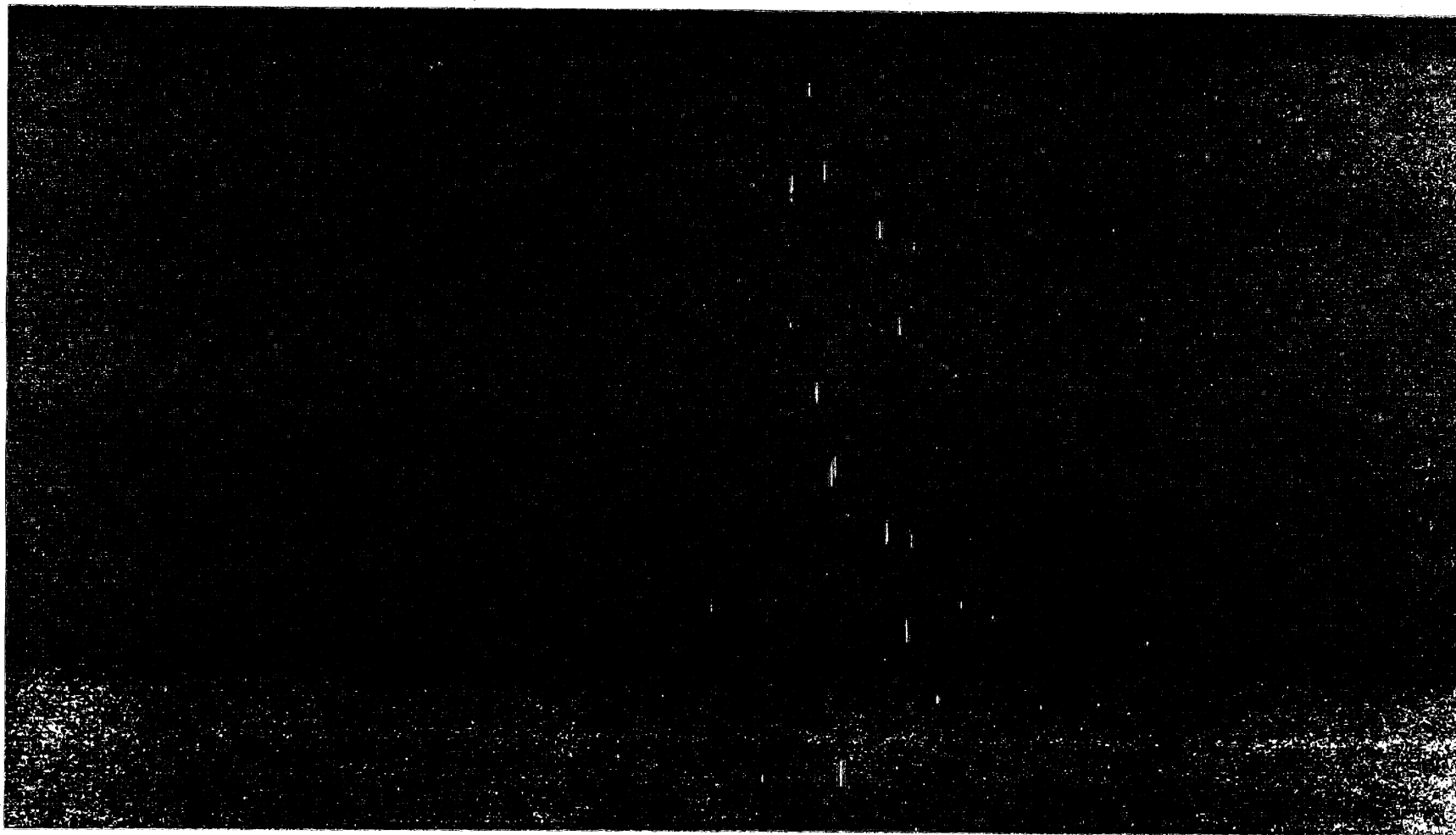
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(11例目) (川南町 [REDACTED] 酪農経営)



厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(12例目) (川南町 [REDACTED])



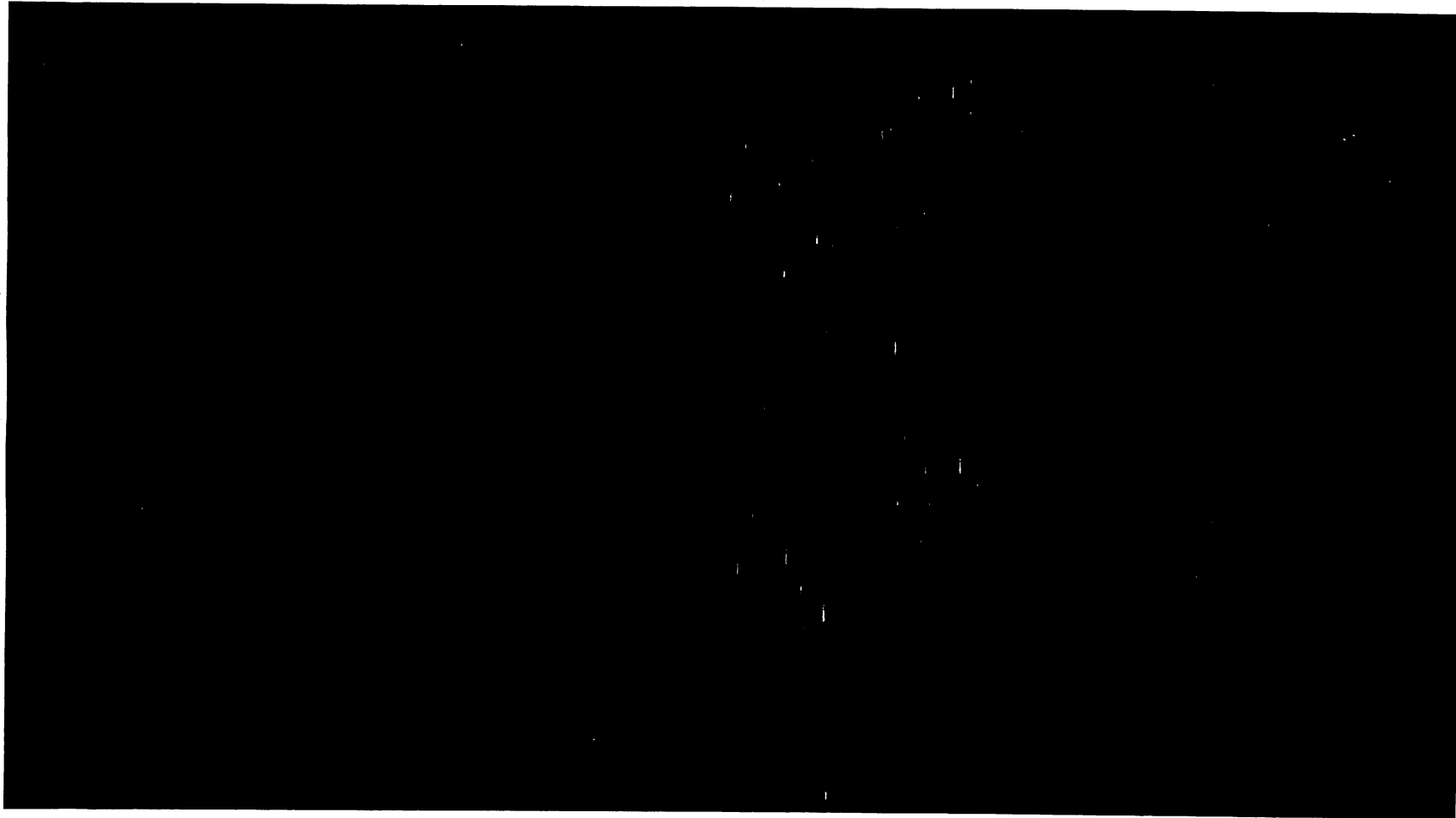
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(13例目) (川南町 [REDACTED])



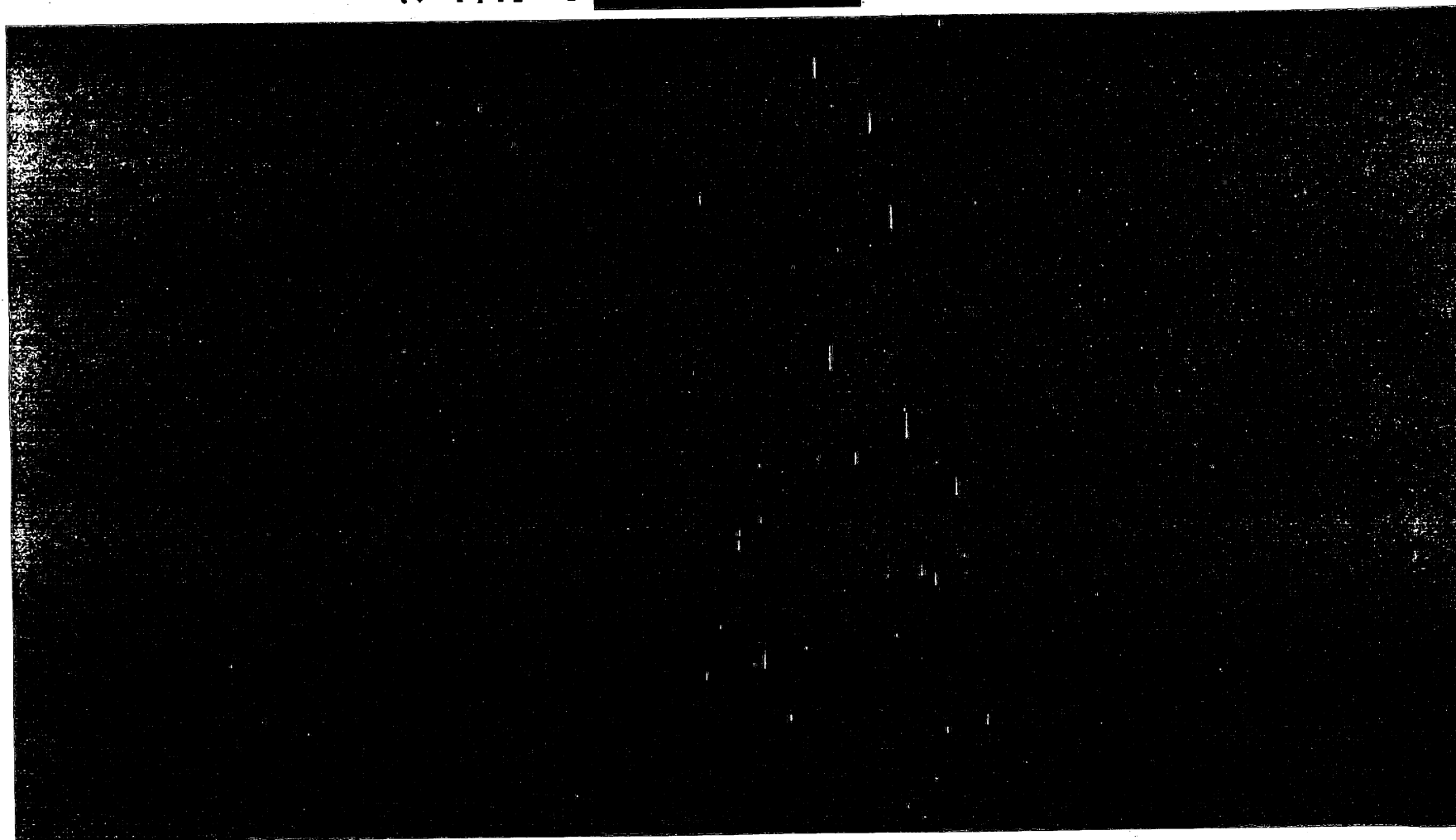
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(14例目) (川南町[REDACTED] 養豚経営)



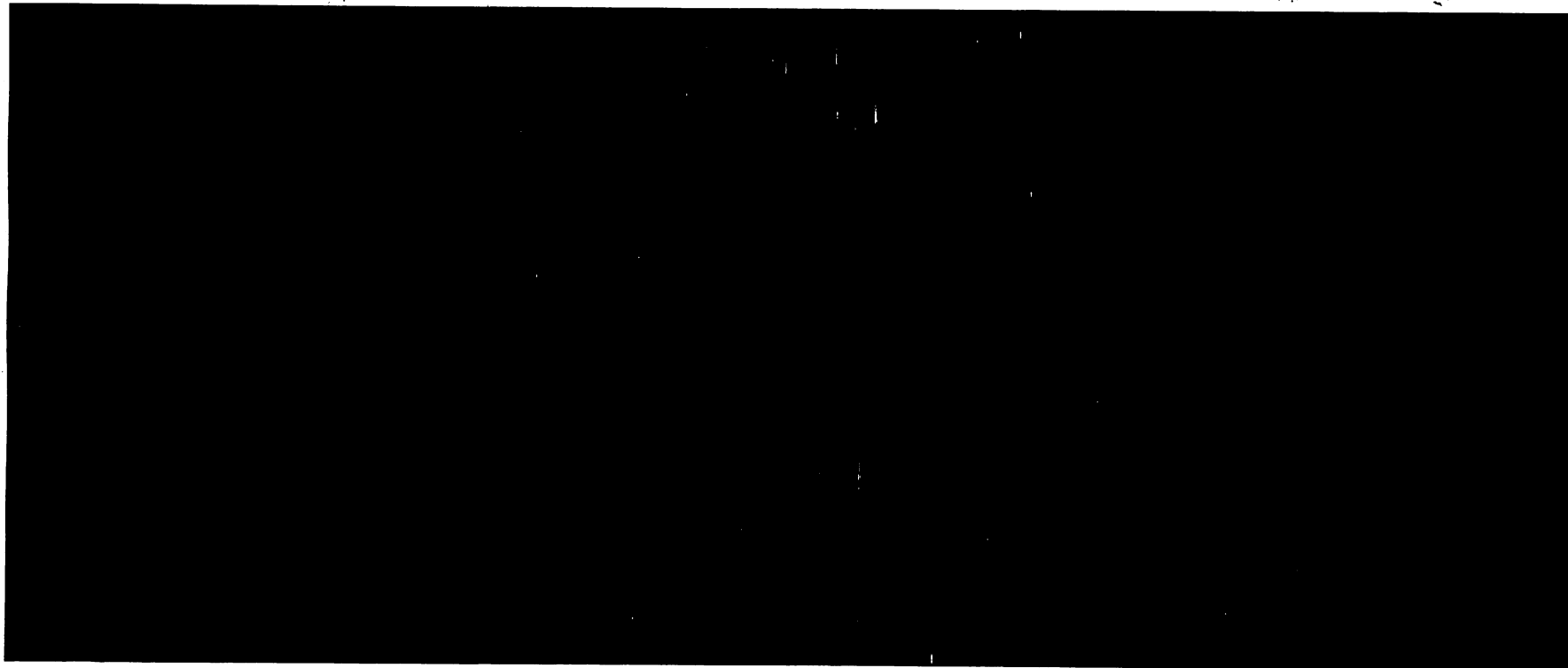
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(15例目)
(川南町 [REDACTED] 牛肥育経営)



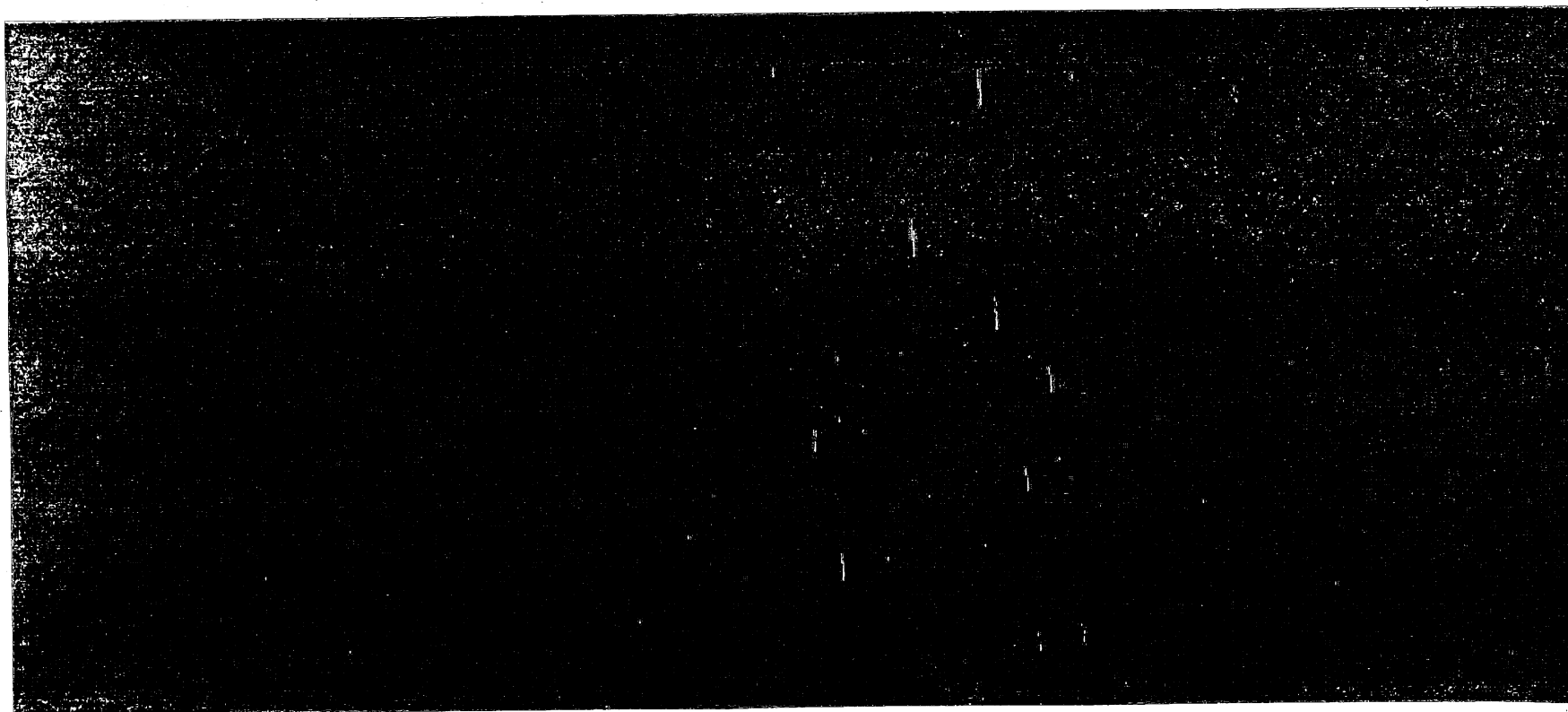
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(16例目)
(川南町 [REDACTED] 牛繁殖経営)



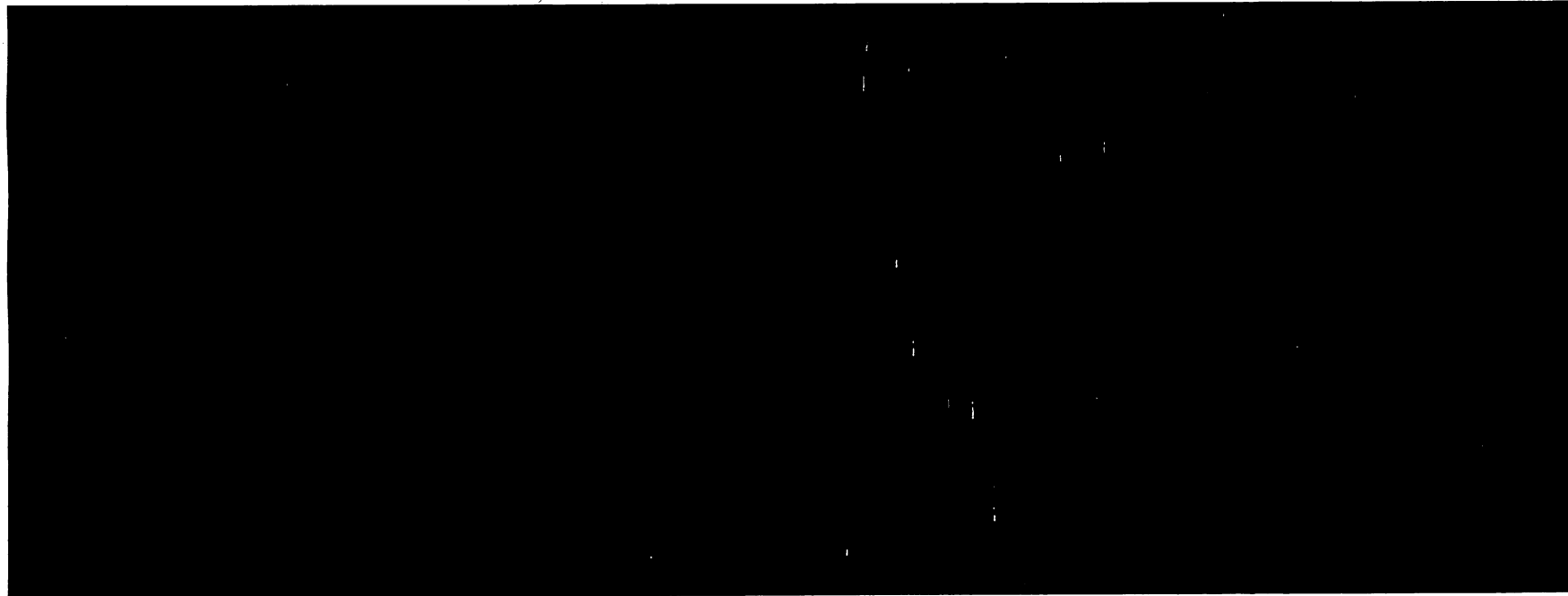
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(17例目)
(川南町 [REDACTED] 牛繁殖経営)



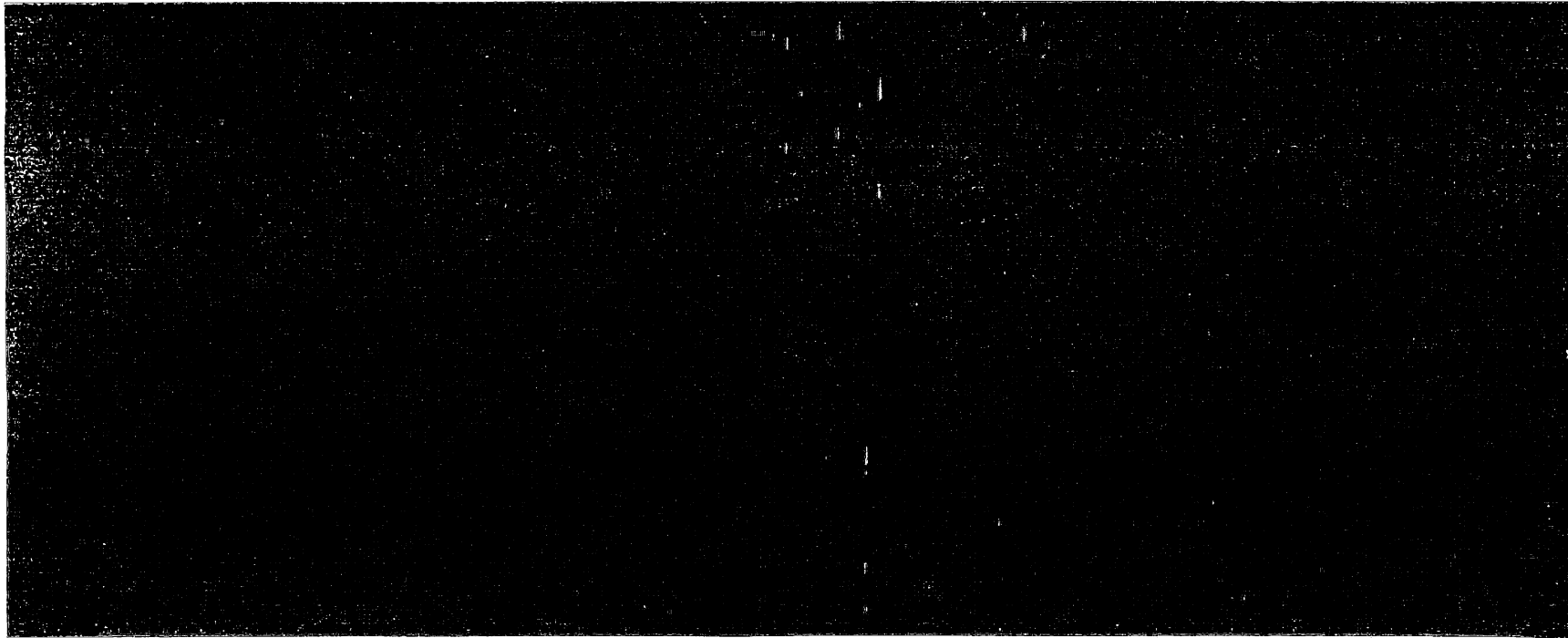
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(18例目)
(川南町 [REDACTED] 養豚経営)



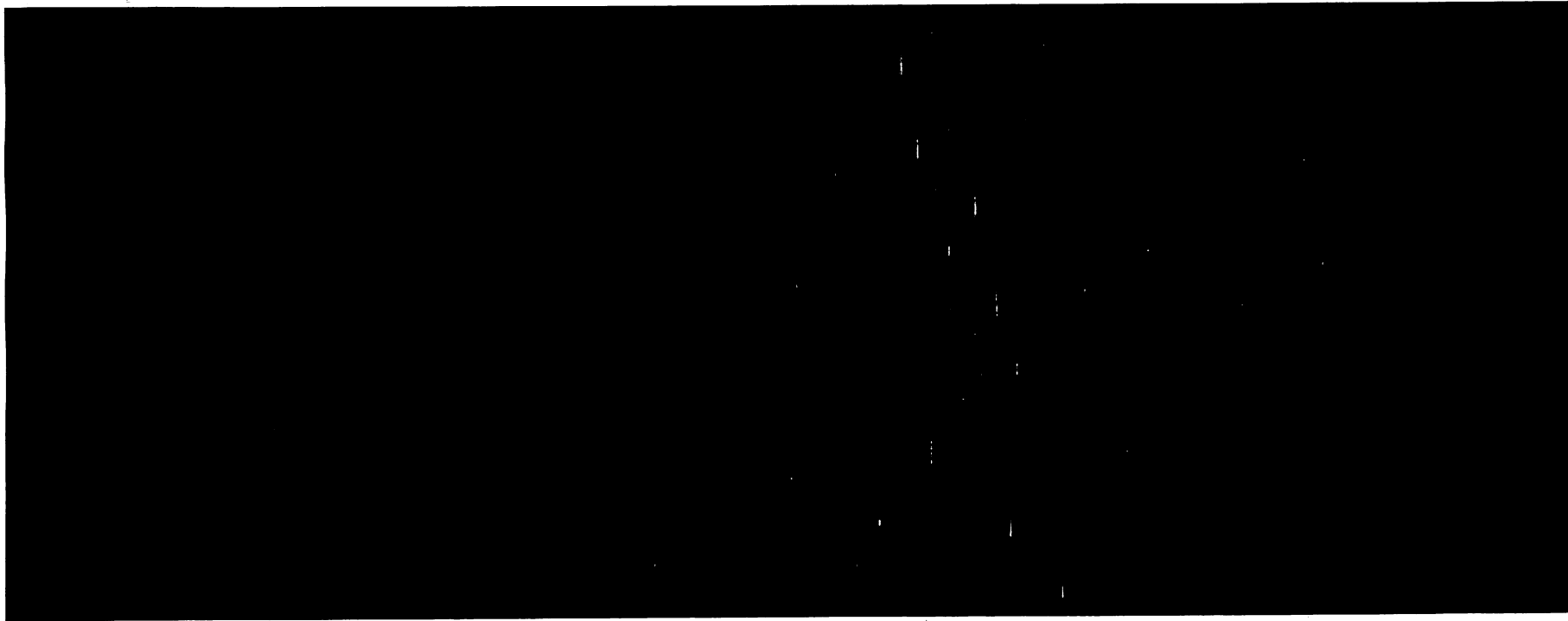
厳秘

宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(20例目) (えびの市 種豚農場)

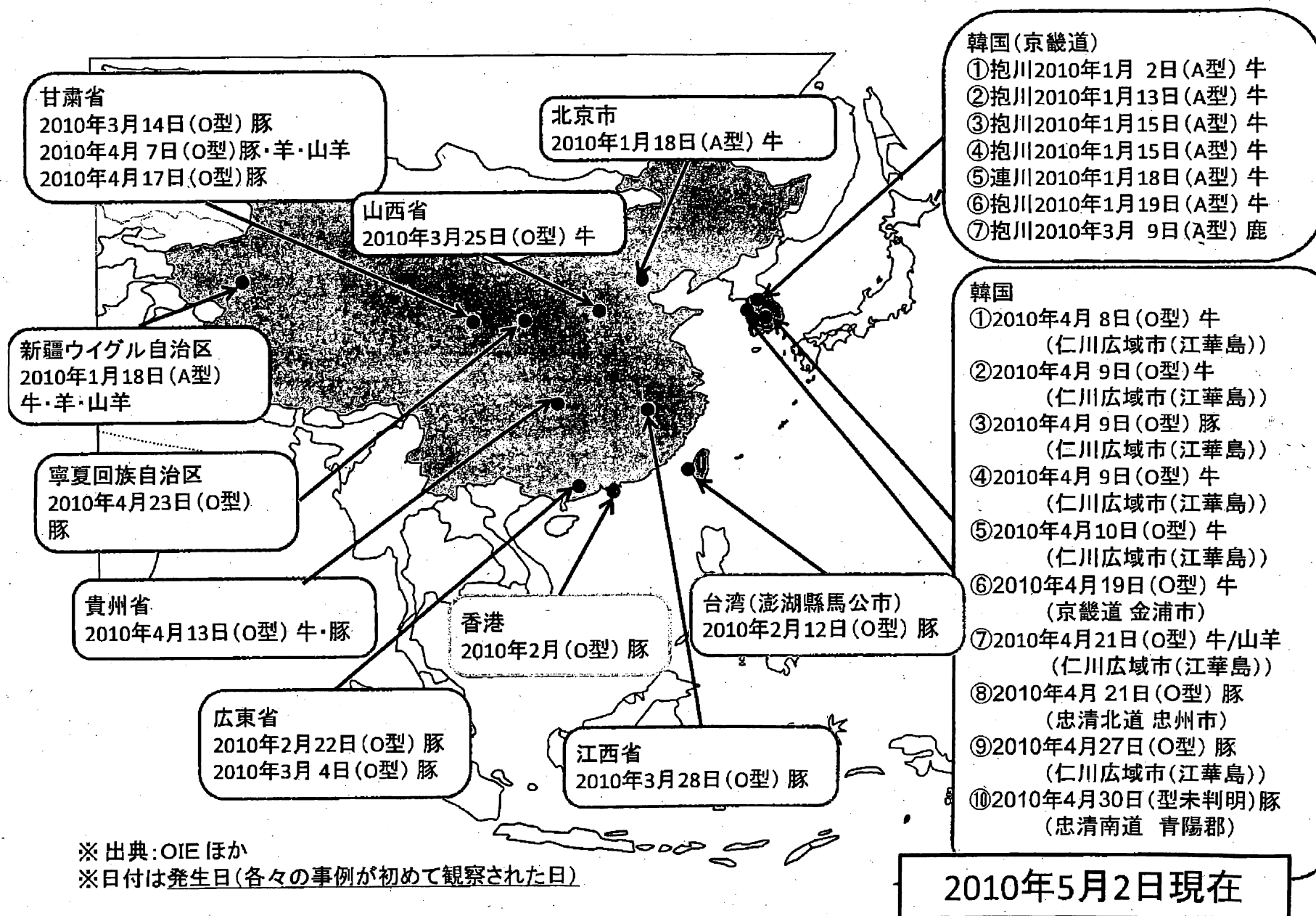


厳秘

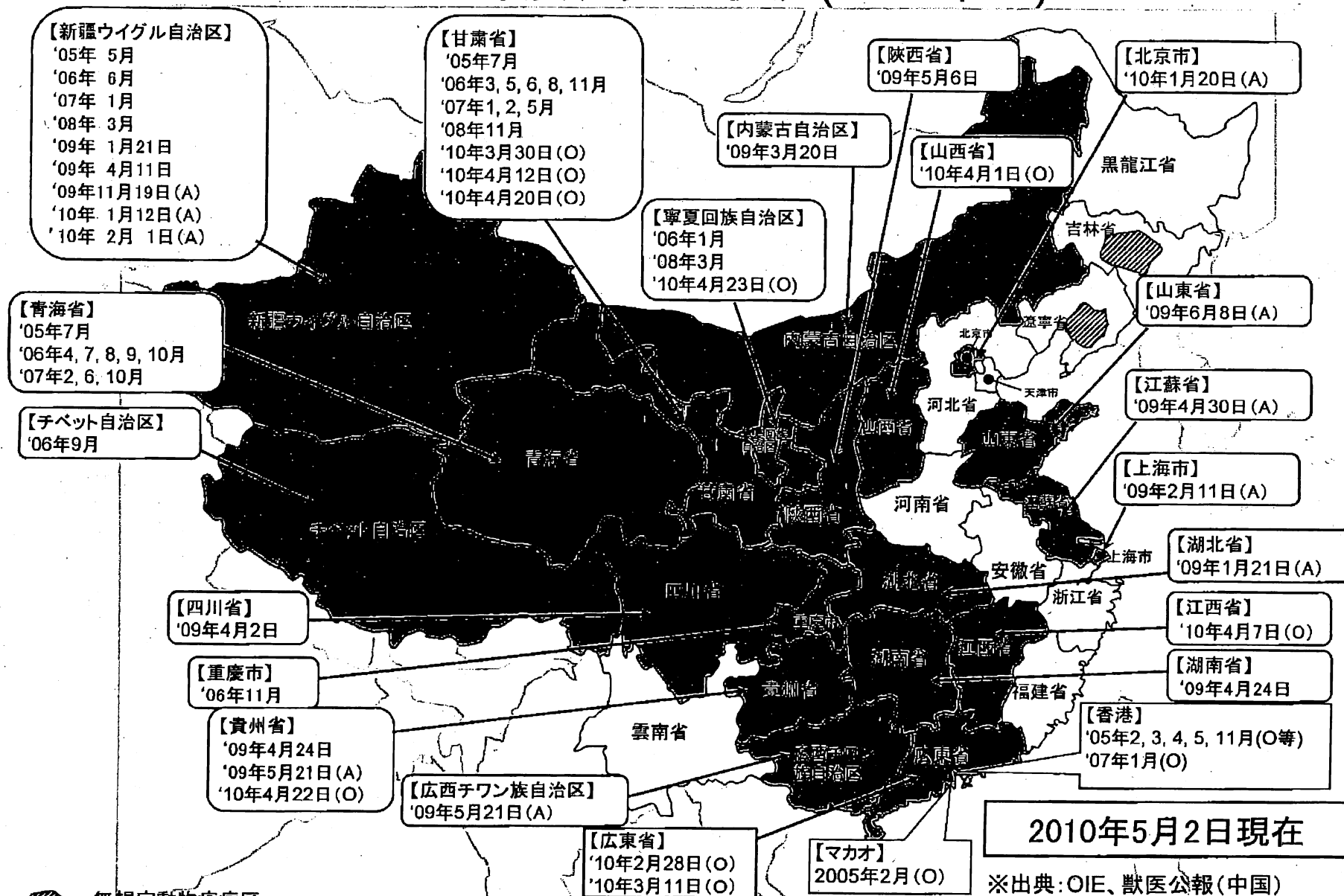
宮崎県における口蹄疫の疫学関連図(21例目) (川南町 [REDACTED] 養豚経営)



中国、香港、台湾、韓国における口蹄疫の発生状況（2010年1月以降の発生）



中国における口蹄疫の発生状況(2005年～)



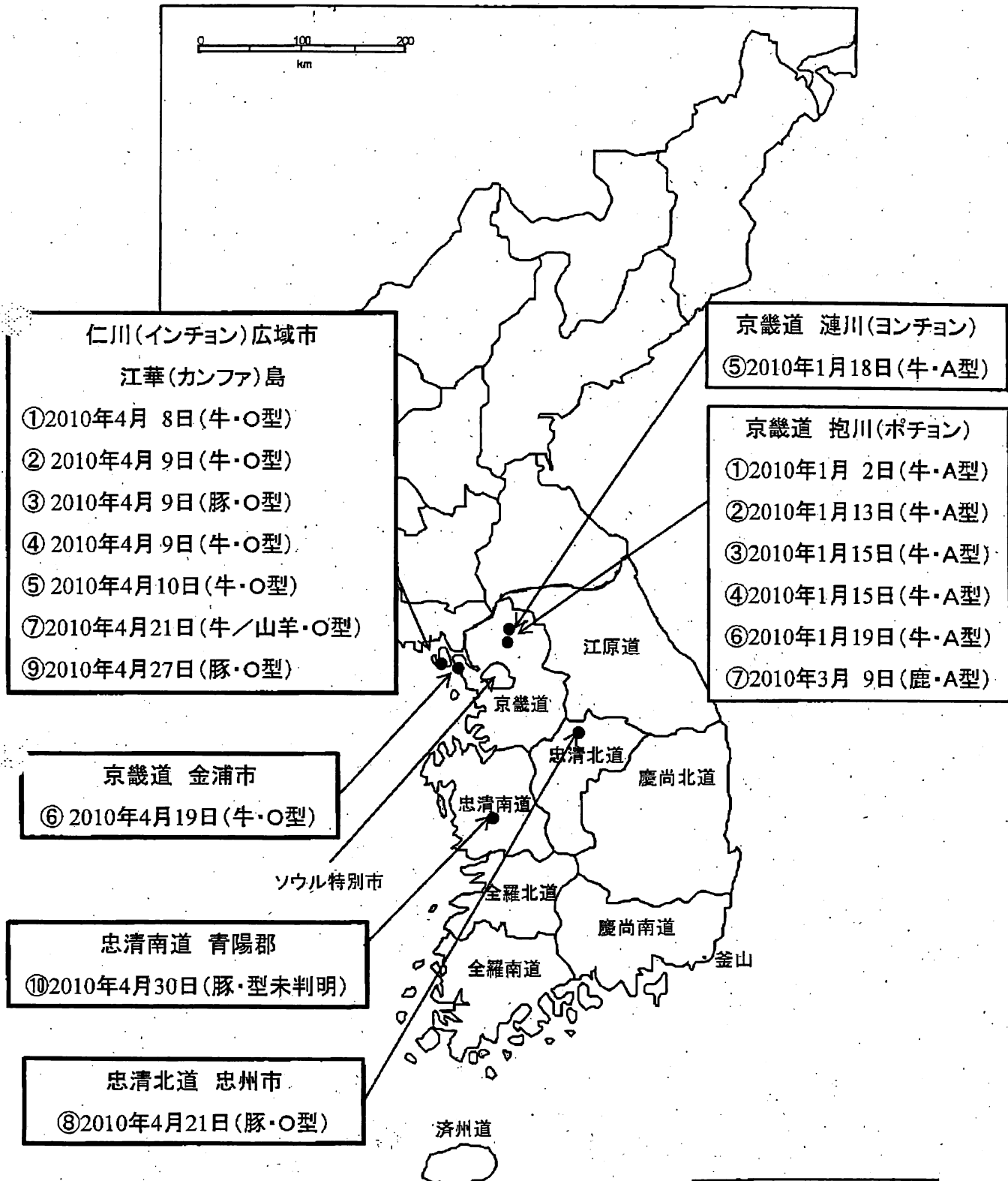
無規定動物疫病区

(口蹄疫に関する防疫措置が重点的に講じられている特定の地域)

※日付は確認日

※()に型名表示のないものはすべてAsia1型

韓国における口蹄疫の発生状況



※日付は発生日

(各々の事例が初めて観察された日)

2010年5月2日現在

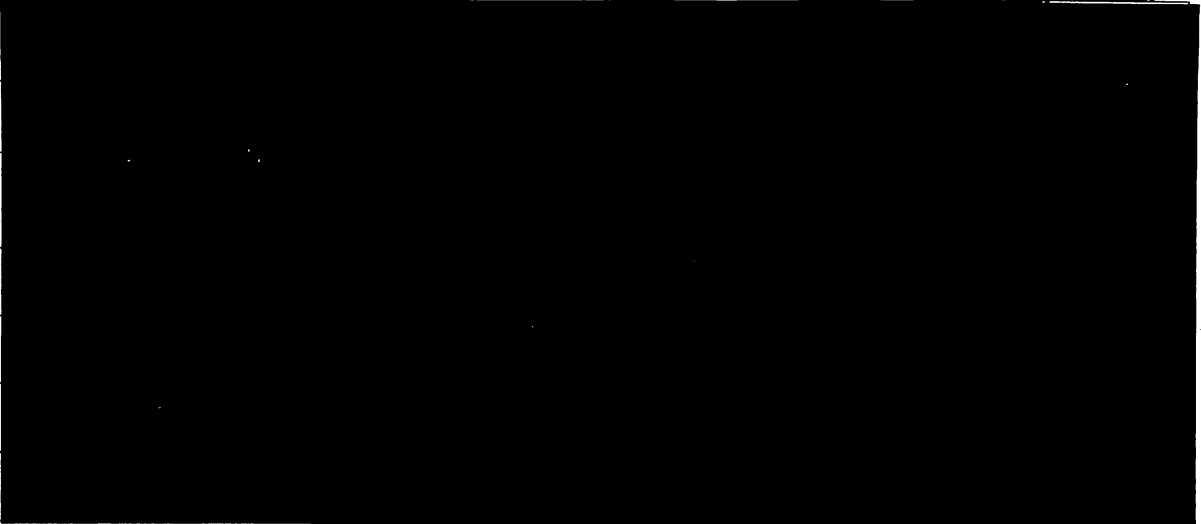
出典: OIE ほか

偶蹄類の家畜飼養農場への緊急調査等の実施状況について

	都道府 県名	都道府県内の 偶蹄類の家畜 の 飼養農場数 (戸)	緊急調査終 了等 終了農場数 (戸)	進捗率 (%)	異常が確認された 農場(対応状況は 別紙)(戸)	調査等実施方法			終了日
						(1)電話連絡 (戸)	(2)農場立入 (戸)	(3)その他 (戸)	
1	北海道	10450	10450	100.0	4	9885	565		2010/4/30
2	青森	1714	1714	100.0	0	1647	63	4	2010/4/26
3	岩手	8811	8811	100.0	3	8808	3	0	2010/4/26
4	宮城	6018	6018	100.0	0	4831	187	1000	2010/4/26
5	秋田	1649	1649	100.0	0	1572	31	46	2010/4/28
6	山形	1515	1515	100.0	0	1173	78	264	2010/4/26
7	福島	4795	4795	100.0	0	4795	0	0	2010/4/30
8	茨城	1807	1807	100.0	0	1571	8	228	2010/4/26
9	栃木	2172	2172	100.0	0	1910	265	0	2010/4/26
10	群馬	1707	1707	100.0	0	1437	197	73	2010/4/26
11	埼玉	646	646	100.0	0	646	0	0	2010/4/26
12	千葉	1604	1604	100.0	0	1409	22	187	2010/4/28
13	東京	161	161	100.0	0	138	9	14	2010/4/26
14	神奈川	529	529	100.0	0	529	25	0	2010/4/23
15	新潟	818	818	100.0	1	792	26	0	2010/4/23
16	富山	149	149	100.0	0	145	4	0	2010/4/23
17	石川	159	159	100.0	0	156	3	0	2010/4/27
18	福井	99	99	100.0	0	80	19	0	2010/4/26
19	山梨	233	233	100.0	0	233	4	0	2010/4/26
20	長野	1335	1335	100.0	0	1325	10	0	2010/4/26
21	岐阜	932	932	100.0	0	884	53		2010/4/26
22	静岡	671	671	100.0	0	669	0	2	2010/4/26
23	愛知	1051	1051	100.0	0	1041	10	0	2010/4/26
24	三重	389	389	100.0	0	354	32	3	2010/4/26
25	滋賀	185	185	100.0	0	185	15	0	2010/4/26
26	京都	255	255	100.0	0	190	61	4	2010/4/23
27	大阪	85	85	100.0	0	67	18		2010/4/26
28	兵庫	2566	2566	100.0	0	824	124	1618	2010/4/26
29	奈良	119	119	100.0	0	119	12	0	2010/4/23
30	和歌山	146	146	100.0	0	86	51	9	2010/4/23
31	鳥取	696	696	100.0	0	606	90	0	2010/4/26
32	島根	1802	1802	100.0	0	1552	250		2010/4/26
33	岡山	1048	1048	100.0	0	991	30	27	2010/4/26
34	広島	1108	1108	100.0	0	910	355		2010/4/26
35	山口	838	838	100.0	0	615	223	0	2010/4/30
36	徳島	442	442	100.0	1	356	86	0	2010/4/23
37	香川	423	423	100.0	1	389	34	0	2010/4/26
38	愛媛	633	633	100.0	1	457	176		2010/4/25
39	高知	353	353	100.0	0	244	119	5	2010/4/23
40	福岡	642	642	100.0	0	642	642	0	2010/4/23
41	佐賀	1031	1031	100.0	0	1004	27		2010/4/26
42	長崎	4038	4038	100.0	0	1894	151	1993	2010/4/26
43	熊本	4262	4262	100.0	1	4262	72	1	2010/4/26
44	大分	2206	2206	100.0	0	2206	20	0	2010/4/23
46	鹿児島	14307	14307	100.0	0	11711	1421	1175	2010/5/1
47	沖縄	4605	4605	100.0	0	2807	161	1637	2010/5/2
合計		91204	91204	100.0	12	78147	5752	8290	

異常が確認された農場の対応状況(12戸)

1	北海道
3	岩手
15	新潟
36	徳島
37	香川
38	愛媛
43	熊本



宮崎県における口蹄疫の疑い事例の17例目について

○本日、家畜伝染病である口蹄疫の 17 例目の疑似患畜を確認しました。
○口蹄疫は、牛、豚等の偶蹄類の動物の病気であり、人に感染することはありません。
○現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むよう御協力をお願いします。

1 農場の概要

宮崎県児湯（こゆ）郡川南（かわみなみ）町（2 例目の農場から南東約 5km）
肉用牛繁殖農場 37 頭（繁殖牛 17 頭、育成牛 3 頭、子牛 17 頭）

2 経緯

- (1)5 月 2 日（日曜日）夕方、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛の 1 頭に流涎（りゅうぜん）、発熱等を確認したとの届出がありました。
- (2)同日夜、宮崎県が当該農場に立入検査を実施し、本日、検体を（独）農研機構動物衛生研究所に持ち込みました。
- (3)本日夜、PCR 検査の結果、2 頭で陽性を確認し、口蹄疫の疑似患畜と判断しました。

3 今後の対応

当該農場の飼養牛の殺処分等の必要な防疫措置について、宮崎県とともに迅速かつ的確に実施します。

4 その他

- (1)宮崎県における口蹄疫の発生を踏まえ、全国の牛豚等飼養農場に対し、聞き取り等により調査を実施したところ、現時点で、宮崎県の農場を除くすべての農場において、口蹄疫の疑いがないことを確認しております。
引き続き、各都道府県を通じて、全国の農場に本病の早期発見・早期通報を徹底するよう指導していきます。
- (2)口蹄疫は、牛、豚等の偶蹄類の動物の病気であり、人に感染することはありません。また、感染牛の肉や牛乳が市場に出回ることはありませんが、感染牛の肉や牛乳を摂取しても人体には影響ありません。

(3)現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むよう御協力をお願いします。

お問い合わせ先

消費・安全局動物衛生課

担当者：伏見、嶋崎

代表：03-3502-8111（内線4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994

FAX：03-3502-3385

当資料のホームページ掲載URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>

事務連絡
平成22年4月23日

農林水産省消費・安全局
動物衛生課 防疫業務班長 殿

宮崎県農政水産部畜産課長

口蹄疫疑似患畜の発生に伴う移動制限区域の特例（区域内からの死亡家畜の移動）に関する協議について

宮崎県児湯郡における口蹄疫の疑似患畜の発生に伴い設置した移動制限区域について、区域内からの死亡家畜の移動を、下記により実施することが可能か協議します。

記

- 1 移動制限区域内からの死亡家畜の輸送に当たっては次の内容を順守する。
 - (1) 死亡家畜が発生した農場において、家畜防疫員が農場内の他の家畜に異常がないことについて、別紙チェックリストにより確認する。
 - (2) 農場の入出場時、移動制限区域の入出場時、死亡獣畜処理場の入出時には車両の消毒を行い、別紙チェックリストにより確認するとともに、運搬経路は家畜の飼養農場付近を極力走行しないルートを設定し、移動指示書に記載されたとおりとし、死亡獣畜処理場への直接搬出のみとする。
 - (3) 輸送に当たっては、車両の荷台を密閉できるコンテナやシート等で覆うとともに、荷台からの液体の漏えいがないことを別紙チェックリストにより確認する。
 - (4) 死亡家畜をストックポイント及び死亡獣畜処理場で降ろした後は荷台や輸送容器を含め確実に車両の消毒を行い、別紙チェックリストにより確認する。
 - (5) 移動制限区域内に死亡家畜を一時保管するためのストックポイントを設置する場合は、その施設が衛生的であることを家畜防疫員が事前に確認するとともに、ストックポイントから死亡獣畜処理場までの運搬については、(2) から (4) に準じる。
 - (6) 死亡獣畜処理場での車両等による交差汚染を防止するため、当該死亡家畜の搬入及び処理はその日の最後に実施し、作業終了後に消毒を徹底する。
 - (7) 異常が確認された場合は、直ちに家畜保健衛生所へ連絡すること。
- 2 移動制限区域内から死亡家畜を輸送しようとする者は、県畜産課に協議を行い、県畜産課はその内容の確認を行う。

様式1 (農場→家保)

平成22年 月 日

宮崎家畜保健衛生所長 殿

住所

氏名

口蹄疫疑似患畜発生に伴う移動制限区域の特例に関する協議について

このことについて、特定家畜伝染病防疫指針第2の5の(2)のウの(イ)のCに基づき、移動制限の例外を協議したいのでよろしくお願いします。

記

1 死亡家畜移動先

2 輸送経路

(記載例)

消毒 消毒 消毒
農場 → (国道10号線) → ストックポイント → (国道10号線) → 消毒ポイント(農業大学校)
(作業従事者:00名) 死亡家畜運搬(トラック:00隻)
→ (国道10号線) → 消毒ポイント(新宮) → (国道10号線) → []

※ 消毒ポイント、農場、制限区域を記入した地図・・・別添

様式 2 (家保→農場)

〇〇〇-〇〇〇〇

平成22年 月 日

〇 〇 〇 〇 殿

〇〇家畜保健衛生所長

県内で発生した口蹄疫疑似患畜の発生に伴う移動制限区域の特例に関する協議について (回答)

先般ご照会いただいた「口蹄疫疑似患畜発生に伴う移動制限区域の特例に関する協議について (照会)」(平成22年4月 日付け)については、下記の手順に従って家畜防疫員の許可を受けることを条件として、特例を適用することを許可します。

なお、搬出に当たっては、別添の「死亡家畜移動指示書」の内容を順守してください。

記

1 農場 (農家) 名

〇 〇 〇 〇

2 搬出先名

(住所：宮崎県都城市高城町)

3 搬出の手順

- (1) 2回目以降の搬出を行う場合にも、必ず事前に〇〇家畜保健衛生所まで連絡すること。
- (2) 搬出は、「死亡家畜移動指示書」の交付を受けてから実施すること。

4 以下の場合、特例を適用することはできません。

- (1) 飼養家畜において、発熱や食欲不振、口腔内や蹄等に水疱、びらん、潰瘍など、口蹄疫が疑われる症状がみられた場合
- (2) 貴場が口蹄疫の発生農場と疫学的に関連があると判断された場合
- (3) その他、家畜防疫員が特例措置の適用が不相当であると判断した場合

(表面) 様式3

死 亡 家 畜 移 動 指 示 書

平成22年 月 日

家畜防疫員 所属
氏名

印

次のとおり移動を指示します。なお、移動に際しては、裏面の事項を遵守願います。

家さんの種類	移動事由	所有者又は管理者の住所氏名	移動許可願人の住所氏名
牛	死亡家畜を死亡獣畜処理場に搬入するため	〇〇市(町) 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇	宮崎県都城市高城町 〇〇〇〇〇〇

1 移動年月日：平成22年 月 日より、移動制限期間が終了するまでの間（ただし、今後の状況に応じて、移動の指示を取り消すことがある。）

2 経 路

【記入例】

農 場 → (県道 号線) → ストック・イント → (国道10号線) → 消毒ボ・イント(農業大学校) → (国道10号線) → 消毒ボ・イント(新富) →
→ (国道 10号線) → 〇〇〇〇〇〇

3 移動先に関する事項

施設の住所及び名称： 宮崎県都城市高城町 〇〇〇〇〇〇

(裏面)

- 1 死亡家畜は、農場の入出場時、移動制限区域の入出場時、死亡獣畜処理場の入出時には車両の消毒を行い、記録を残すこと。
- 2 運搬経路は家畜の飼養農場付近を極力走行しないルートを設定し、移動指示書に記載されたとおりとし、処理場への直接搬出のみとすること。
- 3 車両の荷台をコンテナやシート等で覆うとともに、荷台からの液体の漏えいがないよう輸送すること。
- 4 死亡家畜を目的地で降ろした後は荷台や輸送容器を含め確実に車両の消毒を行うこと。
- 5 死亡獣畜処理場での車両等による交差汚染を防止するため、当該死亡家畜の搬入及び処理はその日の最後に実施すること。
- 6 万一、異常が確認された場合は、直ちに家畜保健衛生所へ連絡すること。

死亡家畜の移動に当たっての確認事項

確認事項	備考
1 死亡家畜が発生した農場において、家畜防疫員が農場内の他の家畜に異常がないことを確認すること。	☐ 水疱等発生の確認 ☐ 流涎等の確認 ☐ 発熱牛の確認
2 車両は入出場時、消毒すること。	☐ 実施記録の確認
3 運搬経路は家畜の飼養農場付近を極力走行しないルートが設定されていること。	☐ 実施記録の確認
4 運送に当たり、車両の荷台を密閉できるコンテナやシート等で覆うとともに、荷台からの液体の漏えいがないこと。	☐ 死亡家畜の密閉の確認
5 車両は、制限区域の境界等に設けられた消毒ポイントで消毒すること。	☐ 実施記録の確認
6 作業従事者が作業場(死亡家畜を取り扱う場所をいう。以下同じ。)に立ち入る場合には、専用の作業服、靴、帽子、手袋等を使用すること。	☐ 現場確認
7 死亡家畜を降ろした後、荷台や輸送容器等確実に車両を消毒を消毒すること。	☐ 現場確認(ストック・イット) ☐ 現場確認(処理場)
8 死亡家畜処理場への搬入及び処理は、搬入当日の最後に確実に実施すること。	☐ 現場確認

※「備考」は、確認事項の実施・遵守状況を確認する方法。

【確認者欄】

家畜防疫員(代行者)

印

事 務 連 絡

平成22年4月23日

宮崎県農政水産部畜産課長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課
課長補佐（防疫業務班担当）

口蹄疫疑似患畜の発生に伴う移動制限区域の特例（区域内からの死亡
家畜の移動）に関する協議について（回答）

平成22年4月22日付け事務連絡で照会のあった移動制限区域内からの死亡
家畜の移動につきましては、妥当と判断されますので、引き続き、家畜伝染病予
防法（昭和26年5月31日法律第166号）及び口蹄疫に関する特定家畜伝染病防
疫指針（平成16年12月1日農林水産大臣公表）に基づき、円滑な対応方よろし
くお願いします。

口蹄疫の発生に伴う血清疫学調査等について（えびの市における発生に限る）

殺処分完了後7日目以降、清浄性の確認による移動制限区域の解除に向け、対象農場ごとに以下の血清疫学調査及びその他必要な調査を実施する。併せて、制限区域外の疫学関連農場についても、必要な調査を実施する。

対象農場：

- ① 発生農場を中心とした半径3km以内の区域に所在する偶蹄類の家畜を飼養するすべての農場
- ② 人や車両の移動等から、発生農場と疫学的に関連のあるすべての農場（動物衛生課と協議の上、選定）（①を除く）

家畜防疫員は家畜伝染病予防法第51条の規定に基づき、該当農場に立ち入りし、以下の検査等を実施する。

1 牛飼養農場

（1）臨床検査

今回の一連の事例で確認されている口腔、鼻腔、蹄部、乳房等の水疱、びらん、潰瘍等、または、複数頭に流涎が見られるなどの異常、その他防疫指針に基づく留意事項通知の13の主な臨床症状を確認する。

（2）血液の採材

留意事項通知に基づき、下表により血液を採取し、動物衛生研究所に送付する。

なお、動物衛生研究所は血清学的検査（ELISA又はELISA及び中和試験）を行い、この結果、口蹄疫の清浄農場と確認できなかった農場の取扱いについては、別途通知する。

飼養規模	採材頭数
1～15頭	全頭
16～20頭	16頭
21～40頭	21頭
41～100頭	25頭
101頭以上	30頭

※抗体陽性率10%以上の場合、少なくとも1頭の抗体陽性牛を95%の確率で摘発できるサンプル数

2 豚飼養農場

臨床検査：1の（1）による。

対象農場：

- ③ 移動制限区域に所在する偶蹄類の家畜を飼養するすべての農場（①を除く）

家畜防疫員は家畜伝染病予防法第51条の規定に基づき、牛飼養農場及び豚飼養農場に立ち入りし、臨床検査を実施する。

